



CentreNET[®] ネットワーク・マネージメント・ソフトウェア

Vista Manager

BitViewモジュール

User's Manual



CentreNET[®]
Vista Manager

BitView モジュール
ユーザースマニュアル

Copyright ©1997 - 98 アライドテレシス株式会社

ご注意

本書の中に含まれる情報は、当社 (アライドテレシス (株)) の所有するものであり、
当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
当社は、予告無く本書の全体または一部を修正・改定することがあります。
また、改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright © 1997 - 98 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM および CentreNET は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。
本マニュアルの中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、
各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1997 年 8 月 Rev.A

初版「CentreNET Vista Manager 追加専用モジュール ver2.0 pl1」に対応

1998 年 5 月 Rev.B

追加 BitView モジュールに対応 (13 章 - 17 章を追加)

1998 年 9 月 Rev.C

追加 BitView モジュールに対応 (18 章を追加)

1998 年 12 月 Rev.D

Vista Manager 3.0J リリースにともない、2.0J の記述を修正

目次

ご注意.....	ii
商標について.....	ii
マニュアルバージョン.....	ii
1 CentreCOM 3100 シリーズ BitView モジュール	1-1
1.1 C3100 シリーズの BitView	1-2
1.2 C3100 シリーズビットマップオブジェクト	1-3
1.2.1 クリック	1-3
1.2.2 ダブルクリック	1-3
1.3 メニューバーの表示項目	1-4
1.4 各メニューの操作	1-5
1.4.1 「About」.....	1-5
1.4.2 「Agent」.....	1-6
1.4.3 「Hub」メニュー	1-8
1.4.4 「Group」メニュー	1-10
1.4.5 「Port」メニュー	1-12
1.5 LED 表示について	1-14
1.6 その他の注意事項.....	1-14
2 CentreCOM 3600 シリーズ BitView モジュール	2-1
2.1 C3600 シリーズの BitView	2-2
2.2 C3600 シリーズビットマップオブジェクト	2-3
2.2.1 クリック	2-3
2.2.2 ダブルクリック	2-3
2.3 メニューバーの表示項目	2-4
2.4 各メニューの操作	2-5
2.4.1 「About」.....	2-5
2.4.2 「Agent」.....	2-6
2.4.3 「Hub」メニュー	2-8
2.4.4 「Group」メニュー	2-10
2.4.5 「Port」メニュー	2-12
2.5 LED 表示について	2-14
2.6 その他の注意事項.....	2-14
3 CentreCOM 3690TR BitView モジュール	3-1
3.1 C3690TR の BitView.....	3-2
3.2 C3690TR ビットマップオブジェクト	3-3
3.2.1 クリック	3-3
3.2.2 ダブルクリック	3-3
3.3 メニューバーの表示項目	3-4
3.4 各メニューの操作	3-5
3.4.1 「About」メニュー	3-5
3.4.2 「Agent」メニュー	3-6
3.4.3 「Elan」メニュー	3-8
3.4.4 「Backbone」メニュー	3-9
3.4.5 「Bridge」メニュー	3-10
3.4.6 「Port」メニュー	3-11
3.5 LED 表示について	3-13

4	AT-TS シリーズ BitView モジュール	4-1
4.1	TS シリーズハブの BitView	4-2
4.2	TS シリーズビットマップオブジェクト	4-3
4.2.1	クリック	4-3
4.2.2	ダブルクリック	4-3
4.3	メニューバーの表示項目	4-4
4.4	各メニューの操作	4-5
4.4.1	「About」	4-5
4.4.2	「Agent」	4-6
4.4.3	「Hub」メニュー	4-8
4.4.4	「Group」メニュー	4-10
4.4.5	「Port」メニュー	4-13
4.5	LED 表示について	4-16
4.6	その他の注意事項	4-16
5	AT-TS90TR BitView モジュール	5-1
5.1	TS90TR の BitView	5-2
5.2	TS90TR ビットマップオブジェクト	5-3
5.2.1	クリック	5-3
5.2.2	ダブルクリック	5-3
5.3	メニューバーの表示項目	5-4
5.4	各メニューの操作	5-5
5.4.1	「About」メニュー	5-5
5.4.2	「Agent」メニュー	5-6
5.4.3	「Elan」メニュー	5-8
5.4.4	「Backbone」メニュー	5-9
5.4.5	「Bridge」メニュー	5-10
5.4.6	「Port」メニュー	5-11
5.5	LED 表示について	5-12
6	CentreCOM 3716TR/3716TRplus BitView モジュール	6-1
6.1	C3716TR の BitView	6-2
6.2	C3716TR ビットマップオブジェクト	6-3
6.2.1	クリック	6-3
6.2.2	ダブルクリック	6-3
6.3	メニューバーの表示項目	6-4
6.4	各メニューの操作	6-5
6.4.1	「About」メニュー	6-5
6.4.2	「Agent」メニュー	6-6
6.4.3	「Bridge」メニュー	6-8
6.4.4	「Port」メニュー	6-10
6.5	LED 表示について	6-13

7	CentreCOM 2985 BitView モジュール	7-1
7.1	C2985 の BitView	7-2
7.2	C2985 ビットマップオブジェクト	7-3
7.2.1	クリック (未対応).....	7-3
7.2.2	ダブルクリック	7-3
7.3	メニューバーの表示項目	7-4
7.4	各メニューの操作	7-5
7.4.1	「About」メニュー	7-5
7.4.2	「Agent」メニュー	7-6
7.4.3	「BRIDGE」メニュー	7-8
7.5	LED 表示について	7-8
8	CONGO BitView モジュール	8-1
8.1	CONGO の BitView	8-2
8.2	CONGO ビットマップオブジェクト	8-3
8.2.1	クリック	8-3
8.2.2	ダブルクリック	8-3
8.3	メニューバーの表示項目	8-4
8.4	各メニューの操作	8-5
8.4.1	「About」メニュー	8-5
8.4.2	「Agent」メニュー	8-6
8.4.3	「Bridge」メニュー	8-7
8.4.4	「IP」メニュー	8-8
8.4.5	「Dial Port」メニュー	8-8
8.4.6	「Port」メニュー	8-9
8.4.7	「PPP」メニュー	8-11
8.4.8	「ISDN」メニュー	8-12
8.5	LED 表示について	8-13
8.6	その他の注意事項	8-13
9	NILE BitView モジュール	9-1
9.1	NILE の BitView	9-2
9.2	NILE ビットマップオブジェクト	9-3
9.2.1	クリック	9-3
9.2.2	ダブルクリック	9-3
9.3	メニューバーの表示項目	9-4
9.4	各メニューの操作	9-5
9.4.1	「About」メニュー	9-5
9.4.2	「Agent」メニュー	9-6
9.4.3	「Bridge」メニュー	9-7
9.4.4	「IP」メニュー	9-8
9.4.5	「IPX」メニュー	9-9
9.4.6	「AppleTalk」メニュー	9-10
9.4.7	「Dial Port」メニュー	9-10
9.4.8	「Port」メニュー	9-11
9.4.9	「PPP」メニュー	9-13
9.4.10	「ISDN」メニュー	9-14
9.4.11	「FrameRelay」メニュー	9-15
9.5	LED 表示について	9-16
9.6	その他の注意事項	9-16

10 Tahoe BitView モジュール	10-1
10.1 Tahoe の BitView	10-2
10.2 Tahoe ビットマップオブジェクト	10-3
10.2.1 クリック	10-3
10.2.2 ダブルクリック	10-3
10.3 メニューバーの表示項目	10-4
10.4 各メニューの操作	10-5
10.4.1 「About」メニュー	10-5
10.4.2 「Agent」メニュー	10-6
10.4.3 「Bridge」メニュー	10-7
10.4.4 「IP」メニュー	10-8
10.4.5 「Port」メニュー	10-9
10.5 LED 表示について	10-11
10.6 その他の注意事項	10-11
11 CentreCOM RH609 BitView モジュール	11-1
11.1 RH609 の BitView	11-2
11.2 RH609 ビットマップオブジェクト	11-3
11.2.1 クリック	11-3
11.2.2 ダブルクリック	11-3
11.3 メニューバーの表示項目	11-4
11.4 各メニューの操作	11-5
11.4.1 「About」メニュー	11-5
11.4.2 「Agent」メニュー	11-6
11.4.3 「Hub」メニュー	11-8
11.4.4 「Group」メニュー	11-10
11.4.5 「Port」メニュー	11-12
11.5 LED 表示について	11-15
12 CentreCOM FH612TX/TXS BitView モジュール	12-1
12.1 FH612TX の BitView	12-2
12.2 FH612TX ビットマップオブジェクト	12-3
12.2.1 クリック	12-3
12.2.2 ダブルクリック	12-3
12.3 メニューバーの表示項目	12-4
12.4 各メニューの操作	12-5
12.4.1 「About」メニュー	12-5
12.4.2 「Agent」メニュー	12-6
12.4.3 「Hub」メニュー	12-8
12.4.4 「Group」メニュー	12-10
12.4.5 「Port」メニュー	12-12
12.5 LED 表示について	12-15

13 AR300 BitView モジュール	13-1
13.1 AR300 の BitView	13-2
13.2 AR300 ビットマップオブジェクト	13-3
13.2.1 クリック	13-3
13.2.2 ダブルクリック	13-3
13.3 メニューバーの表示項目	13-4
13.4 各メニューの操作	13-5
13.4.1 「About」メニュー	13-5
13.4.2 「Agent」メニュー	13-6
13.4.3 「Bridge」メニュー	13-7
13.4.4 「IP」メニュー	13-8
13.4.5 「Port」メニュー	13-9
13.5 LED 表示について	13-11
14 CentreCOM 8116 BitView モジュール	14-1
14.1 C8116 の BitView	14-2
14.1.1 ポートの表示	14-2
14.2 C8116 ビットマップオブジェクト	14-3
14.2.1 クリック	14-3
14.2.2 ダブルクリック	14-3
14.3 メニューバーの表示項目	14-4
14.4 各メニューの操作	14-5
14.4.1 「About」メニュー	14-5
14.4.2 「Agent」メニュー	14-6
14.4.3 「Bridge」メニュー	14-8
14.4.4 「VLAN」メニュー	14-10
14.4.5 「RMON」メニュー	14-11
14.4.6 「Port」メニュー	14-12
14.5 LED 表示について	14-16
15 CentreCOM 3734TX BitView モジュール	15-1
15.1 C3734TX の BitView	15-2
15.1.1 ポートの表示	15-2
15.2 C3734TX ビットマップオブジェクト	15-3
15.2.1 クリック	15-3
15.2.2 ダブルクリック	15-3
15.3 メニューバーの表示項目	15-4
15.4 各メニューの操作	15-5
15.4.1 「About」メニュー	15-5
15.4.2 「Agent」メニュー	15-6
15.4.3 「Bridge」メニュー	15-8
15.4.4 「VLAN」メニュー	15-10
15.4.5 「RMON」メニュー	15-11
15.4.6 「Port」メニュー	15-12
15.5 LED 表示について	15-16

16 CentreCOM8208 BitView モジュール	16-1
16.1 C8208 の BitView	16-2
16.1.1 ポートの表示	16-2
16.2 C8208 ビットマップオブジェクト	16-3
16.2.1 クリック	16-3
16.2.2 ダブルクリック	16-3
16.3 メニューバーの表示項目	16-4
16.4 各メニューの操作	16-5
16.4.1 「About」メニュー	16-5
16.4.2 「Agent」メニュー	16-6
16.4.3 「Bridge」メニュー	16-7
16.4.4 「IP」メニュー	16-8
16.4.5 「VLAN」メニュー	16-9
16.4.6 「RMON」メニュー	16-10
16.4.7 「Port」メニュー	16-11
16.5 LED 表示について	16-14
17 CentreCOM 3612L BitView モジュール	17-1
17.1 C3612L の BitView	17-2
17.1.1 ポートの表示	17-2
17.2 C3612L ビットマップオブジェクト	17-3
17.2.1 クリック	17-3
17.2.2 ダブルクリック	17-3
17.3 メニューバーの表示項目	17-4
17.4 各メニューの操作	17-5
17.4.1 「About」	17-5
17.4.2 「Agent」	17-6
17.4.3 「Hub」メニュー	17-8
17.4.4 「Group」メニュー	17-10
17.4.5 「Port」メニュー	17-13
17.5 LED 表示について	17-15
18 CentreCOM 8518/9108 BitView モジュール	18-1
18.1 C8518/9108 の BitView	18-2
18.1.1 ポートの表示	18-2
18.2 C8518/9108 ビットマップオブジェクト	18-3
18.2.1 クリック	18-3
18.2.2 ダブルクリック	18-3
18.3 メニューバーの表示項目	18-4
18.4 各メニューの操作	18-5
18.4.1 「About」メニュー	18-5
18.4.2 「Agent」メニュー	18-6
18.4.3 「Bridge」メニュー	18-7
18.4.4 「IP/SNMP」メニュー	18-8
18.4.5 「VLAN」メニュー	18-9
18.4.6 「RMON」メニュー	18-10
18.4.7 「Port」メニュー	18-11
18.5 LED 表示について	18-13

第 1 章

CentreCOM 3100 シリーズ BitView モジュール

本章では、CentreCOM 3100 シリーズ用 BitView モジュールの使用
方法について説明します。

1.1 C3100 シリーズの BitView

C3100 用 BitView は、C3100 ハブのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

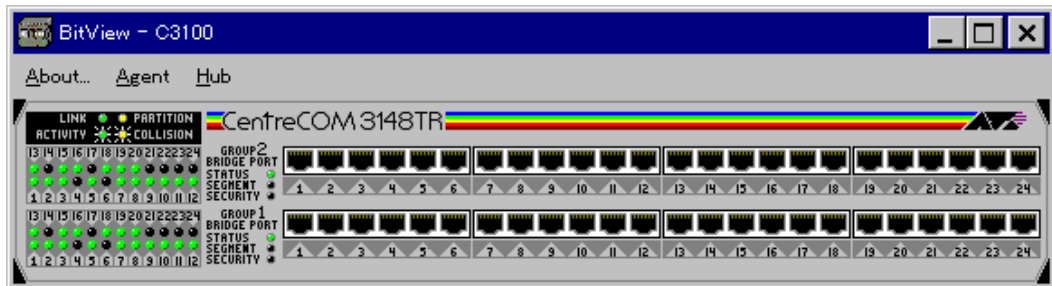


図 1.1.1 CentreCOM3100 シリーズハブの BitView



C3100シリーズ用BitViewは、C3100シリーズハブのスタンドアロンでの使用を前提に作成されています。このため、2台スタックされている場合でも、1台分のBitviewしか表示されませんが、SNMP マネージメントは2台分行われます。



C3100シリーズ用BitViewを使用するためには、C3101SNMPマスターカードモジュールが装着されていて、IP アドレスなどの設定がされている必要があります。

1.2 C3100 シリーズビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、ハブの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

1.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ セグメントグループ（モジュール）
- ・ 各ネットワークポート（10BASE-T/2/5）

1.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

各ネットワーク接続ポート：

左ダブルクリック： ポートの "enable" を行います。

右ダブルクリック： ポートの "disable" を行います。

RS-232 ポート：(左 or 右) Telnet の起動を行います。
(日本語対応していませんので、C3100 シリーズ
ハブの Omega ソフトウェアが日本語表示になっている場合は表示に不具合を生じます。)

電源ポート：(左 or 右) ハブ本体のリセットが行えます。



スタックされている 2 台目の C3100 のポートなどに対する操作は、任意の「グループ」や「ポート」をマウスで選択し、メニューバーに「Group」や「Port」メニューを表示させ、各メニューの中から "edit" コマンドを使用すれば、"enable"、"disable" などの操作を行うことができます。

1.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Hub」の3項目のみ表示されていますが、マウスでグループ部分を選択すると「Group」がメニューバーにあらわれ、ポートを選択すると、「Port」という項目があらわれます。

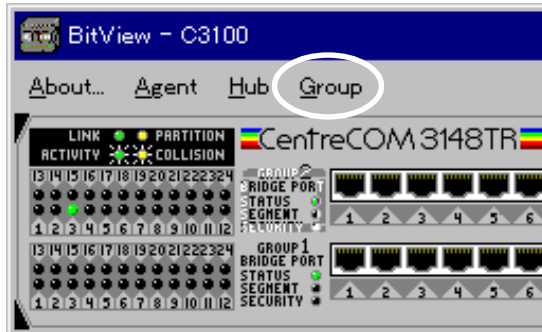


図 1.3.1 メニューバーの表示項目の増減（グループの選択により「Group」の表示）

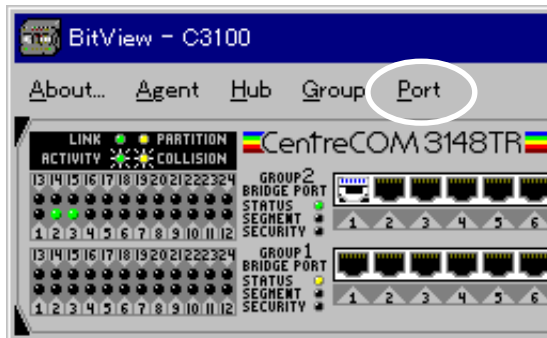


図 1.3.2 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「Port」の表示）

1.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっています。

ハブやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「1.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト（ポートなど）を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

1.4.1 「About」

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

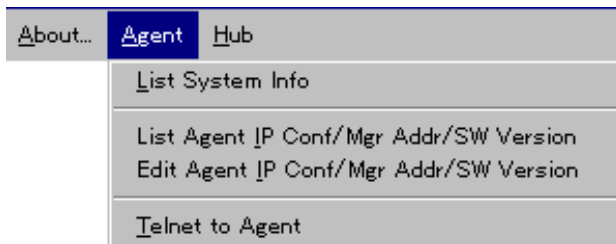
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 の内容です。ここには、インテリジェントハブのファームウェアバージョンなどが含まれる場合があります。



図 1.4.1 「About」ダイアログボックス

1.4.2 「Agent」

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



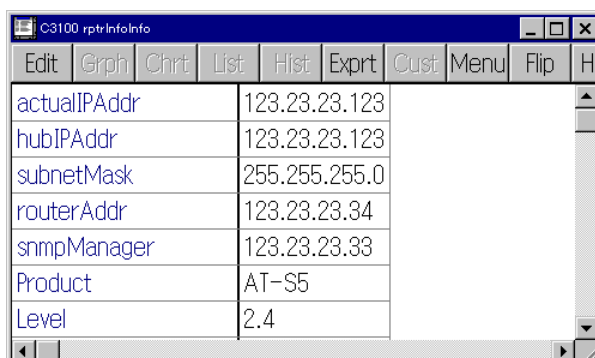
List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List Agent IP Conf/Mgr Addr/SW Version

C3100 の IP アドレス、ネットマネージャ (Vista Manager など) のインストールされている端末の IP アドレス (C3100 はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します)、ソフトウェアバージョンなどの表示を行います。



Edit Agent IP Conf/Mgr Addr/SW Version

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45 「テーブルエントリの編集」を参照してください。

フィールド名	値	操作
ノード名	C3100	
テーブル名	ATHUB-MIB prtrInfoInfo	
actualIPAddr	123.23.23.123	Set
hubIPAddr	123.23.23.123	Set
subnetMask	255.255.255.0	Set
routerAddr	123.23.23.34	Set
snmpManager	123.23.23.33	Set
Product	AT-S5	Set
Level	2.4	Set
configurationChanged	hochange	Set
		Set
		Set

Telnet to Agent

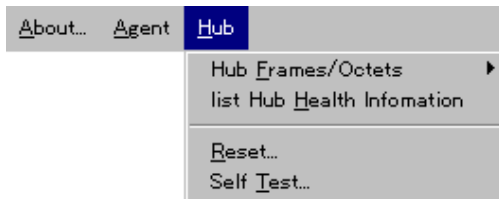
Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で C3100 にログインします。BitView の RS-232 ポートのダブルクリックと同じ操作となります。



Vista Manger の Telnet は、日本語表示に未対応となっていますので、C3100 の設定メニューの英語表示でのみ使用可能です。

1.4.3 「Hub」メニュー

「Hub」メニューでは、スタックしたハブ全体の通信データに関する統計情報の表示、C3100のリセットおよびセルフテストが行えます。



「Hub Frames/Octets」サブメニュー

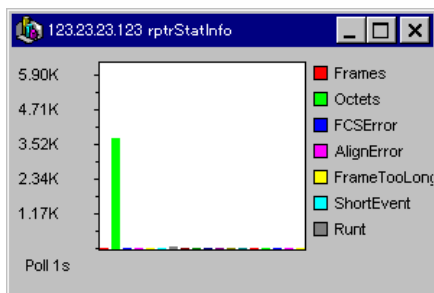
スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブルで表示します。

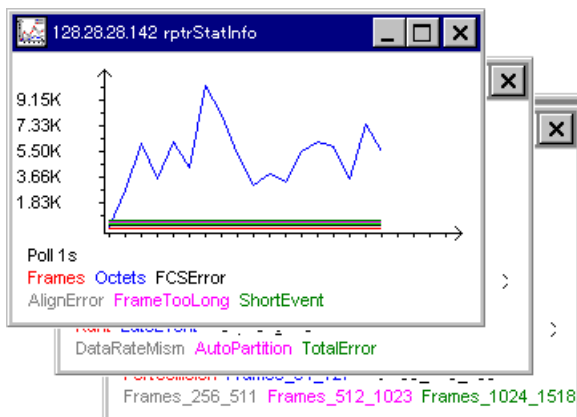
Chart Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を棒グラフで表示します。



Graph Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を折れ線グラフで表示します。



List Hub Health Information

スタックしたハブ全体のスタック情報などをテーブルで表示します。

Reset

ハブのリセットが行えます。なお、ハブの選択 / 非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがリセットされます。

Self Test

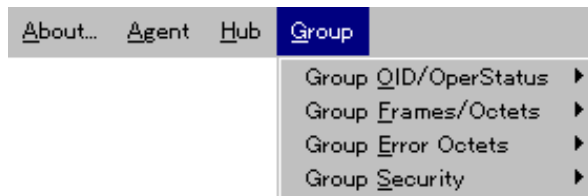
ハブのセルフテストが行えます。ハブの選択 / 非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがセルフテストの対象となります。

1.4.4 「Group」メニュー

「Group」メニューは任意のグループが選択されている場合に表示されます。

また、任意のグループのいずれかのポートが選択されていれば、表示されます。

「Group」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、選択されているグループ（ハブ）に関する情報の表示と設定が行えます。



「Group OID/OperStatus」サブメニュー

ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルを表示するサブメニューです。

List All Group OID/OperStatus

すべてのグループ（ハブ）の ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group OID/OperStatus

選択したグループ（ハブ）の ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルが表示されます。

「Group Frames/Octets」サブメニュー

通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが表示されます。

List All Group Frames/Octets

すべてのグループ（ハブ）の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Frames/Octets

選択したグループ（ハブ）の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Frames/Octets

選択したグループ（ハブ）の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Group Frames/Octets

選択したグループ（ハブ）の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Group Error Octets」サブメニュー

エラーバイト数などの各パラメータを表示するサブメニューです。

List This Group Error Octets

選択したグループ（ハブ）のエラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Error Octets

選択したグループ（ハブ）のエラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Group Error Octets

選択したグループ（ハブ）のエラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されま
す。

「Group Security」サブメニュー

C3100のセキュリティ設定の各パラメータを表示するサブメニューです。

List All Group Segmentation/Intruder Protection Info

すべてのグループ（ハブ）のセキュリティ設定の各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Segmentation/Intruder Protection Info

選択したグループ（ハブ）のセキュリティ設定の各パラメータのテーブルが表示されます。

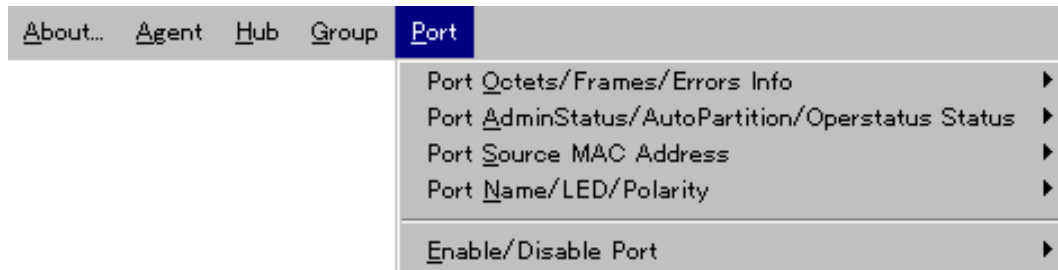
Edit Group Segmentation/Intruder Protection Info

選択したグループ（ハブ）のセキュリティ設定の各パラメータの編集を行います。

1.4.5 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、C3100 のポートに関する情報の表示と設定が行えます。



「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Octets/Frames/Errors

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Port AdminStatus/AutoPartition/Operstatus Status」サブメニュー

ポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Status

すべてのポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラ

メータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの設定が行えます。

「Port Source MAC Address」サブメニュー

各ポートの最新の MAC アドレスに関する情報を表示するサブメニューです。

List All Port Source MAC Address

すべてのポートの送信元 MAC アドレスなどの各パラメータ情報がテーブル表示されます。

List This Port Source MAC Address

選択したポートの送信元 MAC アドレスなどの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

「Port Name/LED/Polarity」サブメニュー

ポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Name/LED/Polarity Info

すべてのポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの設定が行えます。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したのポートのイネーブル/ディセーブル状態を変更するサブメニューです。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。
マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。
(「1.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。
マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。
(「1.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

1.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の变化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- RJ-45 ポートにケーブルが接続されていない状態で "enable"、"disable" の操作を行った場合（ケーブルが接続されている状態で "enable"、"disable" の操作を行った場合は、実機と同じ表示となります。）
- BitView 上の LINK LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の COLLISION LED の点滅回数と実機の Collision LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な Collision 状況は、「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニューの MIB オブジェクトの値を参照してください。

1.6 その他の注意事項

- C3100 シリーズ用 BitView は、C3100 シリーズハブのスタンドアロンでの使用を前提に作成されています。このため、2 台スタックされている場合でも、1 台分の Bitview しか表示されませんが、SNMP マネージメントは 2 台分行われます。
- C3100 シリーズ用 BitView を使用するためには、C3101SNMP マスターカードモジュールが装着されていて、IP アドレスなどの設定がされている必要があります。

第 2 章

CentreCOM 3600 シリーズ BitView モジュール

本章では、CentreCOM 3600シリーズ用BitViewモジュールの使用
方法について説明します。

2.1 C3600 シリーズの BitView

C3600 用 BitView は、C3600 シリーズハブのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

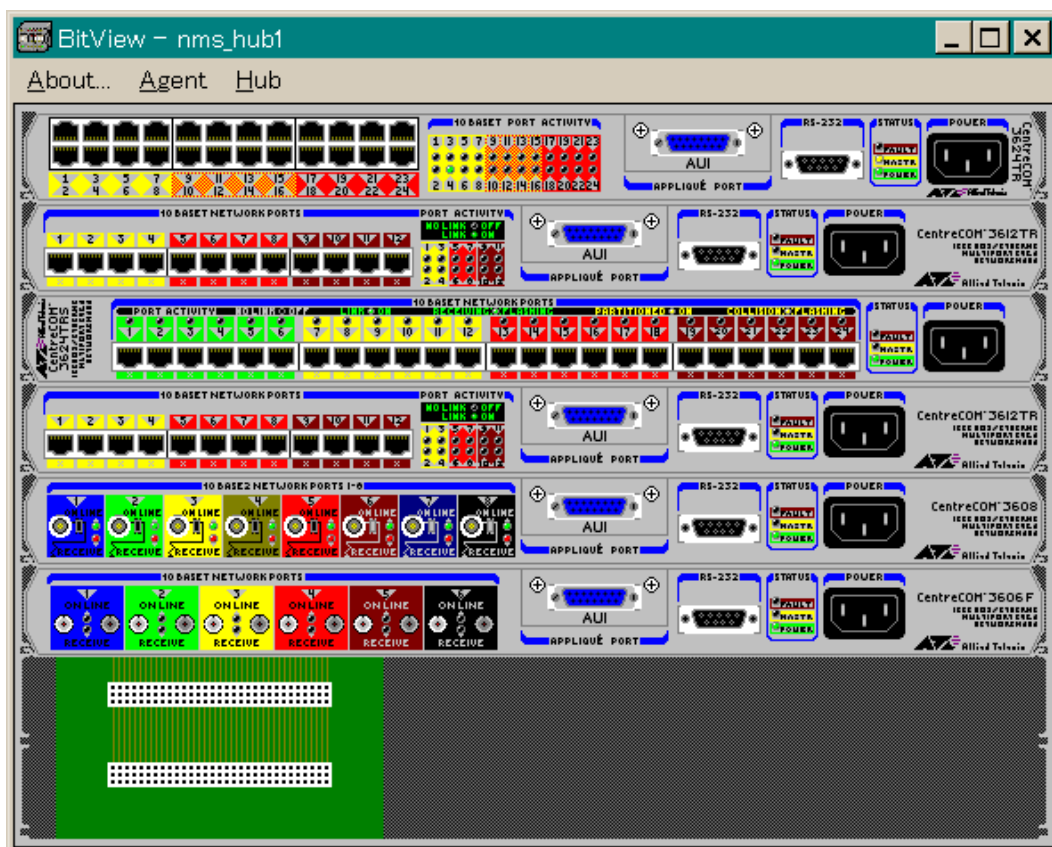


図 2.1.1 スタック状態の CentreCOM3600 シリーズハブの BitView



C3600 シリーズ用 BitView は、C3600 シリーズハブのスタックでの使用を前提に作成されています。このため、スタンドアロンでネットワークに接続されている場合でも、背景に 8 スロット・ラックの絵が表示されます。また、2 または 4 スロットラックを使用している場合も同様に 8 スロット・ラックが表示されます。

さらに、7 スロット・セグメンテッド・ラックの場合は、最下段の C3690TR スイッチは、VistaManager のマップでは別ノードとして表示されます。

2.2 C3600 シリーズビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、ハブの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

2.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 各ハブ本体（モジュール）
- ・ 各ネットワークポート（10BASE-T/2/5/FL）

2.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

各ネットワーク接続ポート：

左ダブルクリック ポートの "enable" を行います。

右ダブルクリック ポートの "disable" を行います。

RS-232 ポート：(左 or 右) Telnet の起動を行います。
(日本語対応していませんので、C3600 シリーズ
ハブの Omega ソフトウェアが日本語表示になっ
ている場合は表示に不具合を生じます。)

電源ポート：(左 or 右) ハブ本体のリセットが行えます。

2.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Hub」の3項目のみ表示されていますが、マウスでハブを選択すると「Group」がメニューバーにあらわれ、ポートを選択すると、「Port」という項目があらわれます。

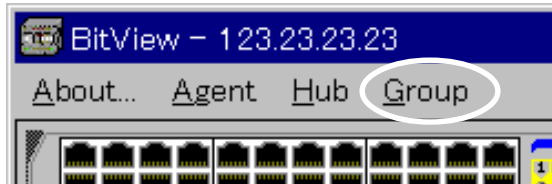


図 2.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ハブの選択により「Group」の表示）

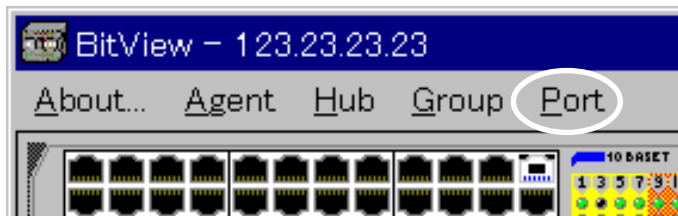


図 2.3.2 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「Port」の表示）

2.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

ハブやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「2.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト（ポートなど）を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は VistaManager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

2.4.1 「About」

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

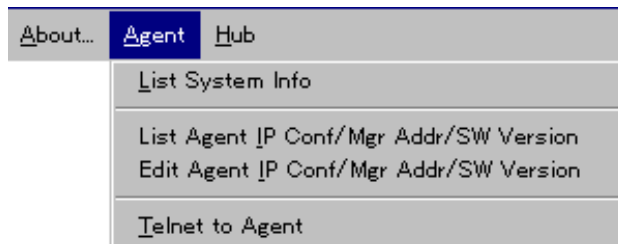
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIB に含まれる sysDescr.0 の内容です。ここには、インテリジェントハブのファームウェアバージョンなどが含まれる場合があります。



図 2.4.1 「About」ダイアログボックス

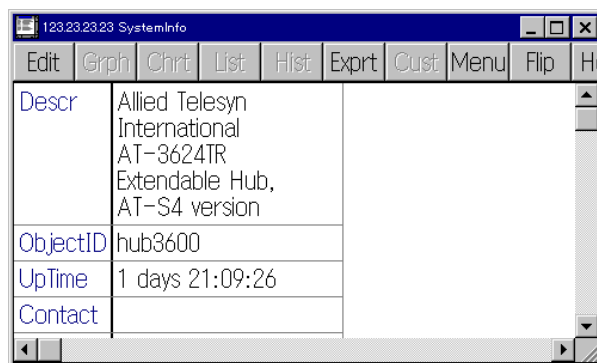
2.4.2 「Agent」

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



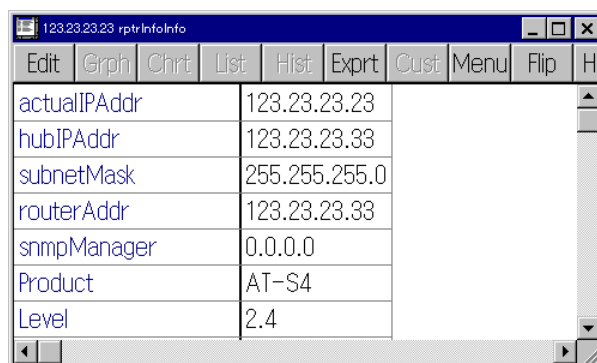
List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。VistaManager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List Agent IP Conf/Mgr Addr/SW Version

C3600 の IP アドレス、ネットマネージャ (VistaManager など) のインストールされている端末の IP アドレス (C3600 はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します) ソフトウェアバージョンなどの表示を行います。



Edit Agent IP Conf/Mgr Addr/SW Version

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「VistaManager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45「テーブルエントリの編集」を参照してください。

フィールド名	値	操作
ノード名	123.23.23.23	
テーブル名	ATHUB-MIB prtrInfoInfo	
actualIPAddr	123.23.23.23	Set
hubIPAddr	123.23.23.33	Set
subnetMask	255.255.255.0	Set
routerAddr	123.23.23.33	Set
snmpManager	0.0.0.0	Set
Product	AT-S4	Set
Level	2.4	Set
configurationChanged	nochange	Set

Telnet to Agent

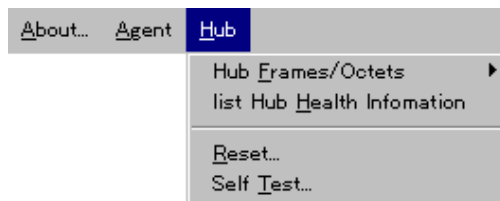
Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で C3600 にログインします。BitView の RS-232 ポートのダブルクリックと同じ操作となります。



Vista Manger の Telnet は、日本語表示に未対応となっていますので、C3600 の設定メニューの英語表示でのみ使用可能です。

2.4.3 「Hub」メニュー

「Hub」メニューでは、スタックしたハブ全体の通信データに関する統計情報の表示、C3600のリセットおよびセルフテストが行えます。



「Hub Frames/Octets」サブメニュー

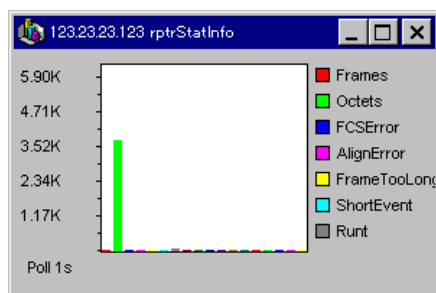
スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブルで表示します。

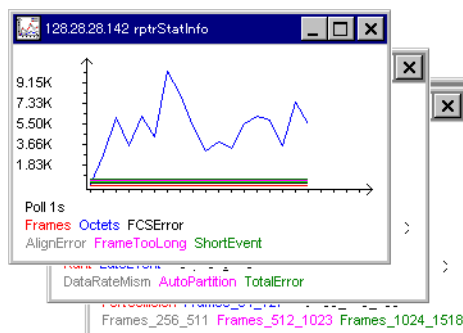
Chart Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を棒グラフで表示します。



Graph Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を折れ線グラフで表示します。



List Hub Health Information

スタックしたハブ全体のスタック情報などをテーブルで表示します。

Reset

ハブのリセットが行えます。なお、ハブの選択 / 非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがリセットされます。

Self Test

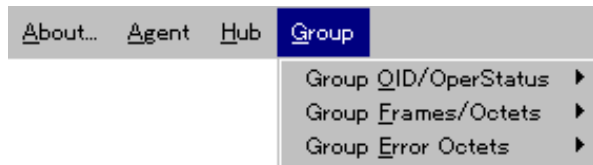
ハブのセルフテストが行えます。ハブの選択 / 非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがセルフテストの対象となります。

2.4.4 「Group」メニュー

「Group」メニューは任意のハブが選択されている場合に表示されます。

また、任意のハブのいずれかのポートが選択されていれば、表示されます。

「Group」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、選択されているグループ（ハブ）に関する情報の表示と設定が行えます。



「Group OID/OperStatus」サブメニュー

ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルを表示するサブメニューです。

List All Group OID/OperStatus

すべてのグループ（ハブ）の ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group OID/OperStatus

選択したグループ（ハブ）の ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルが表示されます。

「Group Frames/Octets」サブメニュー

通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが表示されます。

List All Group Frames/Octets

すべてのグループ（ハブ）の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Frames/Octets

選択したグループ（ハブ）の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Group Error Octets」サブメニュー

エラーバイト数などの各パラメータを表示するサブメニューです。

List All Group Error Octets

すべてのグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

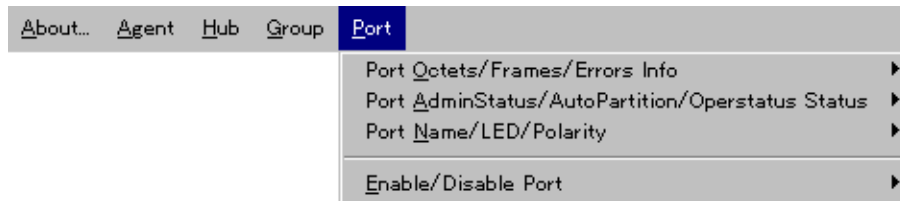
Graph This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されません。

2.4.5 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、C3600シリーズハブのポートに関する情報の表示と設定が行えます。



「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Octets/Frames/Errors

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Port AdminStatus/AutoPartition/Operstatus Status」サブメニュー

ポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Status

すべてのポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの設定が行えます。

「Port Name/LED/Polarity」サブメニュー

ポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Name/LED/Polarity Info

すべてのポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの設定が行えます。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したのポートのイネーブル/ディセーブル状態を変更するサブメニューです。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。

マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。

(「2.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。

マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。

(「2.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

2.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。
ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- RJ-45 ポートにケーブルが接続されていない状態で "enable"、"disable" の操作を行った場合（ケーブルが接続されている状態で "enable"、"disable" の操作を行った場合は、実機と同じ表示となります。）
- BNC ポート、FL ポートの LED 表示
（ON LINE LED がリンクの点灯とレシーブの点滅表示となり、RECEIVE LED は "disable" の際、赤く点灯します。（実機はこれら 2 つの LED は消灯します。））
- BitView 上の LINK LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の COLLISION LED の点滅回数と実機の COLLISION LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な Collision 状況は、「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニューの MIB オブジェクトの値を参照してください。

2.6 その他の注意事項

- C3600 シリーズ用 BitView は、C3600 シリーズハブのスタックでの使用を前提に作成されています。このため、スタンドアロンでネットワークに接続されている場合でも、背景に 8 スロット・ラックの絵が表示されます。また、2 または 4 スロットラックを使用している場合も同様に 8 スロット・ラックが表示されます。
- 7 スロット・セグメンテッド・ラックの場合は、最下段の C3690TR スイッチは、VistaManager のマップでは別ノードとして表示されます。
- Telco コネクターのモデル、C3612T のフロントパネルの表示は、C3612TR のフロントパネルが代用されて表示されます。

第 3 章

CentreCOM 3690TR BitView **モジュール**

本章では、CentreCOM 3690TR(以下C3690TR)用BitViewモジュールの使用方法について説明します。

3.1 C3690TR の BitView

C3690TR 用 BitView は、C3690TR スイッチのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

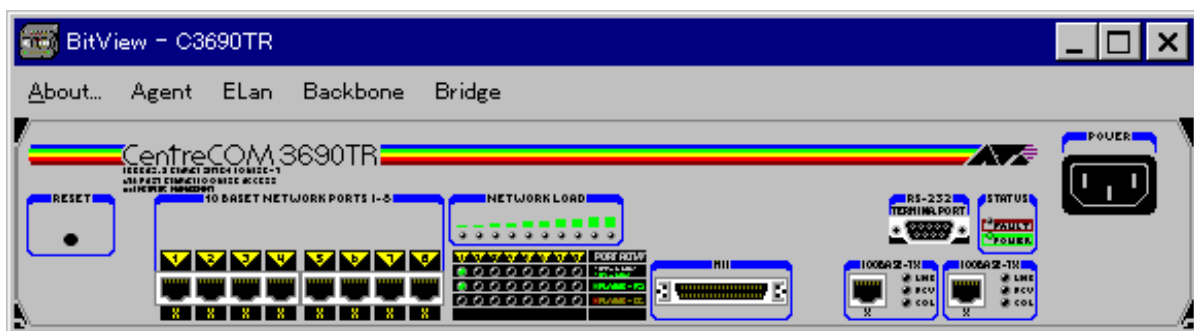


図 3.1.1 C3690TR スイッチの BitView

3.2 C3690TR ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、スイッチの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

3.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 10BASE-T ポート（ポート 1 ~ 8）
- ・ 100BASE-TX ポート（ポート A・B）



「MII ポート」は100MのAポートと共通ですので、マウスでの操作はRJ-45ポートをクリックします。

3.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- ・ **各ネットワーク接続ポート（ポート 1 ~ 8、A・B）:**

左ダブルクリック ポートの "enable" を行います。

右ダブルクリック ポートの "disable" を行います。

- ・ RS-232 ポート : (左 or 右) Telnet の起動を行います。
- ・ 電源ポート : (左 or 右) スイッチ本体のリセットが行えます。

3.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「ELan」、「Backbone」、「Bridge」の5項目のみ表示されていますが、マウスで任意のポートを選択すると「Port」がメニューバーにあらわれます。



図 3.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「Port」の表示）

3.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「3.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

3.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、インテリジェントスイッチのファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。

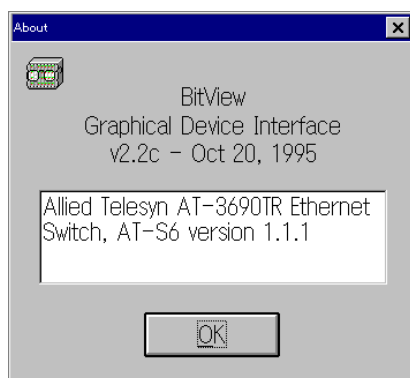


図 3.4.1 「About」ダイアログボックス

3.4.2 「Agent」メニュー

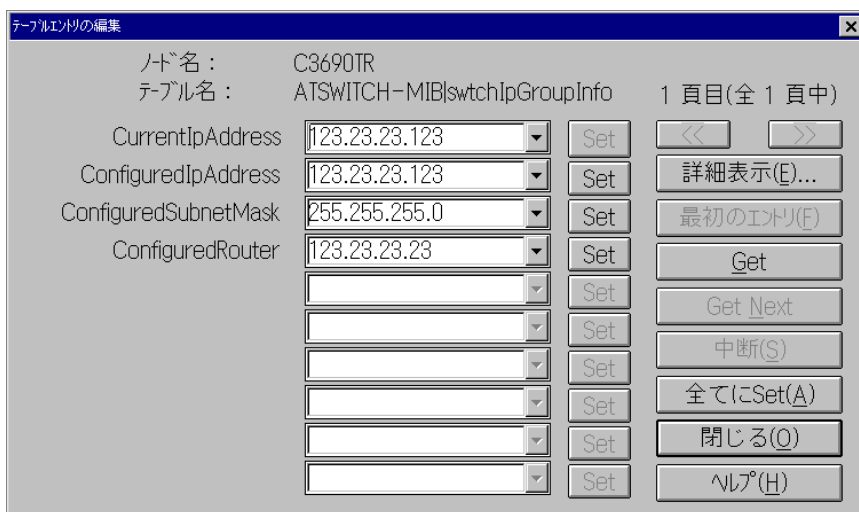
「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



Edit IP Config

C3690TR の IP アドレスなどの表示と設定を行います。

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45 「テーブルエントリの編集」を参照してください。



Edit Switch Config

C3690TR の 10BASE-T ポートのスイッチング方式と、COL LED の表示内容の設定を行います。

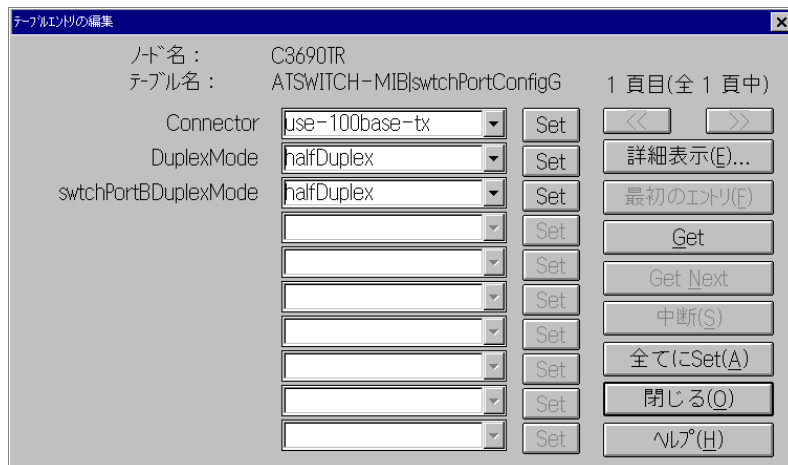
Edit Port Config

C3690TR の 100M ポートの設定を行います。

表示される一番上のアイテムはポート A の MII と 100BASE-TX の選択、

2 番目はポート A のフルデュプレックス・ハーフデュプレックスの切り換え、

3 番目はポート B のフルデュプレックス・ハーフデュプレックスの切り換えです。



List Manager Addresses

ネットマネージャ (Vista Manager など) のインストールされている端末の IP アドレス (C3690TR はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します) をテーブル表示します。

Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。

Index	IpAddr
1	123.23.23.123
2	0.0.0.0
3	0.0.0.0
4	0.0.0.0

List Hardware Info

C3690TR 本体のハードウェア情報をテーブル表示します。

List Hardware Info

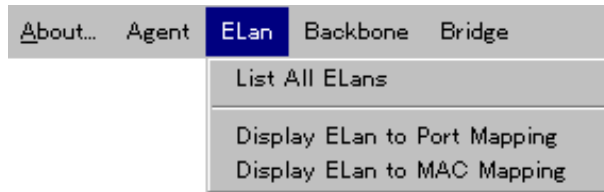
C3690TR 本体の内蔵ソフトウェア (ファームウェア) 情報をテーブル表示します。

Reset Switch

C3690TR のリセットが行えます。

3.4.3 「Elan」メニュー

「Elan」メニューでは、C3690TRのVLANに関する情報の表示を行います。
なお、C3690TRのMIB内でVLANをElanという名称で定義してあるだけですので、ATMのELANとは異なります。



List All ELans

C3690TRに定義してあるすべてのVLANをテーブル表示します。

Display ELan to Port Mapping

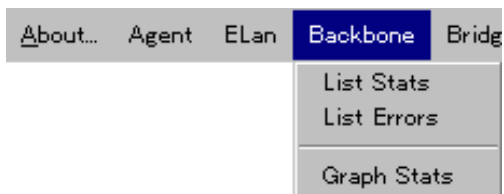
C3690TRに定義してあるポートごとのVLAN情報をテーブル表示します。

Display ELan to MAC Mapping

C3690TRに定義してあるMACアドレスごとのVLAN情報をテーブル表示します。

3.4.4 「Backbone」メニュー

「Backbone」メニューは、各ポートが受信したトラフィックの総和に関する統計情報の表示を行います。



List Stats

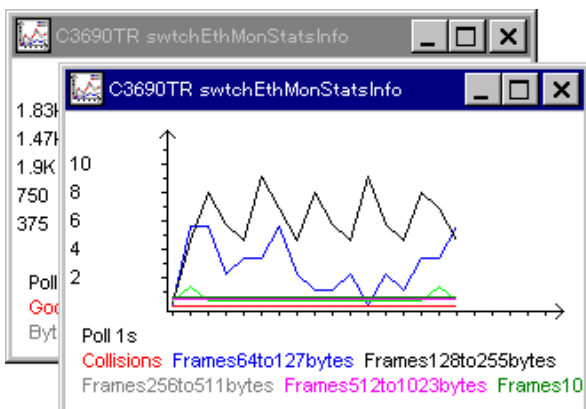
C3690TRの各ポートが受信したトラフィックの総和の統計情報がテーブル表示されます。

List Errors

C3690TRの各ポートが受信したトラフィックの総和のエラー統計情報がテーブル表示されます。

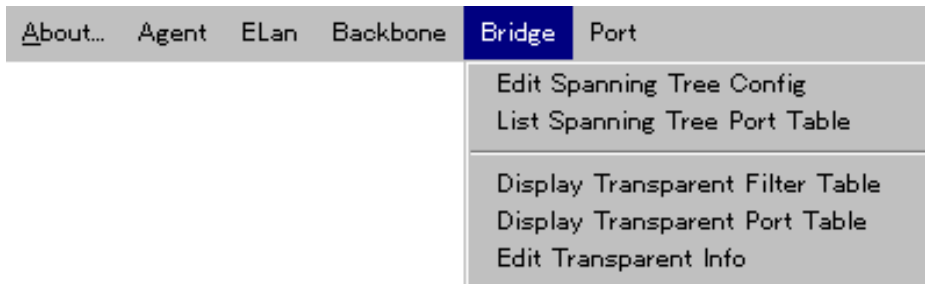
Graph Stats

C3690TRの各ポートが受信したトラフィックの総和の統計情報が折れ線グラフで表示されます。



3.4.5 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、C3690TRのブリッジ機能に関する情報の表示と設定が行えます。



Edit Spanning Tree Config

スパニングツリー設定の各パラメータを設定します。

List Spanning Tree Port Table

ポートごとのスパニングツリー設定の各パラメータをテーブル表示します。

Display Transparent Filter Table

C3690TR がフォワードしたアドレスなどの各パラメータのテーブルが表示されます。

Display Transparent Port Table

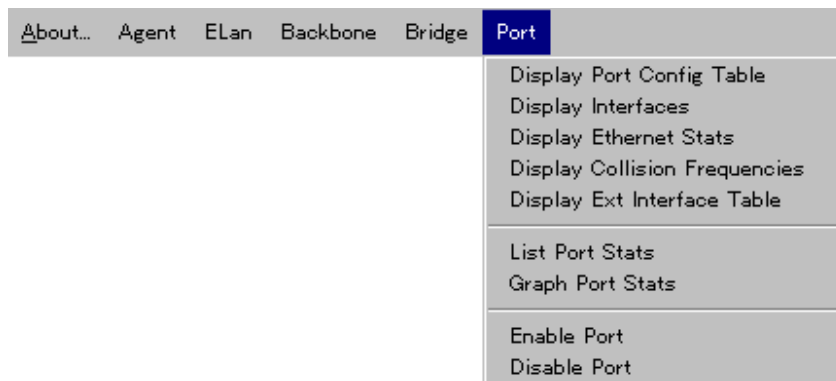
C3690TR がフォワードしたフレームに関する各パラメータのテーブルが表示されます。

Edit Transparent Info

MAC アドレステーブルの保持時間を設定します。

3.4.6 「Port」メニュー

「Port」メニューはBitViewの任意のポートがマウスで選択されている場合に表示されます。「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、C3690TRのポートに関する情報の表示と設定が行えます。



Display Port Config Table

すべてのポートの設定状態に関するパラメータのテーブルが表示されます。

Display Interfaces

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、テーブル表示されます。

Display Ethernet Stats

すべてのポートのイーサネットフレームに関する各パラメータが、テーブル表示されます。

Display Collision Frequencies

コリジョン情報が、ポート番号とともにテーブル表示されます。

Display Ext Interface Table

すべてのポートの通信したフレームのマルチキャスト/ブロードキャストのトラフィックとLink Test Trapのon/offなどの各パラメータが、テーブル表示されます。

List Port Stats

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが、テーブル表示されます。

Graph Port Stats

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。
マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。
(「3.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。
マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。
(「3.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

3.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- C3690TR の RJ-45 ポートに "enable"、"disable" の操作を行った場合（実機ポートは、LINK LED のみ点灯状態になりますが、BitView では、LINK LED が赤く点灯します。）
- BitView 上の LINK LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の COL LED の点滅回数と実機の COL LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な Collision 状況は、「Port」メニューの Display Collision Frequencies の値を参照してください。

第4章

AT-TS シリーズ BitView モジュール

本章では、AT-TSシリーズ(以下TSシリーズ)用BitViewモジュールの使用方法について説明します。

4.1 TS シリーズハブの BitView

TS シリーズハブ用 BitView は、TS シリーズハブのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

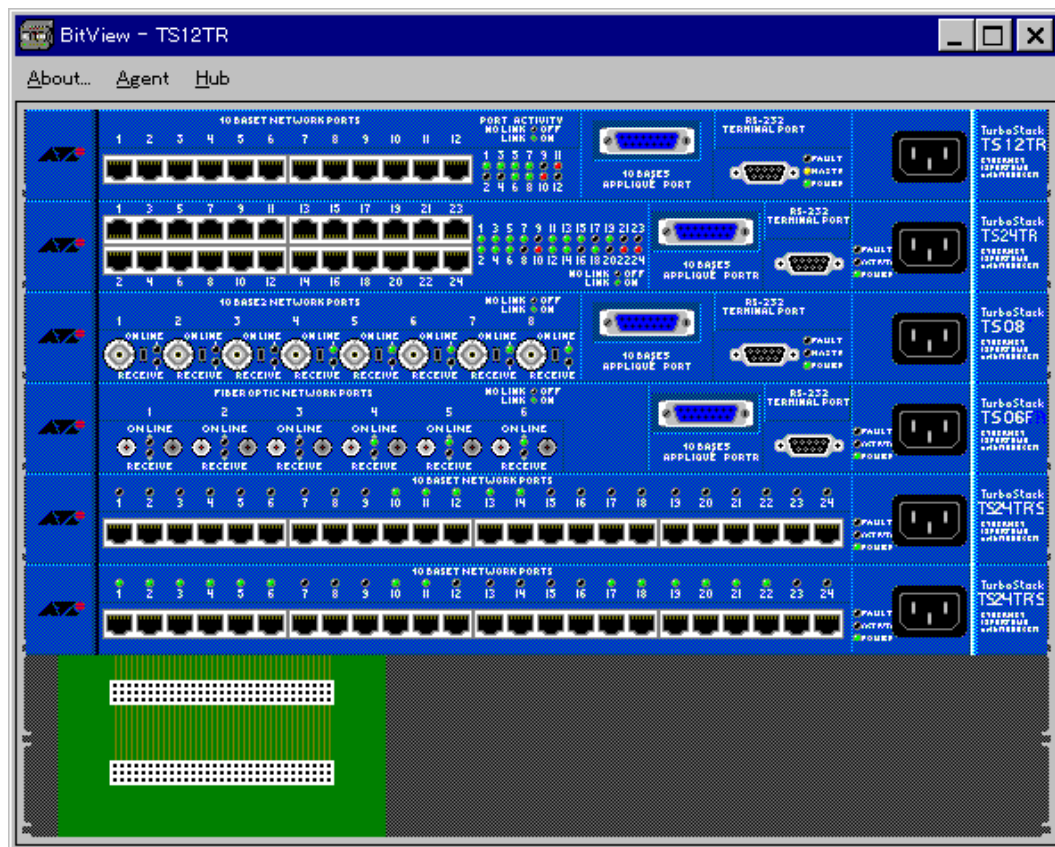


図 4.1.1 スタック状態の AT-TS シリーズハブの BitView



TS シリーズ用 BitView は、TS シリーズハブのスタックでの使用を前提に作成されています。このため、スタンドアロンでネットワークに接続されている場合でも、背景に 8 スロット・ラックの絵が表示されます。また、2 または 4 スロットラックを使用している場合も同様に 8 スロット・ラックが表示されます。

さらに、7 スロット・セグメンテッド・ラックの場合は、最下段の TS90TR スイッチは、VistaManager のマップでは別ノードとして表示されます。

4.2 TS シリーズビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、ハブの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

4.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 各ハブ本体（モジュール）
- ・ 各ネットワークポート（10BASE-T/2/5/FL）

4.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

各ネットワーク接続ポート：

左ダブルクリック ポートが "disable" されている場合の "enable"、
"enable" されている場合の "disable" を行います。

RS-232 ポート：(左 or 右) Telnet の起動を行います。
(日本語対応していませんので、TS シリーズ
ハブの Omega ソフトウェアが日本語表示になっ
ている場合は表示に不具合を生じます。)

電源ポート：(左 or 右) ハブ本体のリセットが行えます。

4.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Hub」の3項目のみ表示されていますが、マウスでハブを選択すると「Group」がメニューバーにあらわれ、ポートを選択すると、「Port」という項目があらわれます。

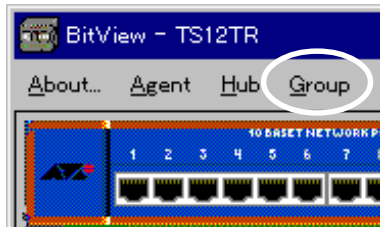


図 4.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ハブの選択により「Group」の表示）

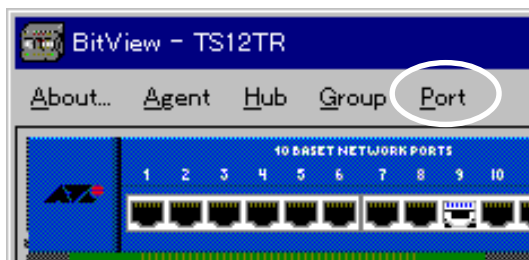


図 4.3.2 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「Port」の表示）

4.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

ハブやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「4.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト（ポートなど）を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

4.4.1 「About」

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

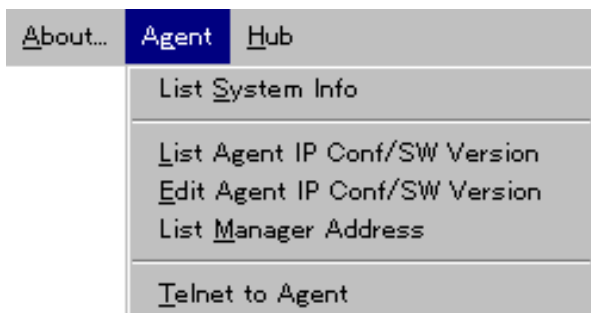
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 の内容です。ここには、インテリジェントハブのファームウェアバージョンなどが含まれる場合があります。



図 4.4.1 「About」ダイアログボックス

4.4.2 「Agent」

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。

The screenshot shows a window titled 'TS12TR SystemInfo' with a menu bar (Edit, Grph, Chrt, List, Hist, Exprt, Cust, Menu, Flip, He) and a table of system information:

Descr	Allied Telesyn International AT-TS12TR Stackable Hub: 4.0cy.C, AT-S10 version
ObjectID	hubTurboStack
UpTime	0 days 00:05:50
Contact	

List Agent IP Conf/SW Version

TS シリーズハブの IP アドレス、ソフトウェアバージョンなどの表示を行います。

The screenshot shows a window titled 'TS12TR rptrInfoInfo' with a menu bar (Edit, Grph, Chrt, List, Hist, Exprt, Cust, Menu, Flip, He) and a table of configuration and version information:

actualIPAddr	123.23.23.123
hubIPAddr	123.23.23.123
subnetMask	255.255.255.0
routerAddr	123.23.23.23
snmpManager	123.23.23.234
Product	AT-S10
Level	4.0cy.C

Edit Agent IP Conf/SW Version

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」のp3-45「テーブルエントリの編集」を参照してください。

フィールド名	値	操作
actualIPAddr	123.23.23.123	Set
hubIPAddr	123.23.23.123	Set
subnetMask	255.255.255.0	Set
routerAddr	123.23.23.23	Set
snmpManager	123.23.23.234	Set
Product	AT-S10	Set
Level	4.0cy.C	Set
configurationChanged	changed	Set
		Set
		Set

List Manager Address

ネットマネージャ（Vista Manager など）のインストールされている端末の IP アドレス（TS シリーズハブはこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します）の表示を行います。

Telnet to Agent

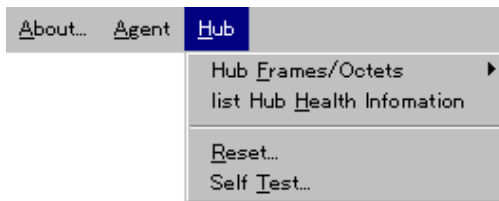
Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で TS シリーズハブにログインします。BitView の RS-232 ポートのダブルクリックと同じ操作となります。



Vista Manger の Telnet は、日本語表示に未対応となっていますので、TS シリーズハブの設定メニューの英語表示でのみ使用可能です。

4.4.3 「Hub」メニュー

「Hub」メニューでは、スタックしたハブ全体の通信データに関する統計情報の表示、TSシリーズハブのリセットおよびセルフテストが行えます。



「Hub Frames/Octets」サブメニュー

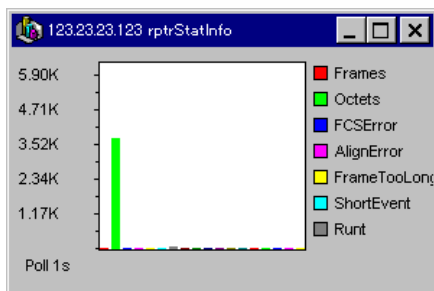
スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブルで表示します。

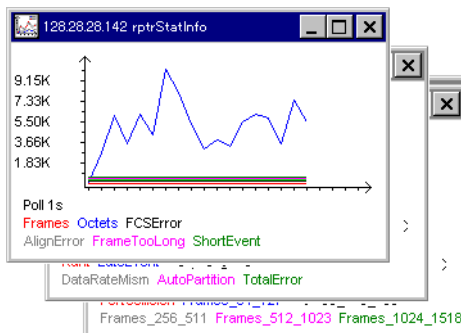
Chart Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を棒グラフで表示します。



Graph Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を折れ線グラフで表示します。



List Hub Health Information

スタックしたハブ全体のスタック情報などをテーブルで表示します。

Reset

ハブのリセットが行えます。なお、ハブの選択 / 非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがリセットされます。

Self Test

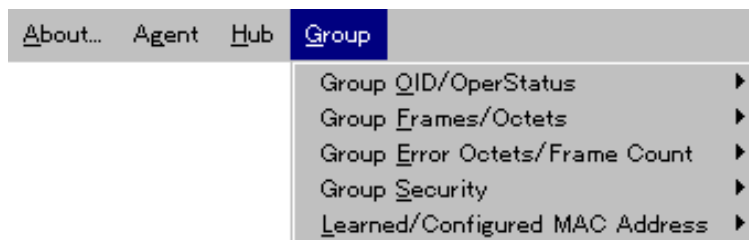
ハブのセルフテストが行えます。ハブの選択 / 非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがセルフテストの対象となります。

4.4.4 「Group」メニュー

「Group」メニューは任意のハブが選択されている場合に表示されます。

また、任意のハブのいずれかのポートが選択されていれば、表示されます。

「Group」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、選択されているグループ（ハブ）に関する情報の表示と設定が行えます。



「Group OID/OperStatus」サブメニュー

ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルを表示するサブメニューです。

List All Group OID/OperStatus

すべてのグループ（ハブ）の ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group OID/OperStatus

選択したグループ（ハブ）の ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルが表示されます。

「Group Frames/Octets」サブメニュー

通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが表示されます。

List All Group Frames/Octets

すべてのグループ（ハブ）の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Frames/Octets

選択したグループ（ハブ）の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Group Error Octets/Frame Count」サブメニュー

エラーバイト数・フレーム数などの各パラメータを表示するサブメニューです。

List All Group Error Octets/Frame Count

すべてのグループ(ハブ)のエラーバイト数・フレーム数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Error Octets/Frame Count

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数・フレーム数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Error Octets/Frame Count

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数・フレーム数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Group Error Octets/Frame Count

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数・フレーム数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Group Security」サブメニュー

TSシリーズハブの Intruder Trap などのセキュリティ設定の各パラメータを表示するサブメニューです。

List All Group Intruder Protection/Sec Address Info

すべてのグループ(ハブ)の Intruder Trap などのセキュリティ設定の各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Intruder Protection/Sec Address Info

選択したグループ(ハブ)の Intruder Trap などのセキュリティ設定の各パラメータのテーブルが表示されます。

Edit Group Intruder Protection/Sec Address Info

選択したグループ(ハブ)の Intruder Trap などのセキュリティ設定の各パラメータの編集を行います。

「Learned/Configured MAC Address」サブメニュー

セキュリティー設定に使用される送信元 MAC アドレスなどの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Group Source Address Table

すべてのグループの送信元 MAC アドレスなどの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

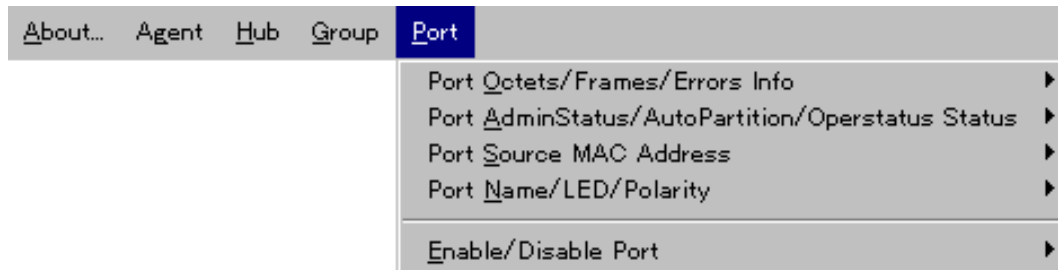
List This Group Source Address Table

選択したグループの送信元 MAC アドレスなどの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

4.4.5 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、TSシリーズハブのポートに関する情報の表示と設定が行えます。



「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Octets/Frames/Errors

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Port AdminStatus/AutoPartition/Operstatus Status」サブメニュー

ポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Status

すべてのポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの設定が行えます。

「Port Source MAC Address」サブメニュー

各ポートの最新の MAC アドレスに関する情報を表示するサブメニューです。

List All Port Source MAC Address

すべてのポートの送信元 MAC アドレスなどの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Source MAC Address

選択したポートの送信元 MAC アドレスなどの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

「Port Name/LED/Polarity」サブメニュー

ポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Name/LED/Polarity Info

すべてのポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの設定が行えます。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したのポートのイネーブル/ディセーブル状態を変更するサブメニューです。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。
マウスでのポートのダブルクリックと同じ操作です。
(「4.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。
マウスでのポートのダブルクリックと同じ操作です。
(「4.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

4.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の变化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- RJ-45 ポートにケーブルが接続されていない状態で "enable"、"disable" の操作を行った場合（ケーブルが接続されている状態で "enable"、"disable" の操作を行った場合は、実機と同じ表示となります。）
- BNC ポート、FL ポートの LED 表示
（ON LINE LED がリンクの点灯とレシーブの点滅表示となり、RECEIVE LED は "disable" の際、赤く点灯します。（実機はこれら 2 つの LED は 消灯します。））
- BitView 上の LINK LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の Collision LED の点滅回数と実機の Collision LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な Collision 状況は、「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニューの MIB オブジェクトの値を参照してください。

4.6 その他の注意事項

- TS シリーズ用 BitView は、TS シリーズハブのスタックでの使用を前提に作成されています。このため、スタンドアロンでネットワークに接続されている場合でも、背景に 8 スロット・ラックの絵が表示されます。また、2 または 4 スロットラックを使用している場合も同様に 8 スロット・ラックが表示されます。
- 7 スロット・セグメンテッド・ラックの場合は、最下段の TS90TR スイッチは、VistaManager のマップでは別ノードとして表示されます。

第 5 章

AT-TS90TR BitView モジュール

本章では、AT-TS90TR (以下 TS90TR) 用 BitView モジュールの使用方法について説明します。

5.1 TS90TR の BitView

TS90TR 用 BitView は、TS90TR スイッチのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

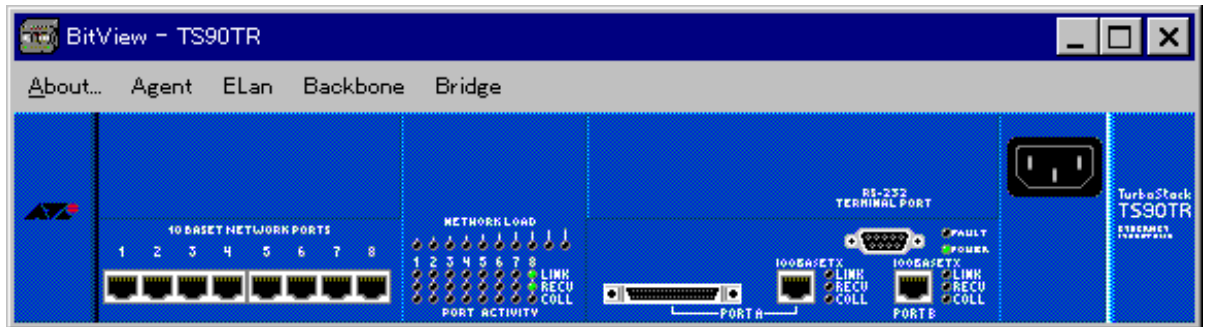


図 5.1.1 TS90TR スイッチの BitView

5.2 TS90TR ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、スイッチの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

5.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 10BASE-T ポート（ポート 1 ~ 8）
- ・ 100BASE-TX ポート（ポート A・B）



「MII ポート」は 100M の A ポートと共通ですので、マウスでの操作は RJ-45 ポートをクリックします。

5.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- ・ **各ネットワーク接続ポート（ポート 1 ~ 8、A・B）:**

左ダブルクリック ポートの "enable" を行います。

右ダブルクリック ポートの "disable" を行います。

- ・ **RS-232 ポート:(左 or 右)** Telnet の起動を行います。
- ・ **電源ポート:(左 or 右)** スイッチ本体のリセットが行えます。

5.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Elan」、「Backbone」、「Bridge」の5項目のみ表示されていますが、マウスで任意のポートを選択すると「Port」がメニューバーにあらわれます。

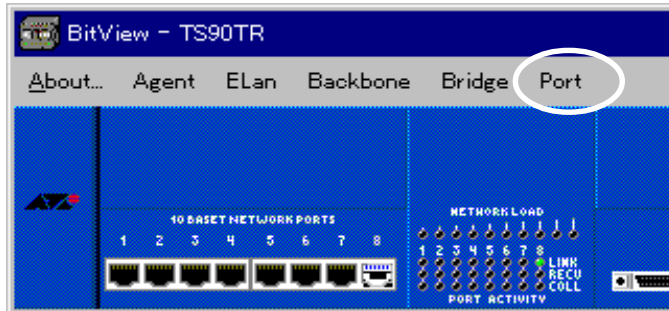


図 5.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「Port」の表示）

5.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「5.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

5.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、インテリジェントスイッチのファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。

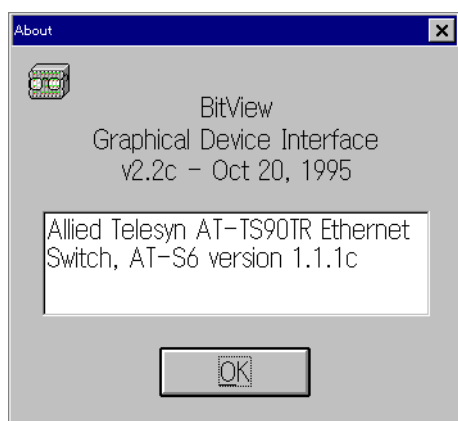


図 5.4.1 「About」ダイアログボックス

5.4.2 「Agent」メニュー

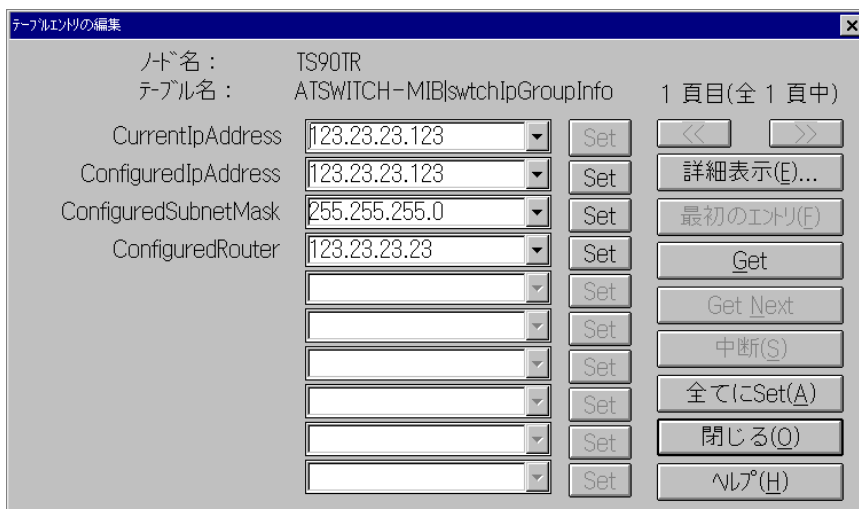
「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



Edit IP Config

TS90TR の IP アドレスなどの表示と設定を行います。

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45 「テーブルエントリの編集」を参照してください。



Edit Switch Config

TS90TR の 10BASE-T ポートのスイッチング方式と、COLL LED の表示内容の設定を行います。

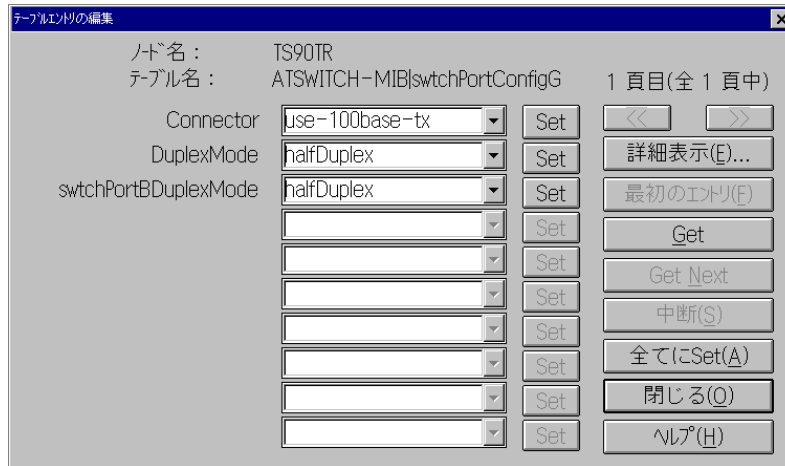
Edit Port Config

TS90TR の 100M ポートの設定を行います。

表示される一番上のアイテムはポート A の MII と 100BASE-TX の選択、

2 番目はポート A のフルデュプレックス・ハーフデュプレックスの切り換え、

3 番目はポート B のフルデュプレックス・ハーフデュプレックスの切り換えです。



List Manager Addresses

ネットマネージャ (Vista Manager など) のインストールされている端末の IP アドレス (TS90TR はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します) をテーブル表示します。

Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。

Index	IpAddr
1	123.23.23.123
2	0.0.0.0
3	0.0.0.0
4	0.0.0.0

List Hardware Info

TS90TR 本体のハードウェア情報をテーブル表示します。

List Hardware Info

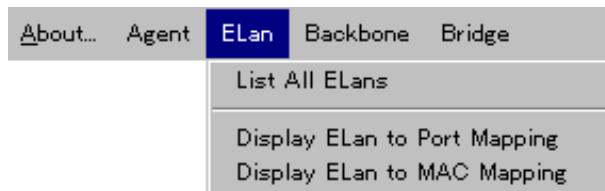
TS90TR 本体の内蔵ソフトウェア (ファームウェア) 情報をテーブル表示します。

Reset Switch

TS90TR のリセットが行えます。

5.4.3 「Elan」メニュー

「Elan」メニューでは、TS90TR の VLAN に関する情報の表示を行います。
なお、TS90TR の MIB 内で VLAN を Elan という名称で定義してあるだけですので、ATM の ELAN とは異なります。



List All ELans

TS90TR に定義してあるすべての VLAN をテーブル表示します。

Display ELan to Port Mapping

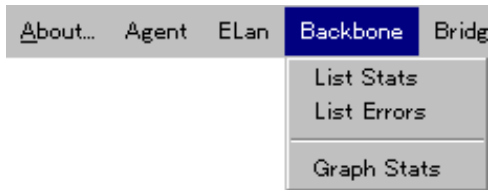
TS90TR に定義してあるポートごとの VLAN 情報をテーブル表示します。

Display ELan to MAC Mapping

TS90TR に定義してある MAC アドレスごとの VLAN 情報をテーブル表示します。

5.4.4 「Backbone」メニュー

「Backbone」メニューは、各ポートが受信したトラフィックの総和に関する統計情報の表示を行います。



List Stats

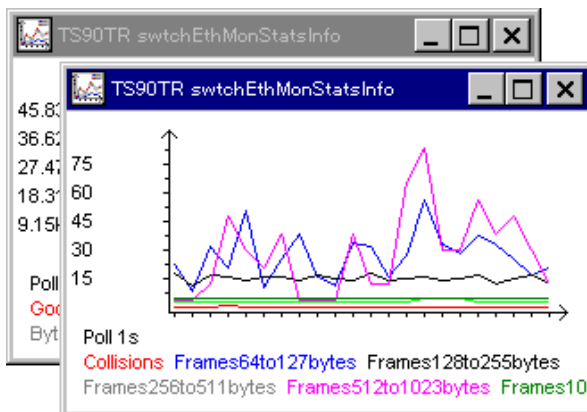
TS90TRの各ポートが受信したトラフィックの総和の統計情報がテーブル表示されます。

List Errors

TS90TRの各ポートが受信したトラフィックの総和のエラー統計情報がテーブル表示されます。

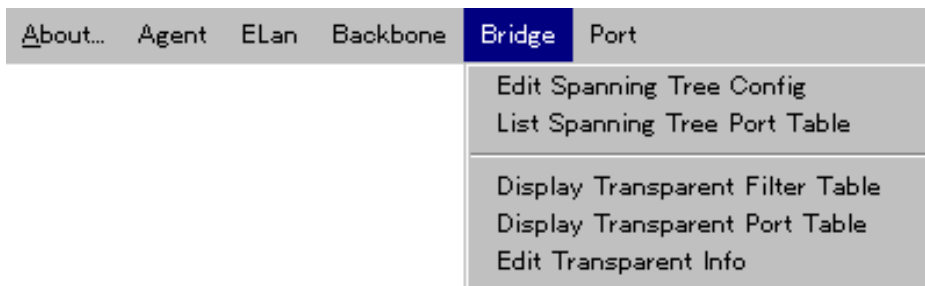
Graph Stats

TS90TRの各ポートが受信したトラフィックの総和の統計情報が折れ線グラフで表示されます。



5.4.5 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、TS90TR のブリッジ機能に関する情報の表示と設定が行えます。



Edit Spanning Tree Config

スパニングツリー設定の各パラメータを設定します。

List Spanning Tree Port Table

ポートごとのスパニングツリー設定の各パラメータをテーブル表示します。

Display Transparent Filter Table

TS90TR がフォワードしたアドレスなどの各パラメータのテーブルが表示されます。

Display Transparent Port Table

TS90TR がフォワードしたフレームに関する各パラメータのテーブルが表示されます。

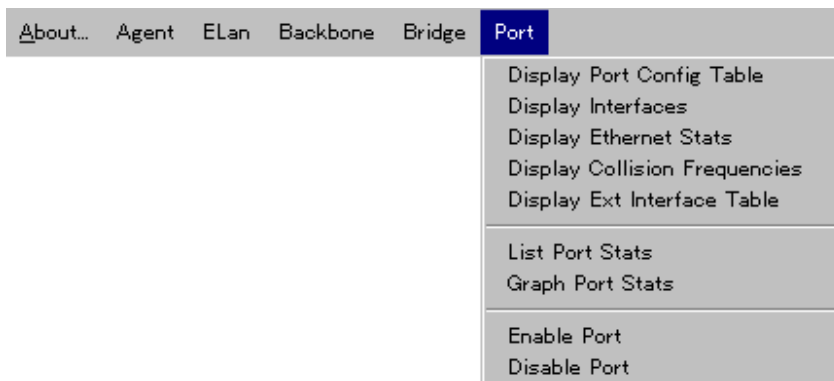
Edit Transparent Info

MAC アドレステーブルの保持時間を設定します。

5.4.6 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、TS90TR のポートに関する情報の表示と設定が行えます。



Display Port Config Table

すべてのポートの設定状態に関するパラメータのテーブルが表示されます。

Display Interfaces

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、テーブル表示されます。

Display Ethernet Stats

すべてのポートのイーサネットフレームに関する各パラメータが、テーブル表示されます。

Display Collision Frequencies

コリジョン情報が、ポート番号とともにテーブル表示されます。

Display Ext Interface Table

すべてのポートの通信したフレームのマルチキャスト/ブロードキャストのトラフィックと Link Test Trap の on/off などの各パラメータが、テーブル表示されます。

List Port Stats

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが、テーブル表示されます。

Graph Port Stats

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。
マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。
(「5.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。
マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。
(「5.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

5.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- TS90TR の RJ-45 ポートに "enable"、"disable" の操作を行った場合
(実機ポートは、LINK LED のみ点灯状態になりますが、
BitView では、LINK LED が赤く点灯します。)
- BitView の NETWORK LED は点灯しません。
- BitView 上の LINK LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の COLL LED の点滅回数と実機の COLL LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な Collision 状況は、「Port」メニューの Display Collision Frequencies の値を参照してください。

第 6 章

CentreCOM 3716TR/3716TR*plus* BitView **モジュール**

本章では、CentreCOM 3716TR および CentreCOM 3716TRplus (以下 C3716TR) 用 BitView モジュールの使用方法について説明します。

6.1 C3716TR の BitView

C3716TR 用 BitView は、C3716TR スイッチのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

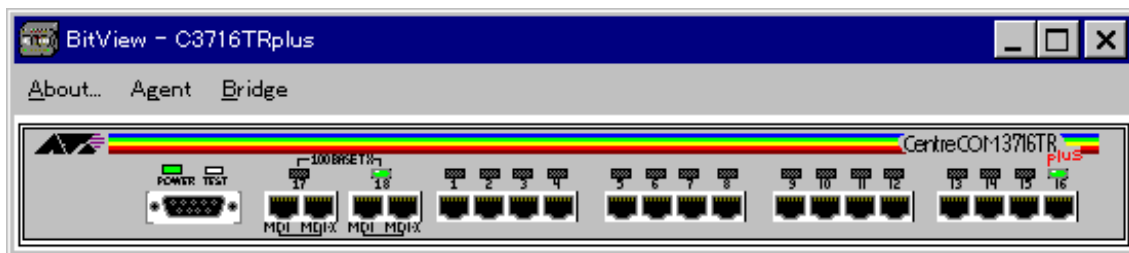


図 6.1.1 C3716TRplus スイッチの BitView



CentreCOM 3716TR と CentreCOM 3716TRplus の BitView モジュールは、ポート数が異なるだけで、画面表示項目・操作はまったく同じです。

6.2 C3716TR ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、スイッチの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

6.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- 10BASE-T ポート（ポート 1 ~ 16）
- 100BASE-TX ポート（ポート 17・18（C3716TRplus））

6.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- **各ネットワーク接続ポート：**

左ダブルクリック ポートの "enable" を行います。

右ダブルクリック ポートの "disable" を行います。

- **RS-232 ポート：(左 or 右)** Telnet の起動を行います。

6.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Bridge」の3項目のみ表示されていますが、マウスでポートを選択すると、「Port」という項目があらわれます。

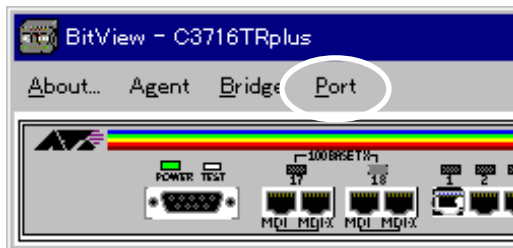


図 6.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「Port」の表示）

6.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

スイッチやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「6.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

6.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、インテリジェントスイッチのファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。

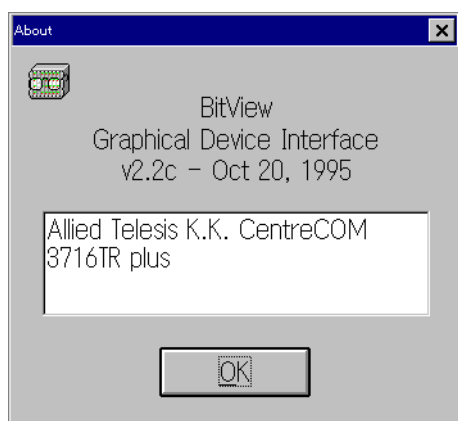


図 6.4.1 「About」ダイアログボックス

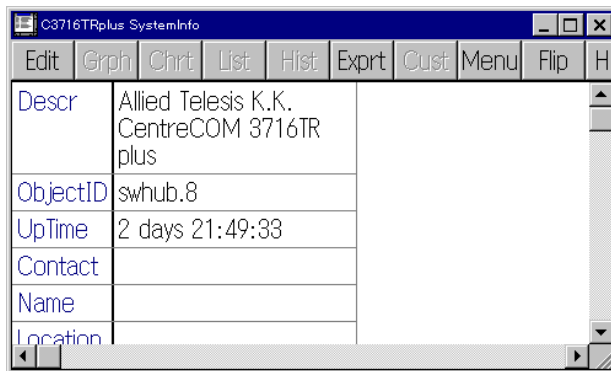
6.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



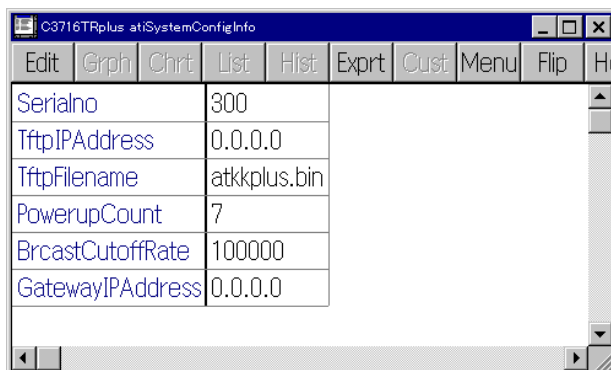
List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List Gateway/TFTP Info

C3716TR のゲートウェイアドレス、TFTP サーバーのアドレスなどの表示を行います。



List IP/Switch Info

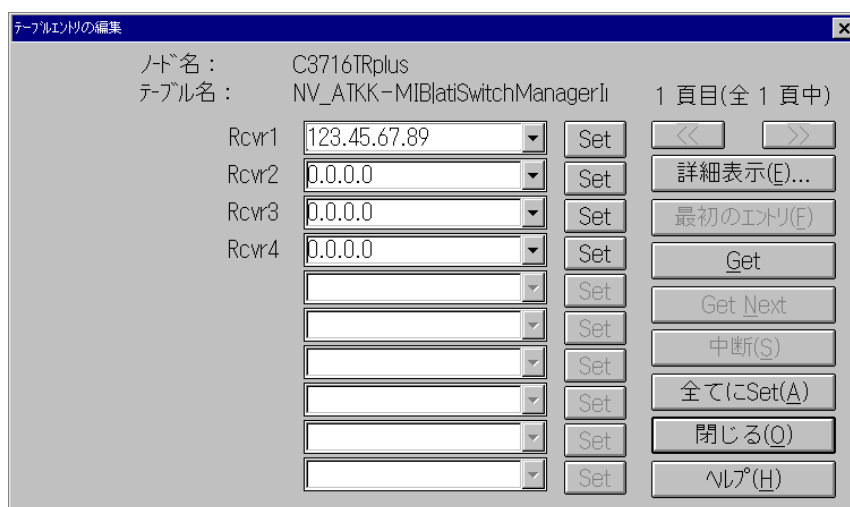
C3716TR の IP アドレス、サブネットマスクなどの表示を行います。

List Manager Address

ネットマネージャ (Vista Manager など) のインストールされている端末の IP アドレス (C3716TR はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します) の設定値などの表示を行います。

Edit Manager Address

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45「テーブルエントリの編集」を参照してください。



Telnet to Agent

Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で C3716TR にログインします。BitView の RS-232 ポートのダブルクリックと同じ操作となります。

6.4.3 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、C3716TR のブリッジ機能に関する統計情報の表示と設定が行えます。



List Forwarding Database

通信データ中のフォワーディングアドレスをテーブルで表示します。

「Forwarding Discard/Aging Time Info」サブメニュー

フォワーディングアドレスのうち、一定時間通信が行われず、登録が消去されたアドレス数とエージングタイムを表示・編集するサブメニューです。

List Forwarding Discard/Aging Time Info

登録が消去されたアドレス数とエージングタイムをテーブルで表示します。

Edit Forwarding Discard/Aging Time Info

エージングタイムを編集します。

「Agent Spanning Tree Info」サブメニュー

C3716TR 本体のスパニングツリーの各設定値を表示・編集するサブメニューです。

List Agent Spanning Tree Info

C3716TR 本体のスパニングツリーの各設定値をテーブルで表示します。

Edit Agent Spanning Tree Info

C3716TR 本体のスパニングツリーの各設定値を編集します。

「Port Spanning Tree Info」サブメニュー

ポートのスパニングツリーの各設定値を表示・編集するサブメニューです。

List All Port Info

すべてのポートのスパニングツリーの各設定値をテーブルで表示します。

List This Port Info

選択したポートのスパニングツリーの各設定値をテーブルで表示します。

(ポートが選択されていない場合は、直前回に選択していたポートが対象になります。)

Edit This Port Info

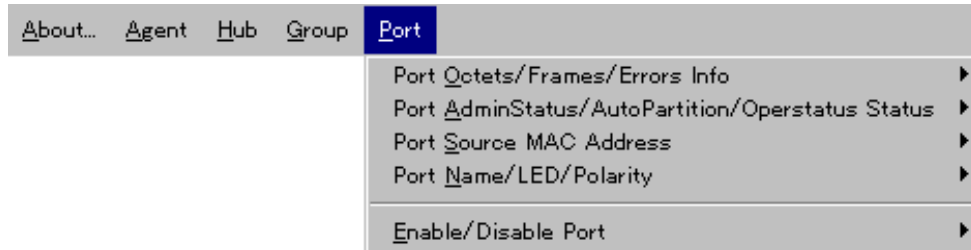
選択したポートのスパニングツリーの各設定値を編集します。

(ポートが選択されていない場合は、直前回に選択していたポートが対象になります。)

6.4.4 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、C3716TRのポートに関する情報の表示と設定が行えます。



「Interface Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Interface Info

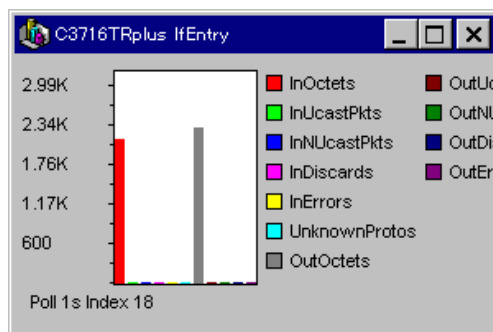
すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータのテーブルが表示されます。

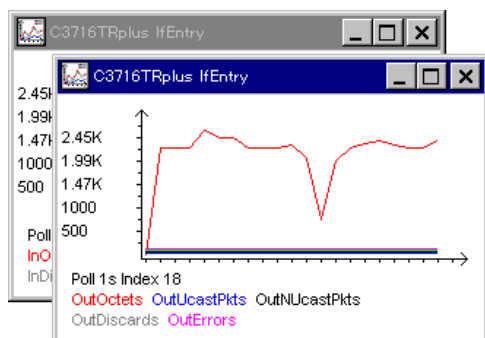
Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。



Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。



「Port Input/Output Frames」サブメニュー

ポートの入出力フレーム数などを表示するサブメニューです。

List All Port I/O Frames

すべてのポートの入出力フレーム数などがテーブル表示されます。

List This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などがテーブル表示されます。

Chart This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などが、折れ線グラフで表示されます。

「Port Config/Forward Frames」サブメニュー

ポートの状態やフォワードしたフレーム数などを表示するサブメニューです。

List All Port Config/Forward Frames

すべてのポートの状態やフォワードしたフレーム数などがテーブル表示されます。

List This Port Config/Forward Frames

選択したポートの状態やフォワードしたフレーム数などがテーブル表示されます。

Chart This Port Forward Frames

選択したポートの状態やフォワードしたフレーム数などが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port Forward Frames

選択したポートの状態やフォワードしたフレーム数などが、折れ線グラフで表示されます。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したのポートのイネーブル/ディセーブル状態を変更するサブメニューです。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。

マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。

(「6.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。

マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。

(「6.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

6.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- C3716TR の RJ-45 ポートに "enable"、"disable" の操作を行った場合
(実機ポートの LED は消灯状態になりますが、
BitView では、各ポートの LED が赤く点灯します。)
- BitView 上の Link LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の各 LED の点滅回数と実機の LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な通信状況は、「Interface Info」サブメニューの各テーブルの値を参照してください。

第 7 章

CentreCOM 2985 BitView **モジュール**

本章では、CentreCOM 2985 (以下 C2985) 用 BitView モジュール
の使用方法について説明します。

7.1 C2985 の BitView

C2985 用 BitView は、C2985 ブリッジのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

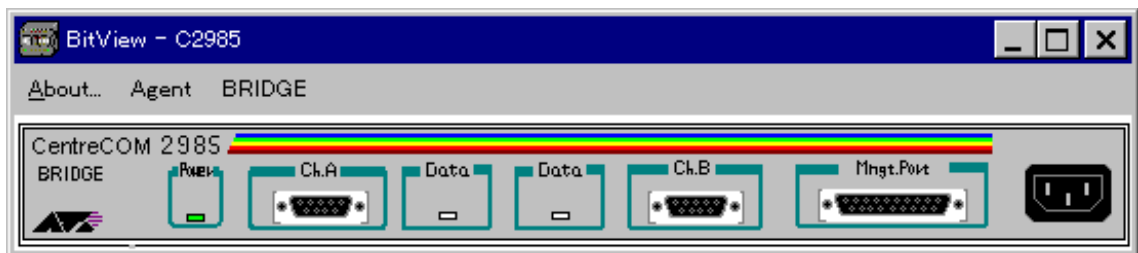


図 7.1.1 C2985 ブリッジの BitView



C2985 の LED 表示については、未対応となっておりますので、BitView 上では、点灯・点滅しません。

7.2 C2985 ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、ブリッジの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

7.2.1 クリック(未対応)

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択しますが、C2985の場合、オブジェクトを選択してメニューを使用する機能はありません。

7.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

RS-232 ポート： Telnet の起動を行います。

電源ポート： ブリッジ本体のリセットが行えます。

7.3 メニューバーの表示項目

C2985 の BitView のメニューバーには、「About」、「Agent」、「BRIDGE」の3項目が表示されています。



図 7.3.1 メニューバーの表示項目

7.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

ブリッジやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクトに対して、メニューの操作が行われます。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

7.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、インテリジェントブリッジのファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。

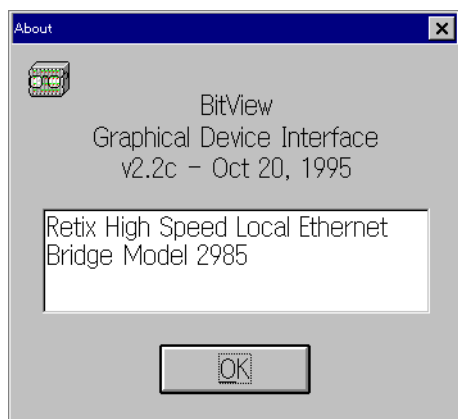
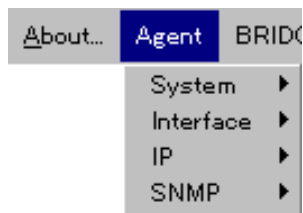


図 7.4.1 「About」ダイアログボックス

7.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



「System」サブメニュー

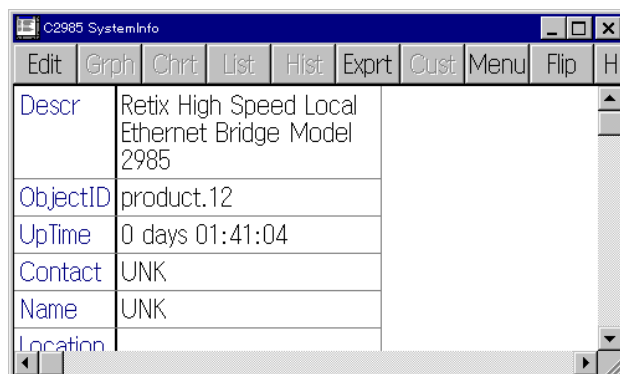
ブリッジのエージェントのMIBの基本的な情報の表示と設定を行うサブメニューです。

List System Info

List System Infoでは、エージェントのMIBの基本的な情報の表示を行います。

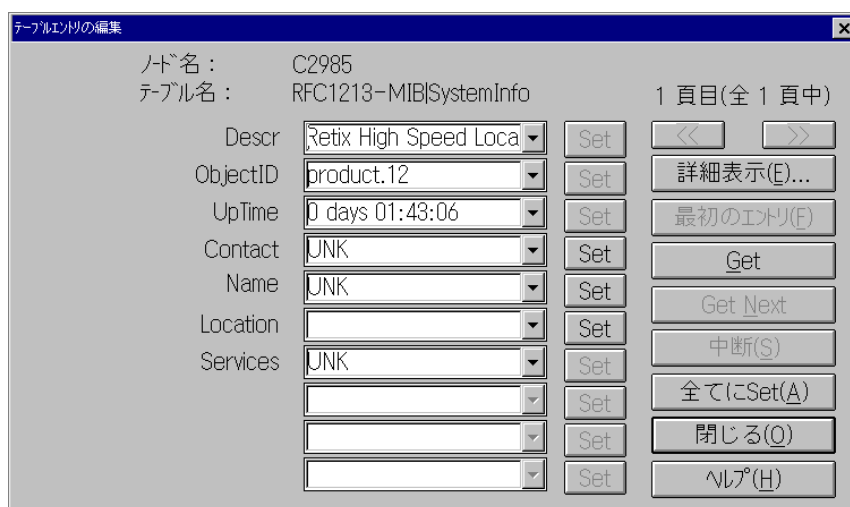
Vista Managerの「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。

Vista Managerの各テーブル表示と同じ操作となります。



Edit System Info

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45 「テーブルエントリの編集」を参照してください。



「Interface」サブメニュー

C2985 のエージェントの MIB の基本的な情報の表示と設定を行うサブメニューです。

Display Interface Table...

C2985 の 2 つのポートのポート状態などの情報をテーブルで表示します。

Edit Interface...

C2985 の 2 つのポートのポート状態などの情報の設定を行います。

「IP」サブメニュー

C2985 の IP アドレスなどの表示と設定を行うサブメニューです。

Display IP Parameters...

C2985 の IP アドレスなどの情報をテーブルで表示します。

Edit IP Parameters...

C2985 の IP アドレスなどの情報の設定を行います。

「SNMP」サブメニュー

SNMP に関連した情報の表示と設定を行うサブメニューです。

Display IP Parameters...

SNMP に関連した情報をテーブルで表示します。

Edit IP Parameters...

SNMP に関連した情報の設定を行います。

7.4.3 「BRIDGE」メニュー

「BRIDGE」メニューでは、スパニングツリーなどのブリッジ設定に関するパラメータの表示と設定を行います。



「Config」サブメニュー

「BRIDGE」メニューでは、スパニングツリーなどのブリッジ設定に関するパラメータの表示と設定を行うサブメニューです。

Display Bridge Configuration

スパニングツリーなどのブリッジ設定に関するパラメータをテーブルで表示します。

Edit Bridge Configuration

スパニングツリーなどのブリッジ設定に関するパラメータの設定を行います。

7.5 LED 表示について

C2985 の LED 表示については、未対応となっておりますので、BitView 上では、点灯・点滅しません。

第 8 章

CONGO BitView モジュール

本章では、アクセスルーター CONGO 用 BitView モジュールの使用方法について説明します。

8.1 CONGO の BitView

CONGO 用 BitView は、CONGO のアイコンをダブルクリックすると表示されます。



図 8.1.1 CONGO の BitView



CONGO の ISDN ポートは、実際は 1 ポートですが、ISDN 回線は B チャンネルが 2 回線分あるため、BitView 上では、ISDN のポートを 2 つ表示し、それぞれのチャンネルごとのデータ表示などを行うようになっています。

また、LED と RJ-45 ポートが異なる面に取り付けてありますので、前面と背面がそれぞれ表示されます。

8.2 CONGO ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、ルーターの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

8.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- 10BASE-T ポート
- ISDN ポート（Bチャンネル×2）

8.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- **CONSOLE ポート**： Telnet の起動を行います。

注） RJ-45 ポート（10BASE-T ポート・ISDN ポート（Bチャンネル×2））の "enable"、"disable" を行うことはできません。

8.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Bridge」、「IP」、「Dial Port」の5項目のみ表示されていますが、マウスで10BASE-Tポートをクリックすると「Port」がメニューバーにあらわれ、ISDNをクリックすると「PPP」、「ISDN」、「Port」がメニューバーにあらわれます。

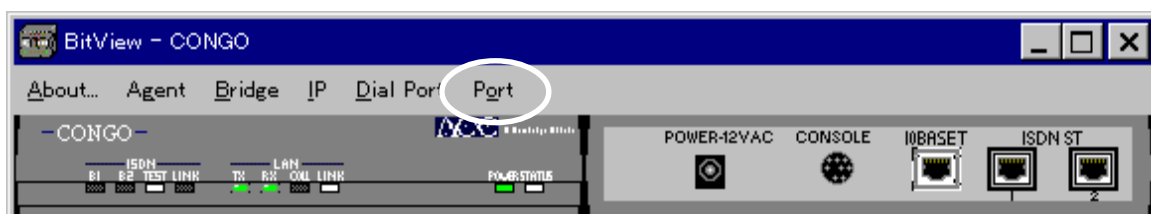


図 8.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「Port」の表示）

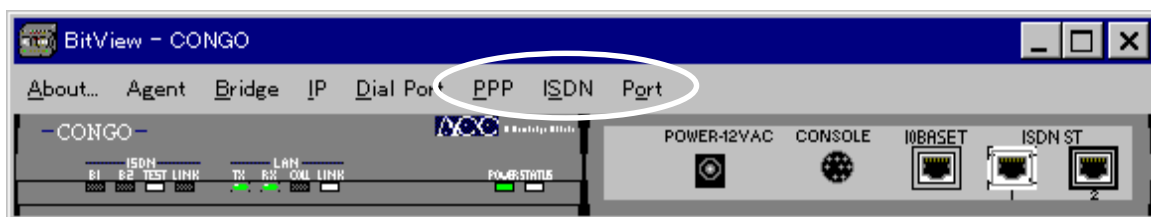


図 8.3.2 メニューバーの表示項目の増減
（ISDNの選択により「PPP」「ISDN」「Port」の表示）

8.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「8.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

8.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

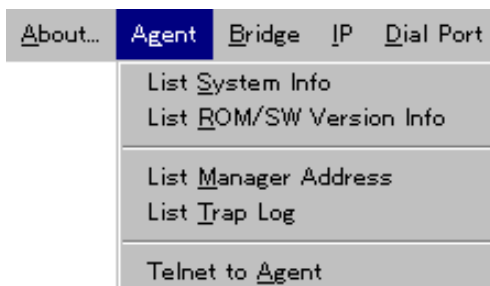
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、ファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。



図 8.4.1 「About」ダイアログボックス

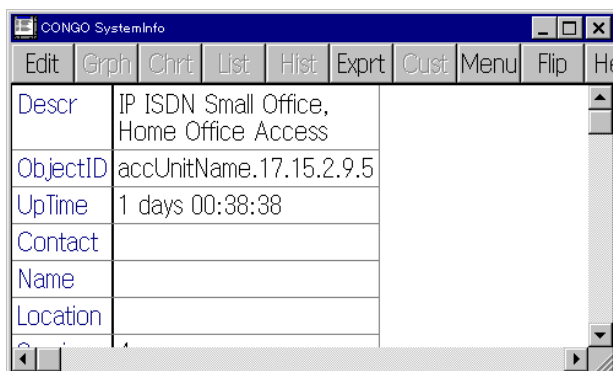
8.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



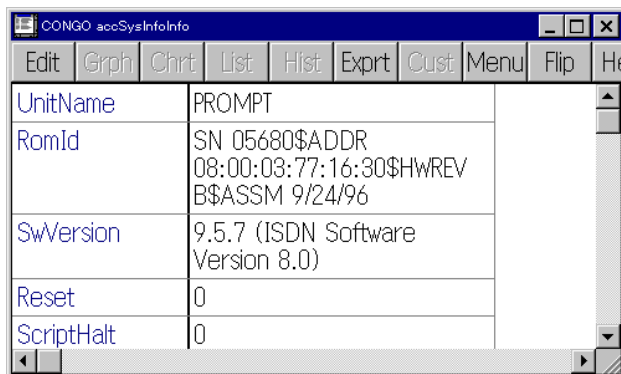
List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List ROM/SW Version Info

CONGO の ROM ID やファームウェアバージョンなどの表示を行います。



List Manager Addresses

ネットマネージャ (Vista Manager など) のインストールされている端末の IP アドレス (CONGO はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します) をテーブル表示します。

List Trap Log

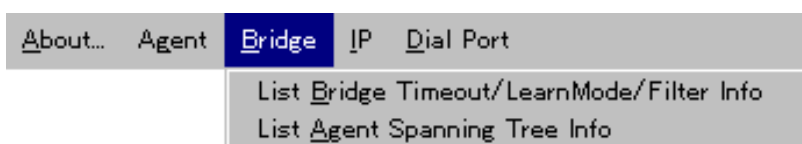
SNMP マネージャへのトラップのログをテーブル表示します。

Telnet to Agent

Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で CONGO にログインします。
BitView の CONSOLE ポートのダブルクリックと同じ操作となります。

8.4.3 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、CONGO のポートに関する情報の表示が行えます。



List Bridge Timeout/LearnMode/Filter Info

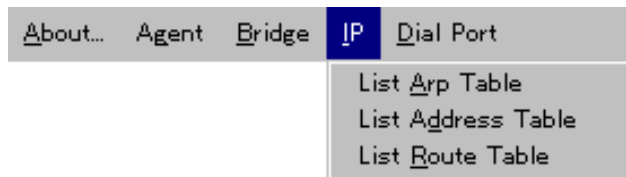
タイムアウト値やラーニングモードなどのブリッジ設定の各パラメータをテーブル表示します。

List Agent Spanning Tree Info

スパニングツリー設定の各パラメータをテーブル表示します。

8.4.4 「IP」メニュー

「IP」メニューは、TCP/IP プロトコルに関する統計情報の表示を行います。



List Arp Table

CONGO の ARP テーブルのデータがテーブル表示されます。

List Address Table

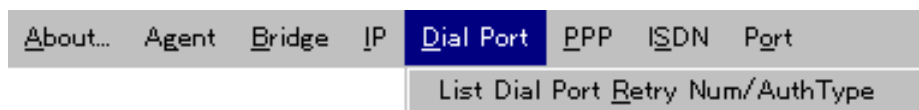
CONGO のインターフェースのアドレスに関する情報がテーブル表示されます。

List Route Table

CONGO のルーティングに関するデータがテーブル表示されます。

8.4.5 「Dial Port」メニュー

「Dial Port」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、CONGO のポートに関する情報の表示が行えます。



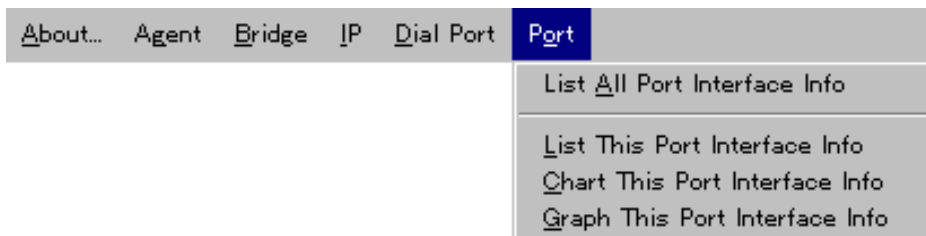
List Dial Port Retry Num/AuthType

ダイヤルポート（接続先）設定の各パラメータをテーブル表示します。

8.4.6 「Port」メニュー

「Port」メニューはBitViewの10BASE-TポートまたはISDNポートがマウスで選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、CONGOのポート（10BASE-TポートおよびISDNポート）に関する情報の表示が行えます。



List All Port Interface Info

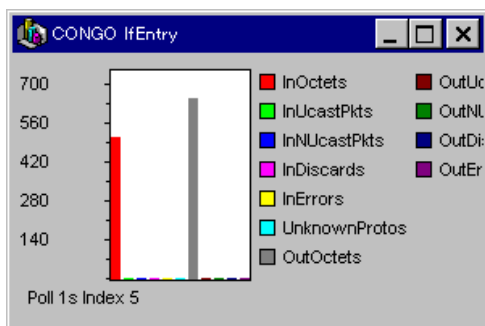
すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

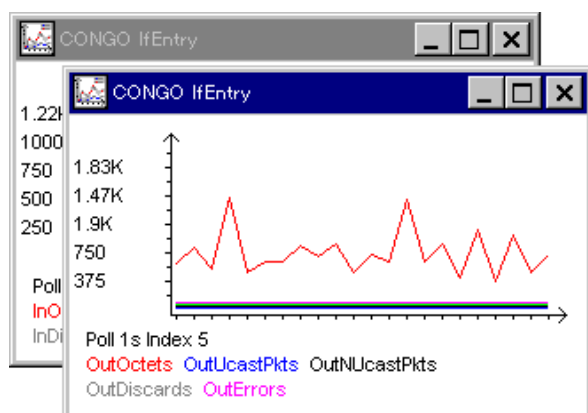
Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが棒グラフで表示されます。



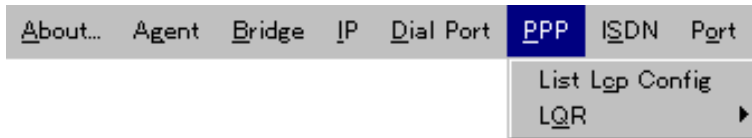
Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが折れ線グラフで表示されます。



8.4.7 「PPP」メニュー

「PPP」メニューは、PPP（ポイント・ツー・ポイント・プロトコル）に関する設定データの表示を行います。



List Lcp Config

PPPのLCP（リンク制御プロトコル）に関するデータがテーブル表示されます。

「LQR」サブメニュー

LQR（Link Quality Report）に関するデータの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List All Port LQR Quality/Packets

すべてのポートのLQRに関するフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port LQR Quality/Packets

選択したポートのLQRに関するフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Port LQR Packets

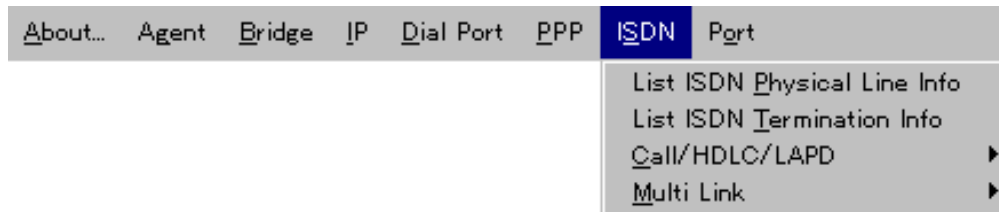
選択したポートのLQRに関するフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port LQR Packets

選択したポートのLQRに関するフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

8.4.8 「ISDN」メニュー

「ISDN」メニューは、ISDN に関する設定データの表示を行います。



List ISDN Physical Line Info

ISDN の物理ポート（WAN1）に関するデータがテーブル表示されます。

List ISDN Termination Info

ISDN の終端抵抗の有効・無効を表示します。

「Call/HDLC/LAPD」サブメニュー

HDLC や LAPD、ISDN の発信・着信に関するデータの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List ISDN Call/HDLC/LAPD Info

ISDN の発信・着信、HDLC、LAPD に関するフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart ISDN Call/HDLC/LAPD Info

ISDN の発信・着信、HDLC、LAPD に関するフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph ISDN Call/HDLC/LAPD Info

ISDN の発信・着信、HDLC、LAPD に関するフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Multi Link」サブメニュー

マルチリンクに関する設定・統計情報をテーブルで表示するサブメニューです。

List Multilink Config

マルチリンクに関する設定の各パラメータのテーブルが表示されます。

List Multilink Statistics

マルチリンクに関する統計情報のテーブルが表示されます。

8.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の变化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- ISDN の TEST LED、LAN の LINK LED、STATUS LED は、ACC の MIB の仕様により、実機と同じ表示にはなりません。
- BitView 上の各 LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の各 LED の点滅回数と実機の LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。正確な通信状況は、「Port」メニューの各テーブルの値を参照してください。

8.6 その他の注意事項

- CONGO はデフォルト設定では、SNMP の Set コマンドを受け付けなくなっています。この状態でも BitView モジュールで各データの表示を行うことはできますが、Vista Manager (BitView モジュール) から各設定を行う (Set コマンドを送る) 場合には、コンソールターミナル (または Telnet) から下記コマンドを入力して Set コマンドを受け付けるように設定する必要があります。

例 : (Vista Manager の IP アドレスが 129.192.105.111 の場合)

```
ADD ACCESS ENTRY 129.192.105.111 255.255.255.255 0 NETMAN
```

また、Vista Manager での「オブジェクト外の編集」メニューの「コミュニティ名」ボタンの Set コミュニティ名には "netman" を設定してください。

- RJ-45 ポート (10BASE-T ポート・ISDN ポート (B チャンネル × 2)) の "enable"、"disable" を行うことはできません。

第 9 章

NILE BitView モジュール

本章では、リモートルーター NILE 用 BitView モジュールの使用
方法について説明します。

9.1 NILE の BitView

NILE 用 BitView は、NILE のアイコンをダブルクリックすると表示されます。

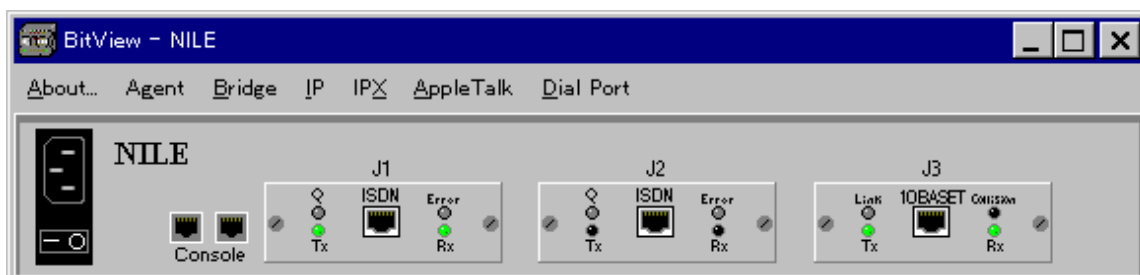


図 9.1.1 NILE の Bitview



ISDN 回線は B チャンネルが 2 回線分あるため、NILE には 1 ポート分のみ実装可能ですが、それぞれのチャンネルごとのデータ表示などを行うようになっているため、BitView 上では、ISDN のポートを 2 つ表示しています。なお、J1 に ISDN、J2 に X.21 のような組み合わせの場合は、ISDN は 1 チャンネルのみだけとなりますので、BitView 上でも J1 に ISDN、J2 に X.21 の表示となります。また、前面パネルは表示されません。

9.2 NILE ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、ルーターの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

9.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- LAN ポート (J3) (10BASE-T/2/5)
- WAN ポート (J1・J2) (RS-232/V.35/X.21/ISDN)

9.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- Console **ポート** : Telnet の起動を行います。

注） LAN **ポート**・WAN **ポート**の "enable"、"disable" を行うことはできません。

9.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Bridge」、「IP」、「IPX」、「AppleTalk」、「Dial Port」の7項目のみ表示されていますが、マウスでLANポートをクリックすると「Port」がメニューバーにあらわれ、WANポートをクリックすると、ポート種別に応じた項目がメニューバーにあらわれます（下の例は、ISDNの場合、「PPP」、「ISDN」、「Port」が表示される）。



図 9.3.1 メニューバーの表示項目の増減（LANポートの選択により「Port」の表示）



図 9.3.2 メニューバーの表示項目の増減
（ISDNポートの選択により「PPP」「ISDN」「Port」の表示）

9.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「9.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

9.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、ファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。

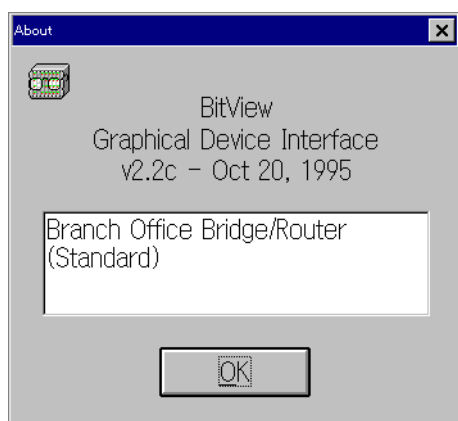
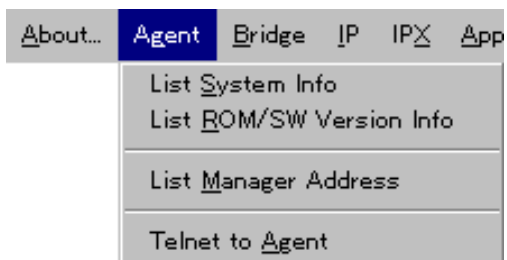


図 9.4.1 「About」ダイアログボックス

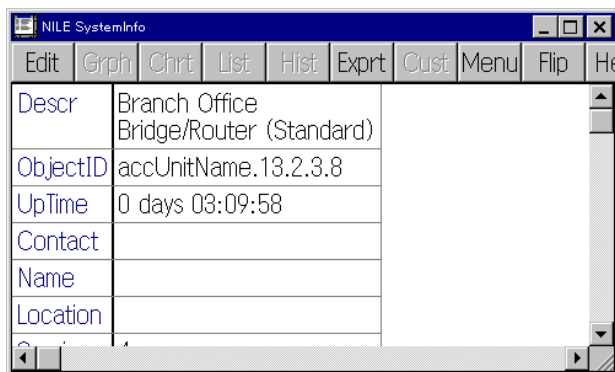
9.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List ROM/SW Version Info

NILE の ROM ID やファームウェアバージョンなどの表示を行います。

List Manager Addresses

ネットマネージャ (Vista Manager など) のインストールされている端末の IP アドレス (NILE はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します) をテーブル表示します。

Telnet to Agent

Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で NILE にログインします。BitView の CONSOLE ポートのダブルクリックと同じ操作となります。

9.4.3 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、NILE のブリッジ機能に関する情報の表示が行えます。



List Bridge Timeout/LearnMode/Filter Info

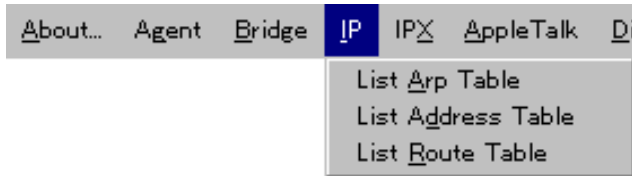
タイムアウト値やラーニングモードなどのブリッジ設定の各パラメータをテーブル表示します。

List Agent Spanning Tree Info

スパニングツリー設定の各パラメータをテーブル表示します。

9.4.4 「IP」メニュー

「IP」メニューは、TCP/IP プロトコルに関する統計情報の表示を行います。



List Arp Table

NILE の ARP テーブルのデータがテーブル表示されます。

List Address Table

NILE のインターフェースのアドレスに関する情報がテーブル表示されます。

List Route Table

NILE の IP ルーティングに関するデータがテーブル表示されます。

9.4.5 「IPX」メニュー

「IPX」メニューは、IPX プロトコルに関する統計情報の表示を行います。



List IPX Network Table

IPX プロトコルに関するデータがテーブル表示されます。

List IPX Route Table

IPX ルーティングに関するデータがテーブル表示されます。

List IPX Server Table

IPX サーバーに関するデータがテーブル表示されます。

List IPX Route/WatchDog Mode Info

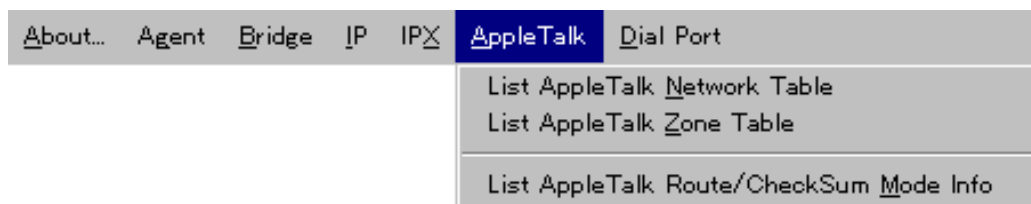
IPX ルーティングモードや、IPX ウォッチドッグに関するデータがテーブル表示されます。

List WatchDog Paramater

IPX ウォッチドッグに関するデータがテーブル表示されます。

9.4.6 「AppleTalk」メニュー

「AppleTalk」メニューは、AppleTalk プロトコルに関する統計情報の表示を行います。



List AppleTalk Network Table

AppleTalk プロトコルに関するデータがテーブル表示されます。

List AppleTalk Zone Table

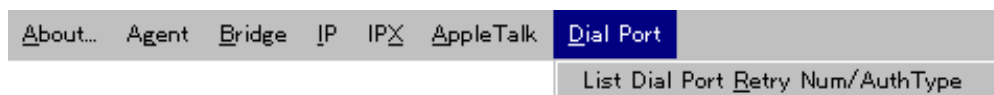
AppleTalk プロトコルのゾーンに関するデータがテーブル表示されます。

List AppleTalk Route/Checksum Mode Info

AppleTalk プロトコルのルーティングとチェックサムに関するデータがテーブル表示されます。

9.4.7 「Dial Port」メニュー

「Dial Port」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、NILE のポートに関する情報の表示が行えます。



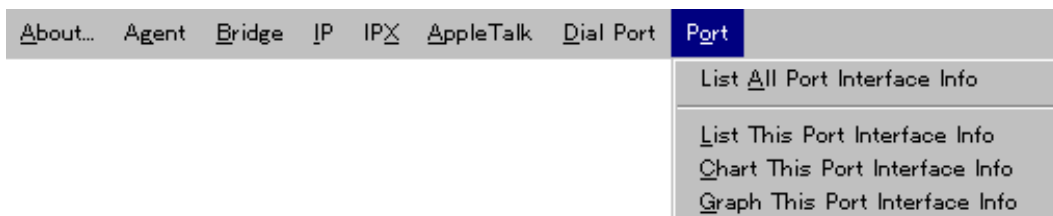
List Dial Port Retry Num/AuthType/Statistics

ダイヤルポート（接続先）設定の各パラメータをテーブル表示します。

9.4.8 「Port」メニュー

「Port」メニューはBitViewのWANポートまたはLANポートがマウスで選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、NILEのポート（WANポートおよびLANポート）に関する情報の表示が行えます。



List All Port Interface Info

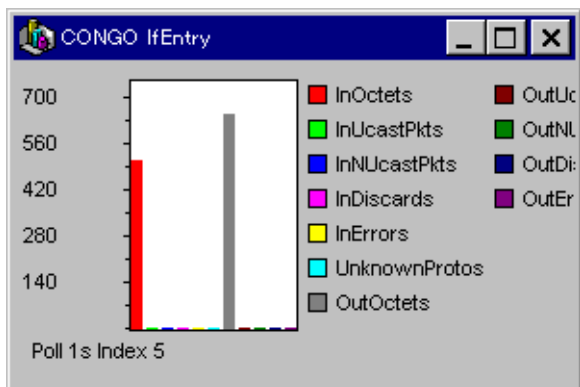
すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

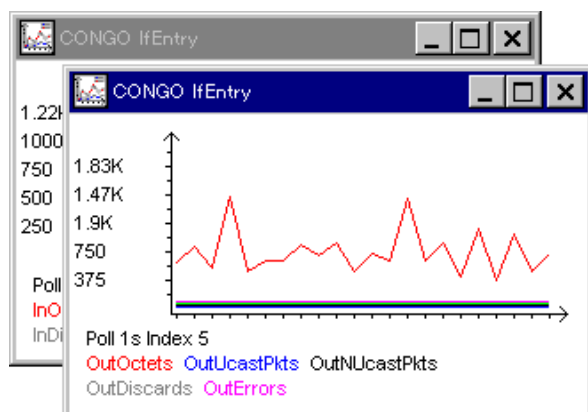
Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが棒グラフで表示されます。



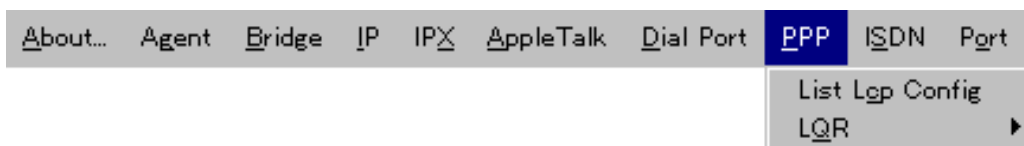
Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが折れ線グラフで表示されます。



9.4.9 「PPP」メニュー

「PPP」メニューは、PPP（ポイント・ツー・ポイント・プロトコル）に関する設定データの表示を行います。



List Lcp Config

PPPのLCP（リンク制御プロトコル）に関するデータがテーブル表示されます。

「LQR」サブメニュー

LQR（Link Quality Report）に関するデータの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List All Port LQR Quality/Packets

すべてのポートのLQRに関するフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port LQR Quality/Packets

選択したポートのLQRに関するフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Port LQR Packets

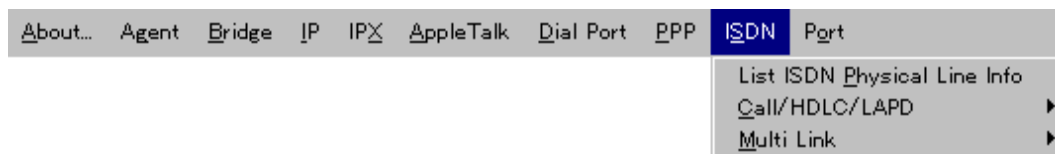
選択したポートのLQRに関するフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port LQR Packets

選択したポートのLQRに関するフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

9.4.10 「ISDN」メニュー

「ISDN」メニューは、ISDN に関する設定データの表示を行います。



List ISDN Physical Line Info

ISDN の物理ポート (WAN1) に関するデータがテーブル表示されます。

「Call/HDLC/LAPD」サブメニュー

HDLC や LAPD、ISDN の発信・着信に関するデータの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List ISDN Call/HDLC/LAPD Info

ISDN の発信・着信、HDLC、LAPD に関するフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart ISDN Call/HDLC/LAPD Info

ISDN の発信・着信、HDLC、LAPD に関するフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph ISDN Call/HDLC/LAPD Info

ISDN の発信・着信、HDLC、LAPD に関するフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Multi Link」サブメニュー

マルチリンクに関する設定・統計情報をテーブルで表示するサブメニューです。

List Multilink Config

マルチリンクに関する設定の各パラメータのテーブルが表示されます。

List Multilink Statistics

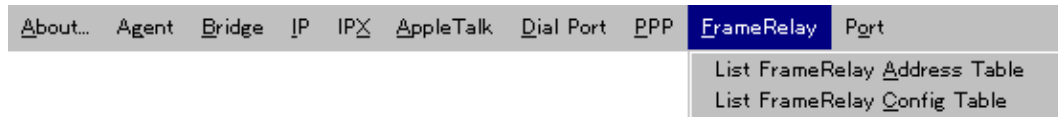
マルチリンクに関する統計情報のテーブルが表示されます。

9.4.11 「FrameRelay」メニュー

「FrameRelay」メニューは、フレームリレーに関する設定データの表示を行います。



このメニューは、WANポートにRS-232、V.35、X.21のポートを取り付けた場合にのみ表示されます。



List FrameRelay Address Table

フレームリレーのアドレスに関するデータがテーブル表示されます。

List FrameRelay Config Table

フレームリレーの設定に関するデータがテーブル表示されます。

9.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の变化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- WAN ポートの Q LED、Err LED、LAN ポートの Link LED は、ACC の MIB の仕様により、実機と同じ表示にはなりません。
- BitView 上の各 LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の各 LED の点滅回数と実機の LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。正確な通信状況は、「Port」メニューの各テーブルの値を参照してください。

9.6 その他の注意事項

- NILE はデフォルト設定では、SNMP の Set コマンドを受け付けなくなっています。この状態でも BitView モジュールで各データの表示を行うことはできますが、Vista Manager (BitView モジュール) から各設定を行う (Set コマンドを送る) 場合には、コンソールターミナル (または Telnet) から下記コマンドを入力して Set コマンドを受け付けるように設定する必要があります。

例 : (Vista Manager の IP アドレスが 129.192.105.111 の場合)

```
ADD ACCESS ENTRY 129.192.105.111 255.255.255.255 0 NETMAN
```

また、Vista Manager での「ワシ以外の編集」メニューの「コミュニティ名」ボタンの Set コミュティ名には "netman" を設定してください。

- WAN ポート・LAN ポートの "enable"、"disable" を行うことはできません。

第10章

Tahoe BitView モジュール

本章では、ローカルブリッジ/ルーターTahoe用BitViewモジュールの使用方法について説明します。

10.1 Tahoe の BitView

Tahoe 用 BitView は、Tahoe のアイコンをダブルクリックすると表示されます。

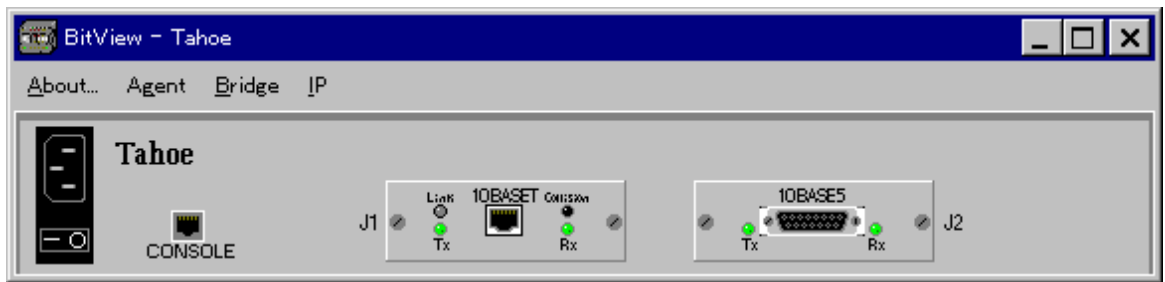


図 10.1.1 Tahoe の BitView



表示されるのは背面パネルのみで、前面パネルは表示されません。

10.2 Tahoe ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、ルーターの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

10.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- LAN ポート (J3) (10BASE-T/2/5)

10.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- Console **ポート** : Telnet の起動を行います。

注) LAN **ポート** の "enable"、"disable" を行うことはできません。

10.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。
初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Bridge」、「IP」の4項目のみ表示されていますが、マウスでLANポートをクリックすると「Port」がメニューバーにあらわれます。

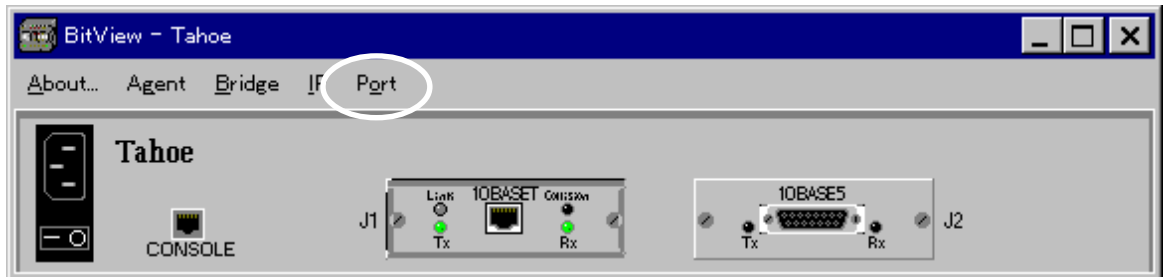


図 10.3.1 メニューバーの表示項目の増減（LANポートの選択により「Port」の表示）

10.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「10.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

10.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、ファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。

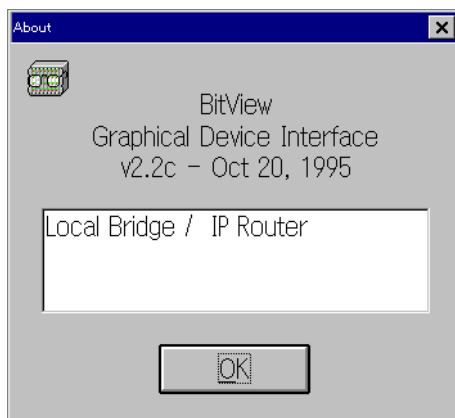
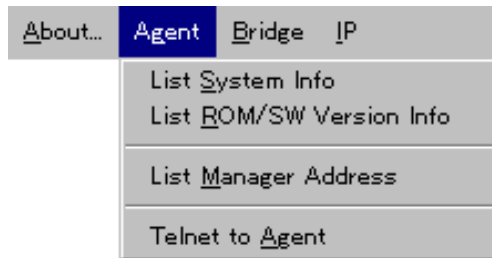


図 10.4.1 「About」ダイアログボックス

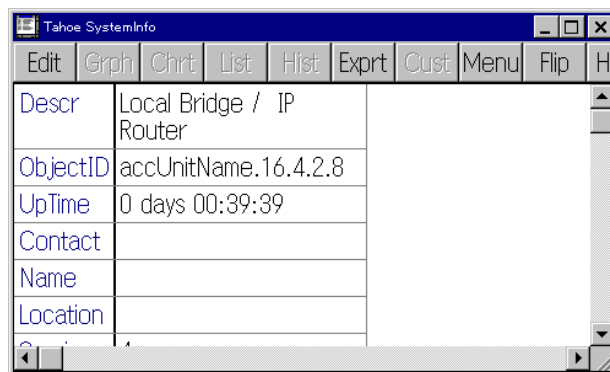
10.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List ROM/SW Version Info

Tahoe の ROM ID やファームウェアバージョンなどの表示を行います。

List Manager Addresses

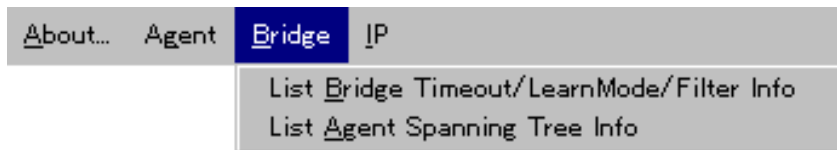
ネットマネージャ (Vista Manager など) のインストールされている端末の IP アドレス (Tahoe はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します) をテーブル表示します。

Telnet to Agent

Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で Tahoe にログインします。BitView の CONSOLE ポートのダブルクリックと同じ操作となります。

10.4.3 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、Tahoe のポートに関する情報の表示が行えます。



List Bridge Timeout/LearnMode/Filter Info

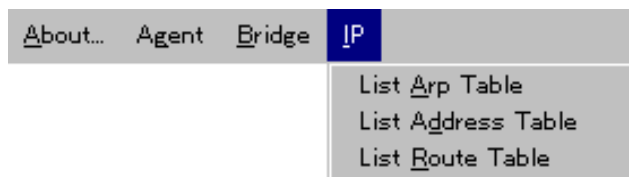
タイムアウト値やラーニングモードなどのブリッジ設定の各パラメータをテーブル表示します。

List Agent Spanning Tree Info

スパニングツリー設定の各パラメータをテーブル表示します。

10.4.4 「IP」メニュー

「IP」メニューは、TCP/IP プロトコルに関する統計情報の表示を行います。



List Arp Table

Tahoe の ARP テーブルのデータがテーブル表示されます。

List Address Table

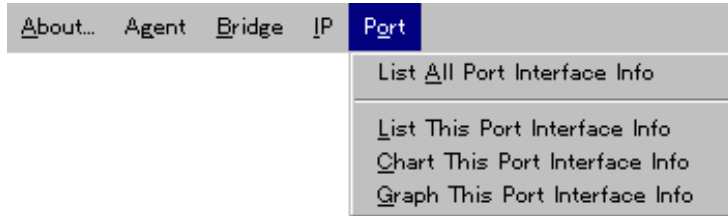
Tahoe のインターフェースのアドレスに関する情報がテーブル表示されます。

List Route Table

Tahoe の IP ルーティングに関するデータがテーブル表示されます。

10.4.5 「Port」メニュー

「Port」メニューはBitViewのLANポートがマウスで選択されている場合に表示されます。「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、Tahoeのポート(LANポート)に関する情報の表示が行えます。



List All Port Interface Info

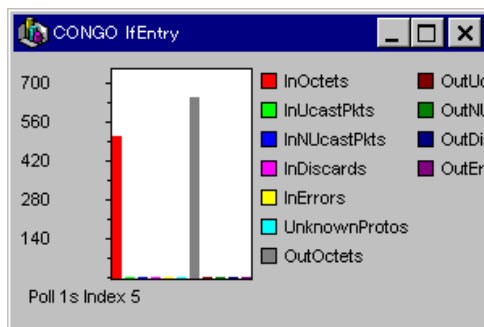
すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

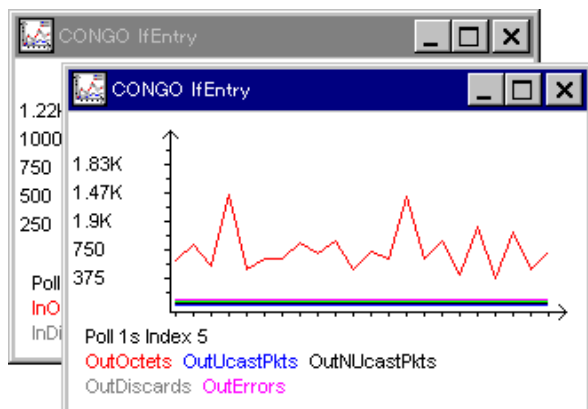
Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが棒グラフで表示されます。



Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータが折れ線グラフで表示されます。



10.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の变化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- 10BASE-T ポートの Link LED は、ACC の MIB の仕様により、実機と同じ表示にはなりません。
- BitView 上の各 LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の各 LED の点滅回数と実機の LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。正確な通信状況は、「Port」メニューの各テーブルの値を参照してください。

10.6 その他の注意事項

- Tahoe はデフォルト設定では、SNMP の Set コマンドを受け付けなくなっています。この状態でも BitView モジュールで各データの表示を行うことはできますが、Vista Manager (BitView モジュール) から各設定を行う (Set コマンドを送る) 場合には、コンソールターミナル(またはTelnet)から下記コマンドを入力して Set コマンドを受け付けるように設定する必要があります。

例 : (Vista Manager の IP アドレスが 129.192.105.111 の場合)

```
ADD ACCESS ENTRY 129.192.105.111 255.255.255.255 0 NETMAN
```

また、Vista Manager での「オブジェクト外の編集」メニューの「コミュニティ名」ボタンの Set コミュニティ名には "netman" を設定してください。

- LAN ポートの "enable"、"disable" を行うことはできません。

第 11 章

CentreCOM RH609 BitView モジュール

本章では、CentreCOM RH609(以下RH609)用BitViewモジュール
の使用方法について説明します。

11.1 RH609 の BitView

RH609 用 BitView は、RH609 ハブのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

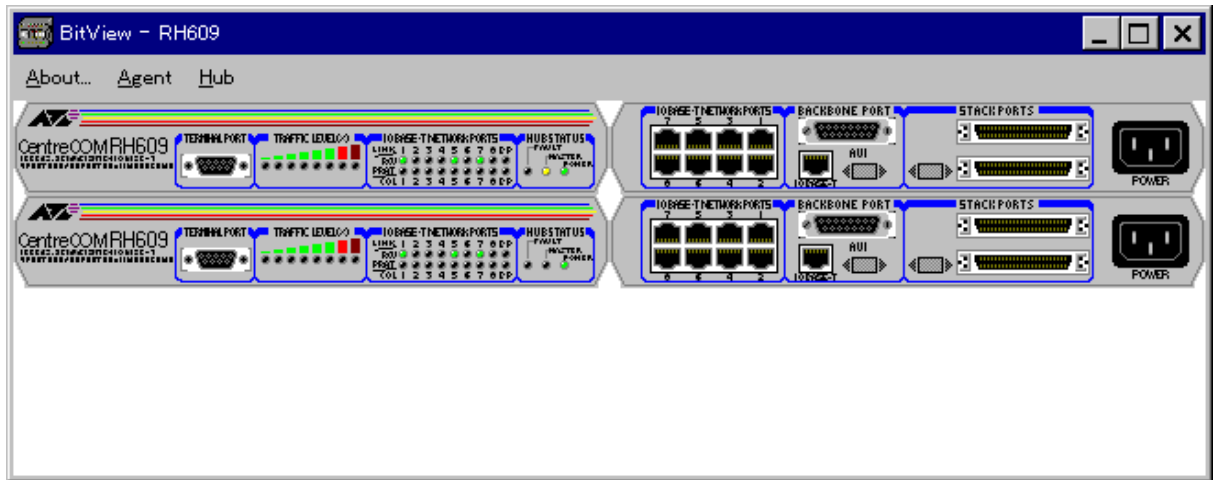


図 11.1.1 スタック状態の RH609 ハブの BitView



RH609 は、LED と RJ-45 ポートが異なる面に取り付けてありますので、1 台のハブにつき、前面・背面がそれぞれ表示されます。

11.2 RH609 ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト(ポートなど、ハブの各部分の絵)に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

11.2.1 クリック

クリック(シングルクリック)で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 各ハブ本体(モジュール)
- ・ 10BASE-Tポート(ポート1～8・バックボーンポート)

11.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

各ネットワーク接続ポート：

左ダブルクリック： ポートの "enable" を行います。

右ダブルクリック： ポートの "disable" を行います。

RS-232ポート：(左 or 右) Telnet の起動を行います。
(日本語対応していませんので、RH609
ハブの Omega ソフトウェアが日本語表示になっている場合は表示に不具合を生じます。)

電源ポート：(左 or 右) ハブ本体のリセットが行えます。

11.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目(数)はBitViewの操作(選択状態)に応じて増減します。初期状態(ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後)では、「About」、「Agent」、「Hub」の3項目のみ表示されていますが、マウスでハブを選択すると「Group」がメニューバーにあらわれ、ポートを選択すると、「Port」という項目があらわれます。

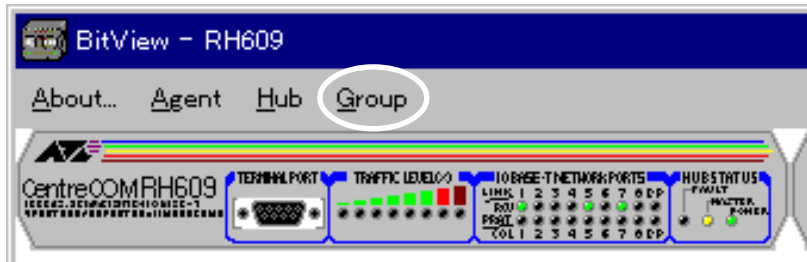


図 11.3.1 メニューバーの表示項目の増減(ハブの選択により「Group」の表示)

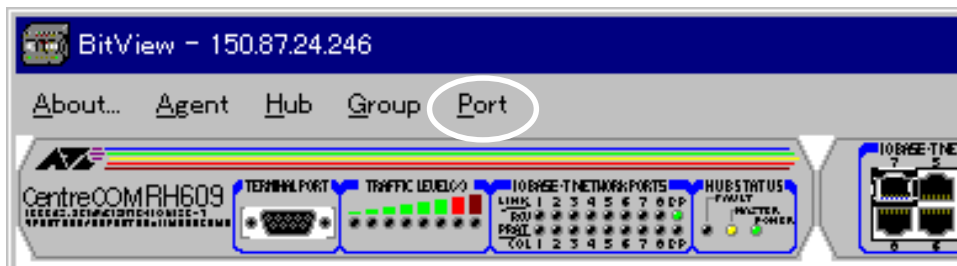


図 11.3.2 メニューバーの表示項目の増減(ポートの選択により「Port」の表示)

11.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

ハブやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「11.3メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

11.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

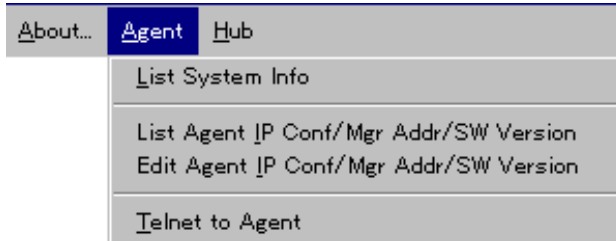
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIB に含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、インテリジェントハブのファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。



図 11.4.1 「About」ダイアログボックス

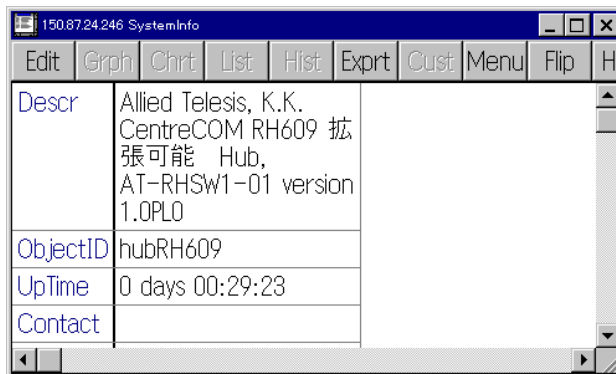
11.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



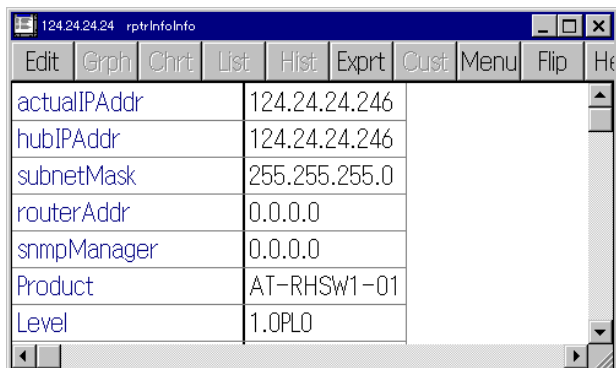
List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List Agent IP Conf/Mgr Addr/SW Version

RH609 の IP アドレス、ネットマネージャ(Vista Manager など)のインストールされている端末の IP アドレス(RH609はこのアドレスに対してSNMPTrapを送信します) ソフトウェアバージョンなどの表示を行います。



Edit Agent IP Conf/Mgr Addr/SW Version

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45w 「テーブルエントリの編集」を参照してください。

ノド名:	128.28.28.142		
テーブル名:	ATHUB-MIBlrptrInfoInfo		1 頁目(全 1 頁中)
actualIPAddr	128.28.28.142	Set	<< >>
hubIPAddr	128.28.28.142	Set	詳細表示(E)...
subnetMask	255.255.255.0	Set	最初のエントリ(F)
routerAddr	128.28.28.32	Set	Get
snmpManager	128.28.28.111	Set	Get Next
Product	AT-RHSW1-01	Set	中断(S)
Level	1.0PLO	Set	全てにSet(A)
configurationChanged	changed	Set	閉じる(O)
		Set	ヘルプ(H)
		Set	

Telnet to Agent

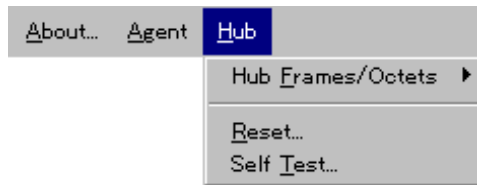
Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で RH609 にログインします。BitView の RS-232 ポートのダブルクリックと同じ操作となります。



Vista Manger の Telnet は、日本語表示に未対応となっていますので、RH609 の設定メニューの英語表示でのみ使用可能です。

11.4.3 「Hub」メニュー

「Hub」メニューでは、スタックしたハブ全体の通信データに関する統計情報の表示、RH609のリセットおよびセルフテストが行えます。



「Hub Frames/Octets」サブメニュー

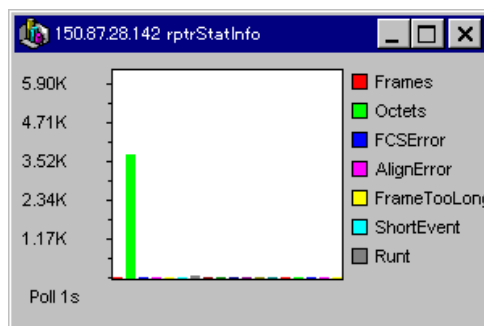
スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブルで表示します。

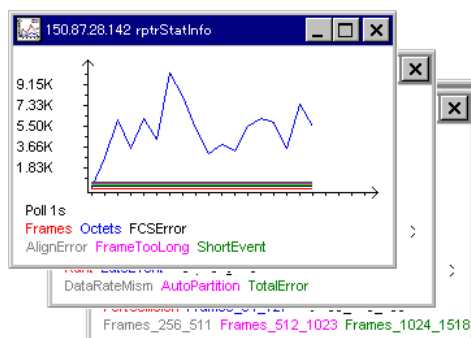
Chart Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を棒グラフで表示します。



Graph Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を折れ線グラフで表示します。



Reset

ハブのリセットが行えます。なお、ハブの選択/非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがリセットされます。

Self Test

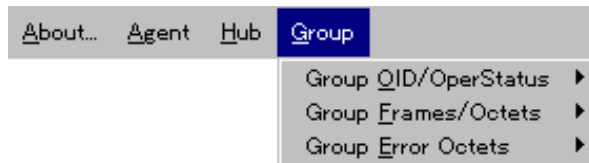
ハブのセルフテストが行えます。ハブの選択/非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがセルフテストの対象となります。

11.4.4 「Group」メニュー

「Group」メニューは任意のハブが選択されている場合に表示されます。

また、任意のハブのいずれかのポートが選択されていれば、表示されます。

「Group」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、選択されているグループ(ハブ)に関する情報の表示が行えます。



「Group OID/OperStatus」サブメニュー

ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルを表示するサブメニューです。

List All Group OID/OperStatus

すべてのグループ(ハブ)のObjectIDやOperStatusなどの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group OID/OperStatus

選択したグループ(ハブ)のObjectIDやOperStatusなどの各パラメータのテーブルが表示されます。

「Group Frames/Octets」サブメニュー

通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが表示されます。

List All Group Frames/Octets

すべてのグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Group Error Octets」サブメニュー

エラーバイト数などの各パラメータを表示するサブメニューです。

List All Group Error Octets

すべてのグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

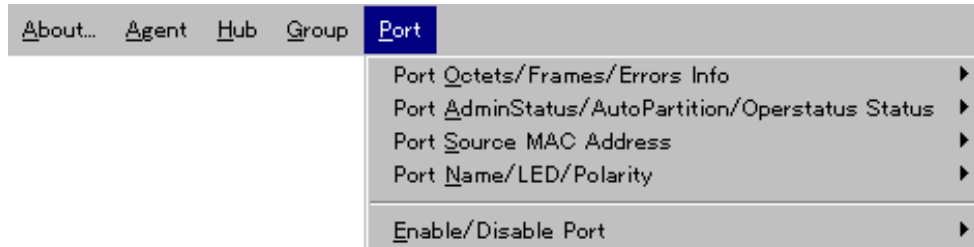
Graph This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

11.4.5 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、RH609のポートに関する情報の表示と設定が行えます。



「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Octets/Frames/Errors

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Port AdminStatus/AutoPartition/Operstatus Status」サブメニュー

ポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Status

すべてのポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの設定が行えます。

「Port Source MAC Address」サブメニュー

各ポートの最新の MAC アドレスに関する情報を表示するサブメニューです。

List All Port Source MAC Address

すべてのポートの送信元アドレスの情報がテーブル表示されます。

List This Port Source MAC Address

選択したポートの送信元アドレスの情報がテーブル表示されます。

「Port Name/LED/Polarity」サブメニュー

ポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Name/LED/Polarity Info

すべてのポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの設定が行えます。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したのポートのイネーブル/ディセーブル状態を変更するサブメニューです。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。

マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。

(「11.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。

マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。

(「11.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

11.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- ・ RH609 の RJ-45 ポートに "disable" の操作を行った場合
(実機ポートの 2 つの LED は消灯状態になりますが、
BitView では、PART/COL LED が赤く点灯します。)
- ・ BitView の TRAFFIC LEVEL LED は点灯しません。
- ・ BitView 上の LINK/RCV LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- ・ BitView 上の Collision LED の点滅回数と実機の Collision LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な Collision 状況は、「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニューの MIB オブジェクトの値を参照してください。

第12章

CentreCOM FH612TX/TXS BitView モジュール

本章では、CentreCOM FH612TX/TXS(以下 FH612TX)用 BitView
モジュールの使用方法について説明します。

12.1 FH612TX の BitView

FH612TX 用 BitView は、FH612TX ハブのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

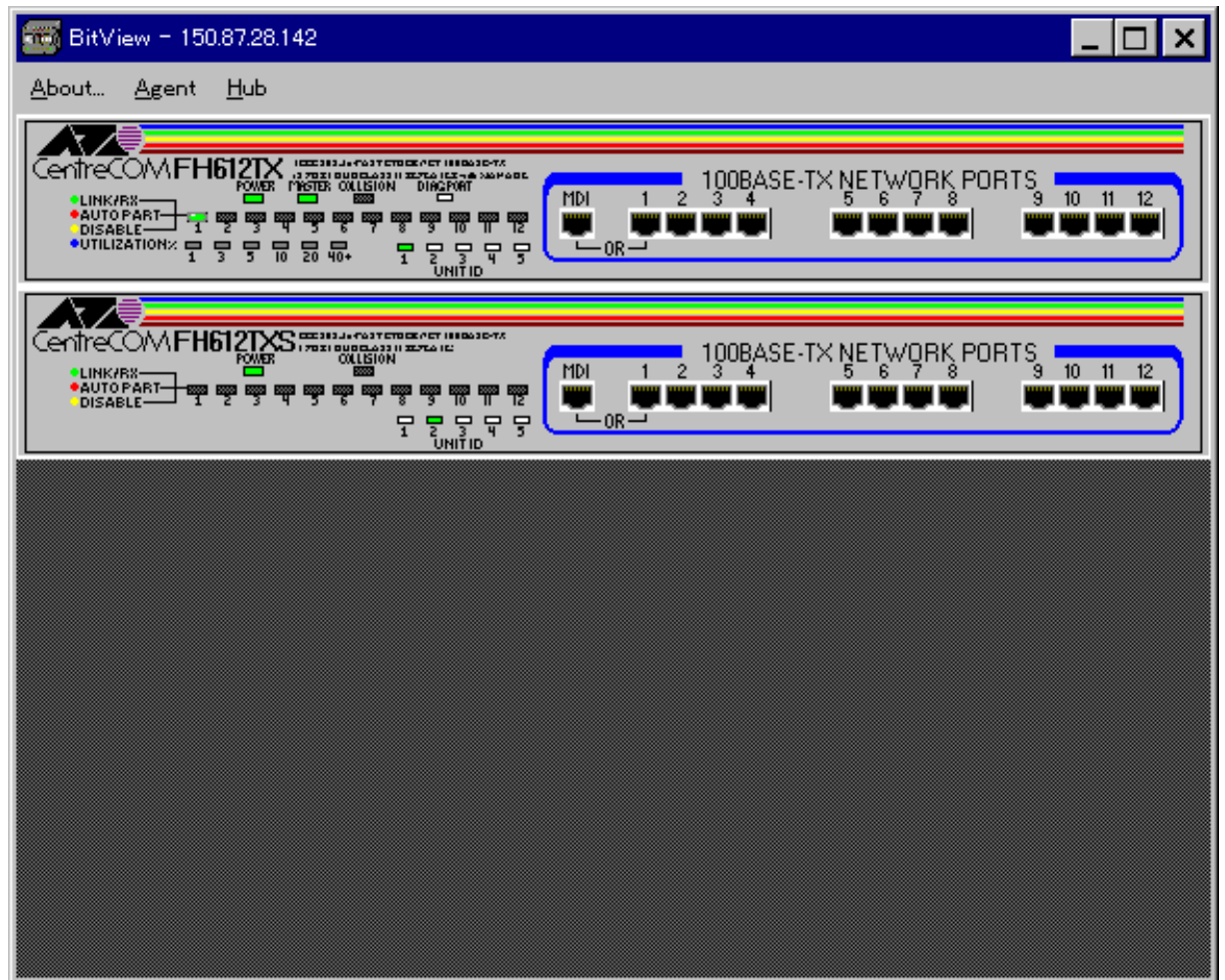


図 12.1.1 スタック状態の FH612TX/TXS ハブの BitView



スレーブモデルの FH612TXS だけの場合は、SNMP 機能を持っていないため、BitView は表示されません。

12.2 FH612TX ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト(ポートなど、ハブの各部分の絵)に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

12.2.1 クリック

クリック(シングルクリック)で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 各ハブ本体(モジュール)
- ・ 10BASE-Tポート(ポート1～12)

12.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- ・ **各ネットワーク接続ポート(ポート1～12):**

左ダブルクリック: ポートの "enable" を行います。

右ダブルクリック: ポートの "disable" を行います。

12.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目(数)はBitViewの操作(選択状態)に応じて増減します。初期状態(ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後)では、「About」、「Agent」、「Hub」の3項目のみ表示されていますが、マウスでハブを選択すると「Group」がメニューバーにあらわれ、ポートを選択すると、「Port」という項目があらわれます。



図 12.3.1 メニューバーの表示項目の増減(ハブの選択により「Group」の表示)

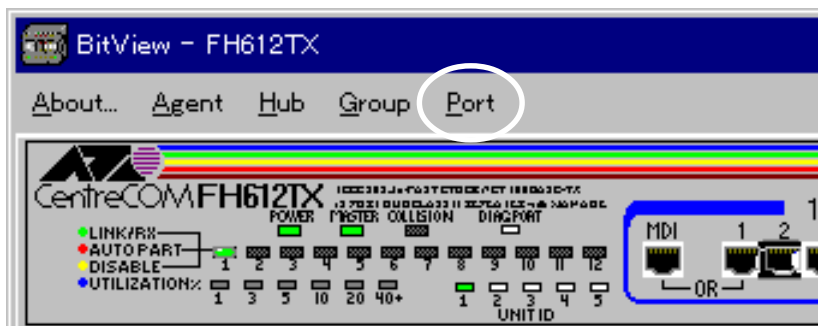


図 12.3.2 メニューバーの表示項目の増減(ポートの選択により「Port」の表示)

12.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

ハブやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「12.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

12.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

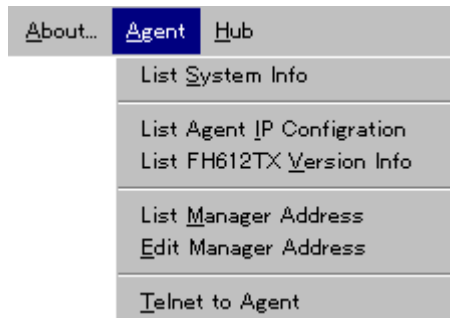
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIB に含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、インテリジェントハブのファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。



図 12.4.1 「About」ダイアログボックス

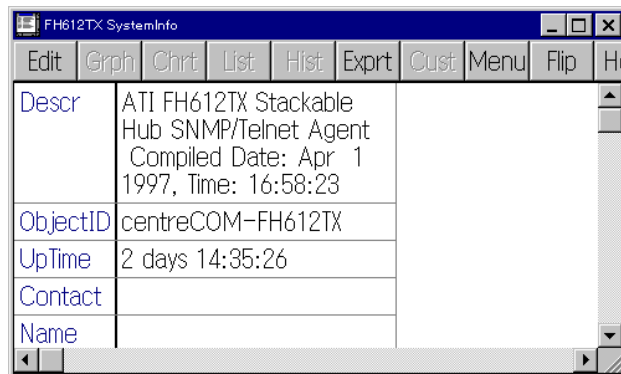
12.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



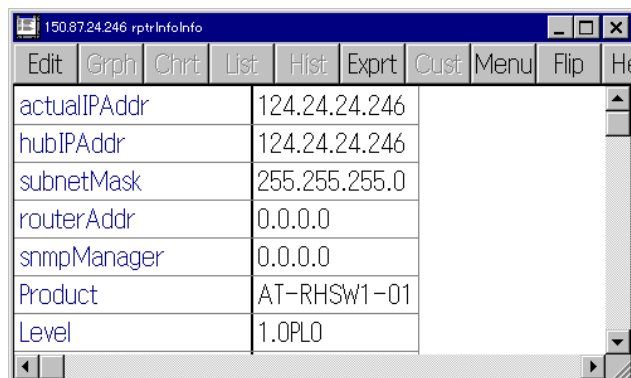
List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。
Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。
Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List Agent IP Configuration

FH612TX の IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイアドレスなどの表示を行います。



List FH612TX Version Info

FH612TX のソフトウェアバージョンなどの表示を行います。

List Manager Address

ネットマネージャ(Vista Manager など)のインストールされている端末の IP アドレス(FH612TX はこのアドレスに対して SNMP Trap を送信します)などの設定値などの表示を行います。

Edit Manager Address

ネットワークマネージャ(Vista Manager など)の設定値などの表示と設定を行います。

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45 「テーブルエントリの編集」を参照してください。

ノード名	テーブル名	ページ
FH612TX	FH612TX-MIB AgentIpTrapManage	1 頁目(全 1 頁中)
IpAddr *	123.45.67.89	Set
Comm	public	Set
Status	enabled	Set
		Set
		Set
		Set
		Set
		Set
		Set
		Set

Telnet to Agent

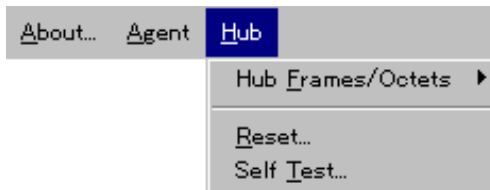
Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で FH612TX にログインします。



BitView には、背面の RS-232 ポートは表示されませんので、Telnet 接続は上記メニューでのみ操作できます。

12.4.3 「Hub」メニュー

「Hub」メニューでは、スタックしたハブ全体の通信データに関する統計情報の表示、FH612TXのリセットおよびセルフテストが行えます。



「Hub Frames/Octets」サブメニュー

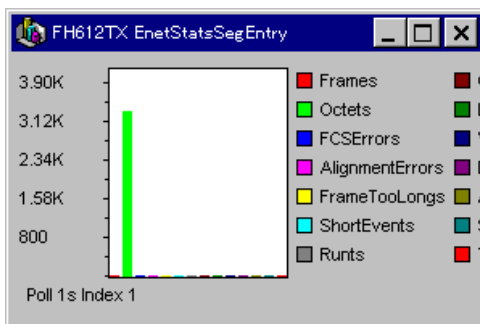
スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報をテーブルで表示します。

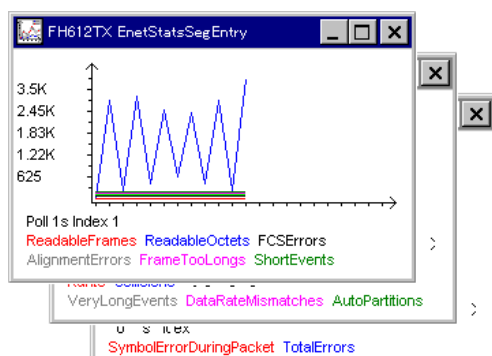
Chart Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を棒グラフで表示します。



Graph Hub Frames/Octets

スタックしたハブ全体の通信データの統計情報を折れ線グラフで表示します。



Reset

ハブのリセットが行えます。なお、ハブの選択 / 非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがリセットされます。

Self Test

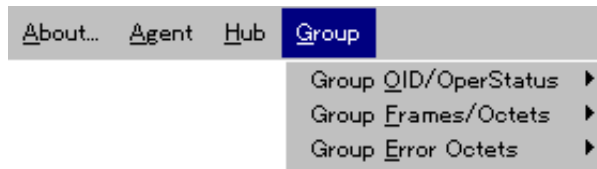
ハブのセルフテストが行えます。ハブの選択 / 非選択にかかわらず、スタックしてあるすべてのハブがセルフテストの対象となります。

12.4.4 「Group」メニュー

「Group」メニューは任意のハブが選択されている場合に表示されます。

また、任意のハブのいずれかのポートが選択されていれば、表示されます。

「Group」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、選択されているグループ(ハブ)に関する情報の表示が行えます。



「Group OID/OperStatus」サブメニュー

ObjectID や OperStatus などの各パラメータのテーブルを表示するサブメニューです。

List All Group OID/OperStatus

すべてのグループ(ハブ)のObjectIDやOperStatusなどの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group OID/OperStatus

選択したグループ(ハブ)のObjectIDやOperStatusなどの各パラメータのテーブルが表示されます。

「Group Frames/Octets」サブメニュー

通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが表示されます。

List All Group Frames/Octets

すべてのグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Group Frames/Octets

選択したグループ(ハブ)の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Group Error Octets」サブメニュー

エラーバイト数などの各パラメータを表示するサブメニューです。

List All Group Error Octets

すべてのグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

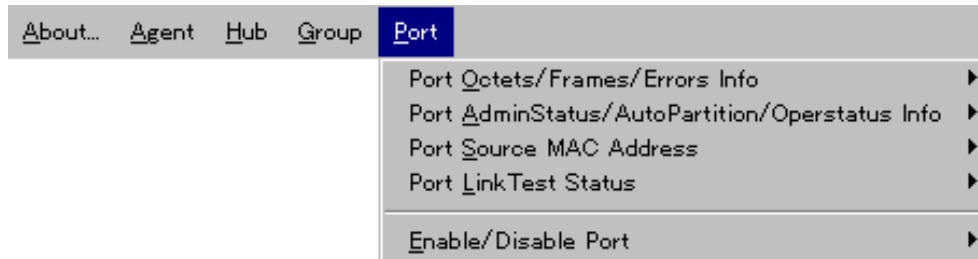
Graph This Group Error Octets

選択したグループ(ハブ)のエラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

12.4.5 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、FH612TXのポートに関する情報の表示と設定が行えます。



「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Octets/Frames/Errors

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

List This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータのテーブルが表示されます。

Chart This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、棒グラフで表示されます。

Graph This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータが、折れ線グラフで表示されます。

「Port AdminStatus/AutoPartition/Operstatus Status」サブメニュー

ポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Status

すべてのポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

List This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Edit This Port Status

選択したポートのイネーブル/ディセーブル状態、パーティション状態、通信状態などの各パラメータの設定が行えます。

「Port Source MAC Address」サブメニュー

ポートの送信元アドレスの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Source MAC Address

すべてのポートの送信元アドレスの情報がテーブル表示されます。

List This Port Source MAC Address

選択したポートの送信元アドレスの情報がテーブル表示されます。

「Port LinkTest Status」サブメニュー

ポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

LinkTest Control Status -- List All Port

すべてのポートのLinkテストステータス、パーティションステータスなどの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

LinkTest Control Status -- List This Port

選択したポートのLinkテストステータス、パーティションステータスなどの各パラメータの情報がテーブル表示されます。

Enable/Disable Port LinkTest Trap -- Disable LinkTest Trap

各ポートの Link テストトラップをオフにします。

Enable/Disable Port LinkTest Trap -- Enable LinkTest Trap

各ポートの Link テストトラップをオンにします。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したのポートのイネーブル/ディセーブル状態を変更するサブメニューです。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。

マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。

(「12.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。

マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。

(「12.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

12.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- BitView の UTILIZATION LED は点灯しません。
- BitView 上の LINK/RX LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の COLLISION LED の点滅回数と実機の COLLISION LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な Collision 状況は、「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニューの MIB オブジェクトの値を参照してください。

第13章

AR300 BitView モジュール

本章では、アクセスルーター AR300 用 BitView モジュールの使用
方法について説明します。

13.1 AR300 の BitView

AR300 用 BitView は、AR300 のアイコンをダブルクリックすると表示されます。
前面と背面が左右に表示されます。



図 13.1.1 AR300 の BitView

13.2 AR300 ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト(ポートなど、ルーターの各部分の絵)に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

13.2.1 クリック

クリック(シングルクリック)で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- 10BASE-T ポート
- ISDN ポート

13.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックで、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行します。

- **CONSOLE ポート** : Telnet の起動を行います。

注) RJ-45 **ポート**(10BASE-Tポート・ISDNポート)の"enable"、"disable"を行うことはできません。

13.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目(数)はBitViewの操作(選択状態)に応じて増減します。
初期状態(ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後)では、「About」、「Agent」、「Bridge」、「IP」の4項目のみ表示されていますが、マウスで10BASE-Tポート、もしくはISDNポートをクリックすると「Port」がメニューバーにあらわれます。



図 13.3.1 メニューバーの表示項目の増減(ポートの選択により「Port」の表示)

13.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「13.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

13.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIB に含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、ファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。

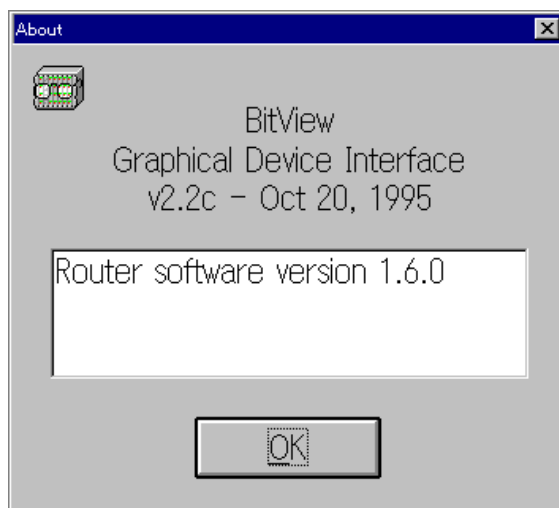


図 13.4.1 「About」ダイアログボックス

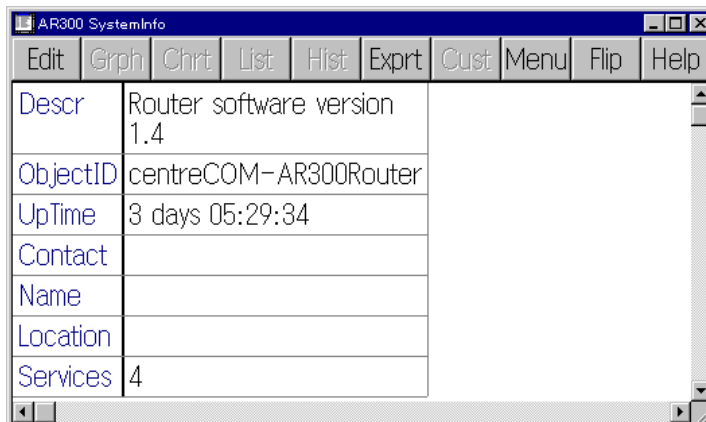
13.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定が行えます。



List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



The screenshot shows a window titled 'AR300 SystemInfo' with a menu bar (Edit, Grph, Chrt, List, Hist, Exprt, Cust, Menu, Flip, Help). The main area displays a table of system information:

Descr	Router software version 1.4
ObjectID	centreCOM-AR300Router
UpTime	3 days 05:29:34
Contact	
Name	
Location	
Services	4

List File Table

File テーブルエントリをテーブル表示します。

List Current Config File

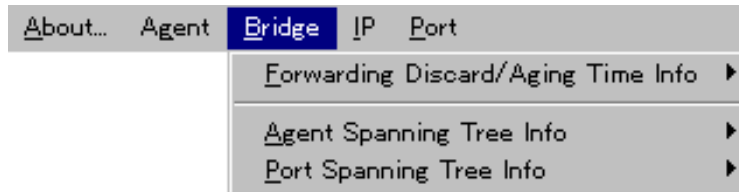
現在のコンフィギュレーションファイルを表示します。

Telnet to Agent

Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で AR300 にログインします。BitView の CONSOLE ポートのダブルクリックと同じ操作となります。

13.4.3 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、スパニングツリーなどのブリッジ機能の設定に関するパラメータの表示と設定を行います。



「Forwarding Discard/Aging Time Info」サブメニュー

フォワーディングアドレスのうち、一定時間通信が行われず、登録が消去されたアドレス数とエージングタイムを表示・編集するサブメニューです。

List Forwarding Discard/Aging Time Info

登録が消去されたアドレス数とエージングタイムをテーブル表示します。

Edit Forwarding Discard/Aging Time Info

エージングタイムを編集します。

「Agent Spanning Tree Info」サブメニュー

スパニングツリー設定の各パラメータを表示・編集するサブメニューです。

List Agent Spanning Tree Info

AR300 本体のスパニングツリーの各設定値をテーブル表示します。

Edit Agent Spanning Tree Info

AR300 本体のスパニングツリーの各設定値を編集します。

「Port Spanning Tree Info」サブメニュー

List All Port Info

すべてのポートのスパニングツリーの各設定値をテーブル表示します。

13.4.4 「IP」メニュー

List Arp Table

AR300 の ARP テーブルのデータをテーブル表示します。

List Address Table

AR300 のインターフェイスのアドレスに関する情報をテーブル表示します。

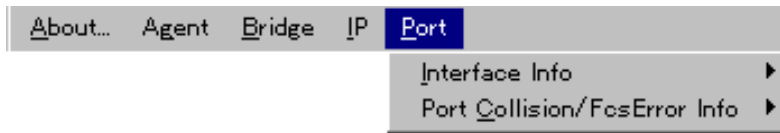
List Route Table

AR300 のルーティングに関するデータをテーブル表示します。

13.4.5 「Port」メニュー

「Port」メニューはBitViewの10BASE-TポートまたはISDNポートがマウスで選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、AR300のポート(10BASE-TポートおよびISDNポート)に関する情報を表示します。



「Interface Info」サブメニュー

List All Port Interface Info

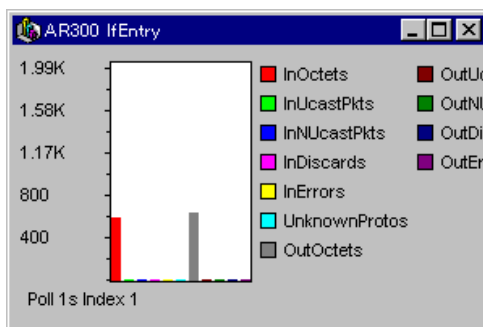
すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータをテーブル表示します。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータをテーブル表示します。

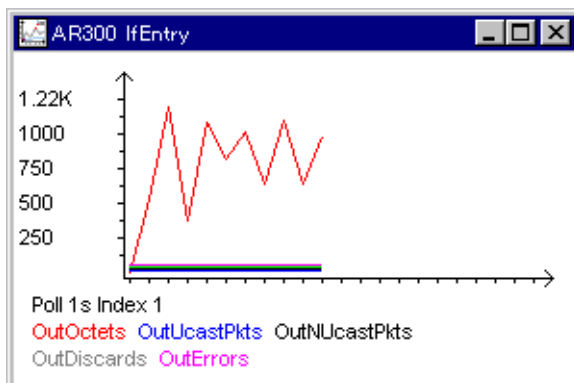
Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータを棒グラフで表示します。



Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数などの各パラメータを折れ線グラフで表示します。



「Port Collision/FcsError Info」サブメニュー

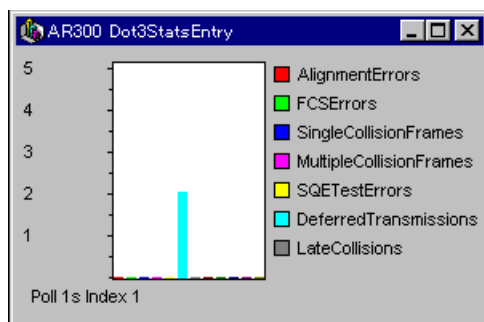
選択したポートのコリジョン、およびエラー情報を表示します。

List This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報をテーブル表示します。

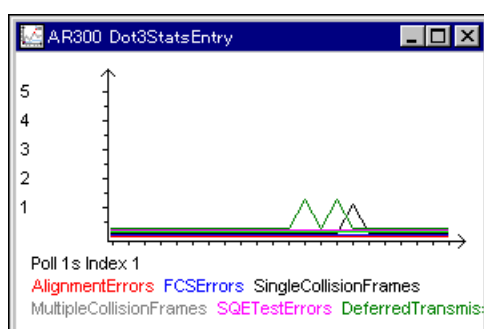
Chart This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報を棒グラフで表示します。



Graph This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報を折れ線グラフで表示します。



13.5 LED 表示について

LED の表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。
ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますのでご注意ください。

- B2チャンネルのみが他と64kbit/sで接続の場合、B2チャンネルの接続状態はBitView上のB1 LEDに表示されます。
- BitView上のLINK LEDが実機の状態を反映するまでに10秒程度かかります。
- BitView上のCOLLISION LEDの点滅と実機のCOLLISION LEDの点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確なCollision状況は、「Port Collision/FcsError Info」サブメニューのMIBオブジェクトの値を参照してください。

第14章

CentreCOM 8116 BitView **モジュール**

本章では、インテリジェントスイッチ CentreCOM8116用 BitView
モジュールの使用方法について説明します。

14.1 C8116 の BitView

C8116用 BitView は、C8116 のアイコンをダブルクリックすると表示されます。

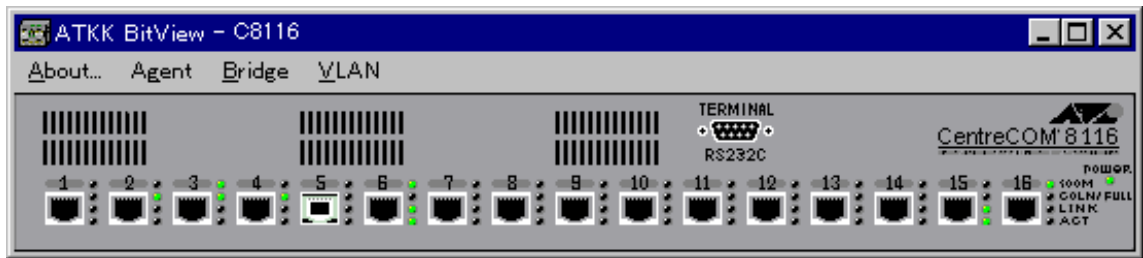





図 14.1.1 C8116 の BitView

14.1.1 ポートの表示

C8116用 BitView では、全ネットワークポートの状態(イネーブル | ディセーブル | パーティション)がコネクタ部分の色で識別できます。

-  (黒)..... イネーブル
-  (赤)..... ディセーブル
-  (黄)..... パーティション

14.2 C8116 ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト(ポートなどの各部分の絵)に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

14.2.1 クリック

クリック(シングルクリック)で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 各ネットワーク接続ポート

14.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- ・ 各ネットワーク接続ポート：

左ダブルクリック	ポートの "enable" を行います。
右ダブルクリック	ポートの "disable" を行います。
- ・ TERMINAL ポート：

(左 or 右)ダブルクリック	Telnet の起動を行います。
-----------------	------------------

14.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目(数)はBitViewの操作(選択状態)に応じて増減します。
初期状態(ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後)では、「About」、「Agent」、「Bridge」、「VLAN」の4項目のみ表示されていますが、マウスで任意のネットワーク接続ポートをクリックすると「RMON」、「Port」がメニューバーにあらわれます。

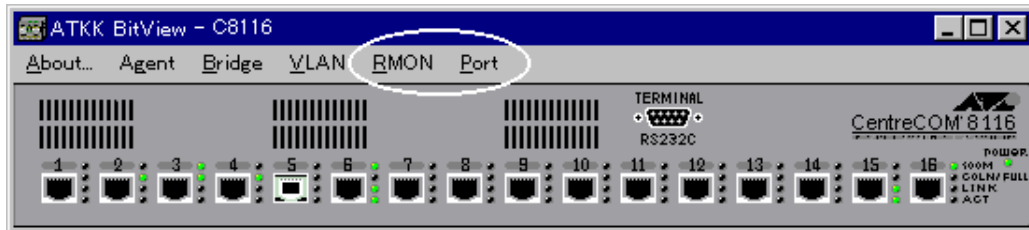


図 14.3.1 メニューバーの表示項目の増減(ポートの選択により「RMON」、「Port」の表示)

14.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「14.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

14.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIB に含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここには、ファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。

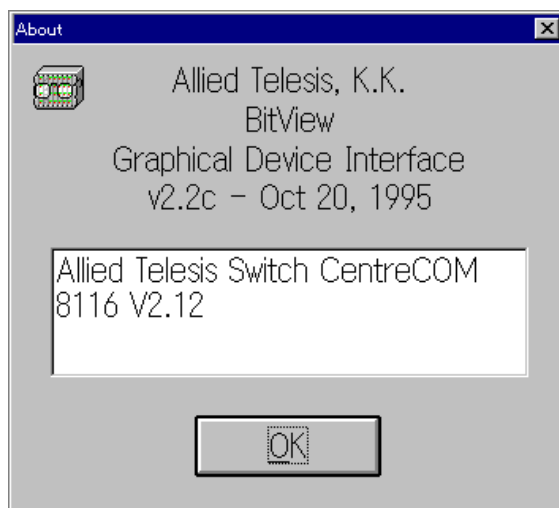
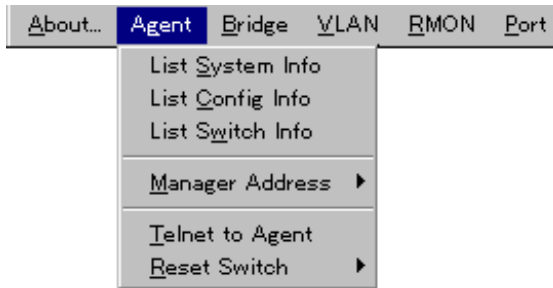


図 14.4.1 「About」ダイアログボックス

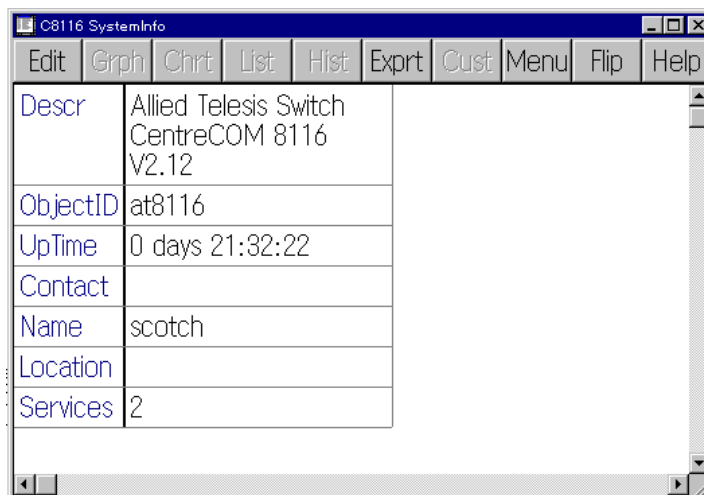
14.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定を行います。



List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。
Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。
Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。



The screenshot shows a window titled 'C8116 SystemInfo' with a menu bar containing Edit, Grph, Chrt, List, Hist, Exprt, Cust, Menu, Flip, and Help. The main area displays a table of system information:

Descr	Allied Telesis Switch CentreCOM 8116 V2.12
ObjectID	at8116
UpTime	0 days 21:32:22
Contact	
Name	scotch
Location	
Services	2

List Config Info

現在のコンフィギュレーションファイルのパラメータを表示します。

List Switch Info

ファームウェアのバージョン、データベースのサイズなどスイッチの概要を表示します。

「Manager Address」サブメニュー

ネットマネージャ(Vista Manager など)のインストールされている端末の IP アドレス(C8116 はこのアドレスに対して SNMP Trap を送信します)の設定値などの表示・設定を行います。

List Manager Address

ネットマネージャ(Vista Manager など)のインストールされている端末の IP アドレス(C8116 はこのアドレスに対して SNMP Trap を送信します)などを表示します。

Edit Manager Address

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45「テーブルエントリの編集」を参照してください。

Telnet to Agent

Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で C8116 にログインします。
BitView の TERMINAL ポートのダブルクリックと同じ操作となります。

「Reset Switch」サブメニュー

Warm Reset

C8116 をウォームリセットします。

Cold Reset

C8116 をコールドリセットします。

14.4.3 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、スパニングツリーなどのブリッジ機能の設定に関するパラメータの表示と設定を行います。



List Forwarding Database

通信データ中のフォワーディングアドレスの表示・設定を行います。

「Forwarding Discard/Aging Time Info」サブメニュー

フォワーディングアドレスのうち、一定時間通信が行われず、登録が消去されたアドレス数とエージングタイムを表示・編集するサブメニューです。

List Forwarding Discard/Aging Time Info

登録が消去されたアドレス数とエージングタイムをテーブル表示します。

Edit Forwarding Discard/Aging Time Info

エージングタイムを編集します。

「Agent Spanning Tree Info」サブメニュー

C8116 本体のスパニングツリー設定の各パラメータを表示・編集するサブメニューです。

List Agent Spanning Tree Info

C8116 本体のスパニングツリーの各設定値をテーブル表示します。

Edit Agent Spanning Tree Info

C8116 本体のスパニングツリーの各設定値を編集します。

「Port Spanning Tree Info」サブメニュー

ポートごとのスパニングツリーの各設定値を表示・編集するサブメニューです。

List All Port Info

すべてのポートのスパニングツリーの各設定値をテーブル表示します。

List This Port Info

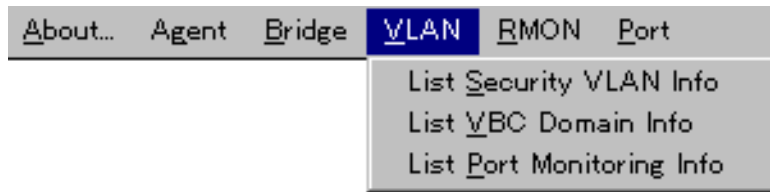
選択したポートのスパニングツリーの各設定値をテーブル表示します。

Edit This Port Info

選択したポートのスパニングツリーの各設定値を編集します。

14.4.4 「VLAN」メニュー

「VLAN」メニューでは、C8116 の VLAN 機能に関するパラメータの表示と設定を行います。



List Security VLAN Info

セキュリティ VLAN 設定情報を表示します。

List VBC Domain Info

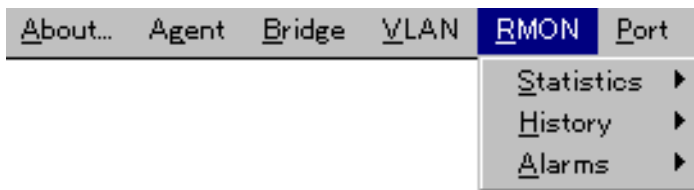
バーチャル・ブロードキャスト(VBC)ドメインの設定情報を表示します。

List Port Monitoring Info

ポートモニタ設定情報を表示します。

14.4.5 「RMON」メニュー

「RMON」メニューはBitViewの各ネットワークポートがマウスで選択されている場合にのみ表示されます。C8116 がサポートする RMON MIB の各情報の表示を行います。



「Statistics」サブメニュー

ネットワークに関する統計値をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示します。

Display Statistics Table

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの統計情報をテーブル表示します。

以下のセグメントに関する統計情報は、表示モードを次の3つから選択できます。

List	テーブル表示
Chart	棒グラフ表示
Graph	折れ線グラフ表示

This Segment All Stats

選択したセグメントのネットワーク統計情報を表示します。

This Segment Bytes Stats

選択したセグメントのByte countsだけで構成されるネットワークの統計値のサブセットを表示します。

This Segment Frame Stats

選択したセグメントのFrame counts と Error counts だけで構成されるネットワーク統計値のサブセットを表示します。

This Segment Frame Size Stats

選択したセグメントのFrame size distribution counts だけで構成されるネットワーク統計値のサブセットを表示します。

「History」サブメニュー

Display RmonHistory Table

指定した情報に対してサンプリングを行う history グループを制御するための情報を表示します。

「Alarms」サブメニュー

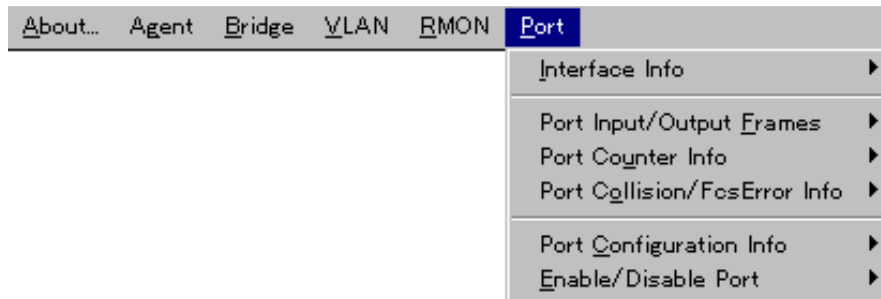
Display RmonAlarms Table

指定した情報に対してしきい値設定を行う alarm グループの情報を表示します。

14.4.6 「Port」メニュー

「Port」メニューはBitView上の任意のネットワークポートがマウスで選択されている場合にのみ表示されます。

「Port」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、C8116のポートに関する情報を表示します。



「Interface Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Interface Info

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータをテーブル表示します。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータをテーブル表示します。

Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータを、棒グラフで表示します。

Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータを、折れ線グラフで表示します。

「Port Input/Output Frames」サブメニュー

ポートの入出力フレーム数などを表示するサブメニューです。

List All Port I/O Frames

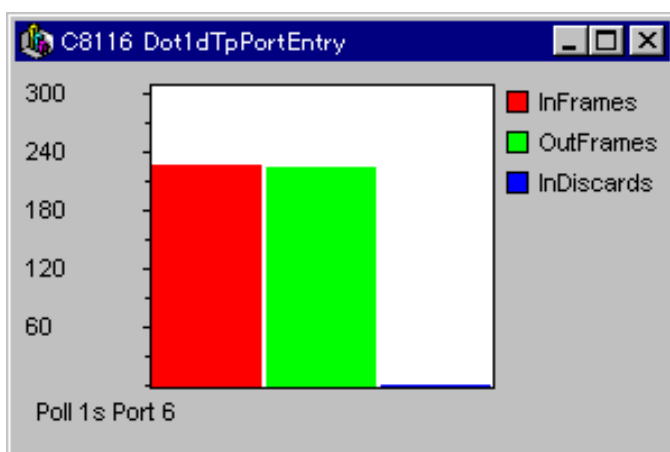
すべてのポートの入出力フレーム数などをテーブル表示します。

List This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などをテーブル表示します。

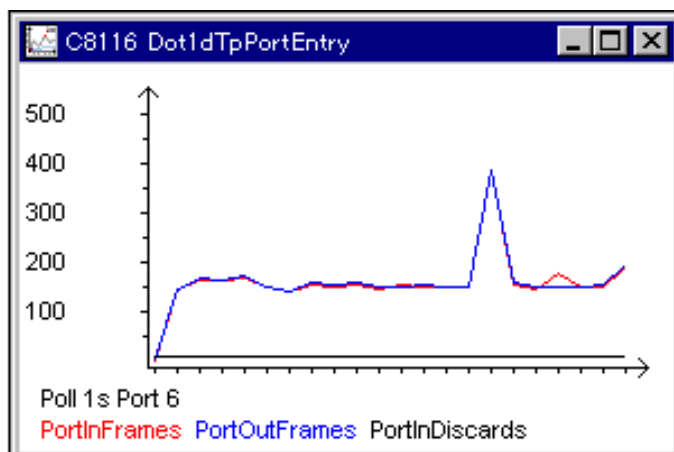
Chart This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などを棒グラフで表示します。



Graph This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などを折れ線グラフで表示します。



「Port Counter Info」サブメニュー

ポートのカウンタ情報を表示します。

List All Port Counter Info

すべてのポートの統計情報カウンタを表示します。

List This Port Counter Info

選択したポートの統計情報カウンタを表示します。

Chart This Port Counter Info

選択したポートの統計情報カウンタを棒グラフで表示します。

Graph This Port Counter Info

選択したポートの統計情報カウンタを折れ線グラフで表示します。

「Port Collision/FcsError Info」サブメニュー

ポートごとのコリジョン、およびエラー情報を表示します。

List All Port Collision/FcsError Info

すべてのポートのコリジョン、およびエラー情報をテーブル表示します。

List This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報をテーブル表示します。

Chart This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報を棒グラフで表示します。

Graph This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョンおよびエラー情報を折れ線グラフで表示します。

「Port Configuration Info」サブメニュー

各ポートの状態や設定内容を表示・編集します。

List All Port Config Info

すべてのポートの動作モードの設定、リンク状態などをテーブル表示します。

List This Port Config Info

選択したポートの動作モードの設定、リンク状態などをテーブル表示します。

Edit This Port Config Info

選択したポートの設定内容を編集します。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したポートのイネーブル | ディセーブルを行うサブメニューです。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。

マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。

(「14.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。

マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。

(「14.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

14.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- ・ BitView 上の Link LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- ・ BitView 上の各 LED の点滅回数と実機の LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な通信状況は、「Interface Info」サブメニューの各テーブルの値を参照してください。

第 15 章

CentreCOM 3734TX BitView **モジュール**

本章では、インテリジェントスイッチ CentreCOM3734TX 用 BitView モジュールの使用方法について説明します。

15.1 C3734TX の BitView

C3734TX 用 BitView は、C3734TX のアイコンをダブルクリックすると表示されます。

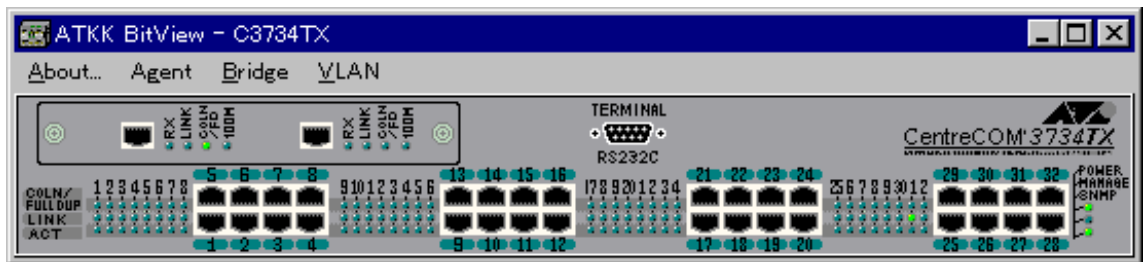


図 15.1.1 C3734TX の BitView

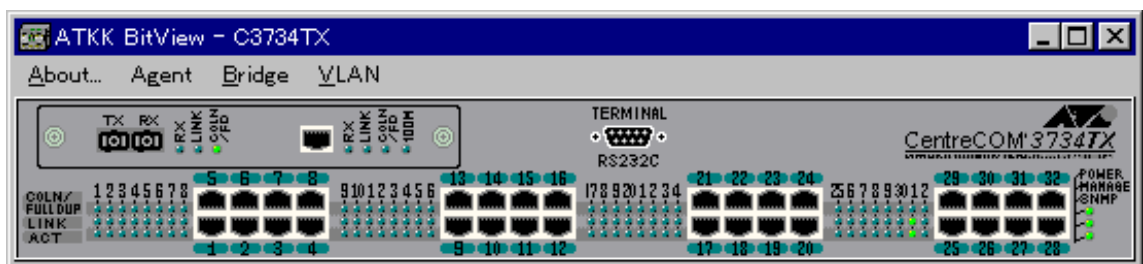





図 15.1.2 C3734TX-1F の BitView



15.1.1 ポートの表示

C3734TX 用 BitView では、全ネットワークポートの状態(イネーブル | ディセーブル | パーティション)がコネクタ部分の色で識別できます。また、アップリンクポート(ポート 33・34)は、10M でリンクが確立している場合には、コネクタの絵部分に「10」と表示され、100M でリンクが確立している場合には「100」と表示されます。

ポート設定表示(全ポート対応):

-  (黒)..... イネーブル
-  (赤)..... ディセーブル
-  (黄)..... パーティション

リンク状況の表示(ポート 33・34 のみ対応):

-  (緑地に 10)..... 10Mbps でリンク確立時
-  (緑地に 100)..... 100Mbps でリンク確立時

15.2 C3734TX ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト(ポートなどの各部分の絵)に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

15.2.1 クリック

クリック(シングルクリック)で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 各ネットワーク 接続ポート

15.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- ・ 各ネットワーク接続ポート：

左ダブルクリック	ポートの "enable" を行います。
右ダブルクリック	ポートの "disable" を行います。
- ・ TERMINAL ポート：

(左 or 右)ダブルクリック	Telnet の起動を行います。
-----------------	------------------

15.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目(数)はBitViewの操作(選択状態)に応じて増減します。
初期状態(ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後)では、「About」、「Agent」、「Bridge」、「VLAN」の4項目のみ表示されていますが、マウスでネットワーク接続ポートをクリックすると「RMON」、「Port」がメニューバーにあらわれます。

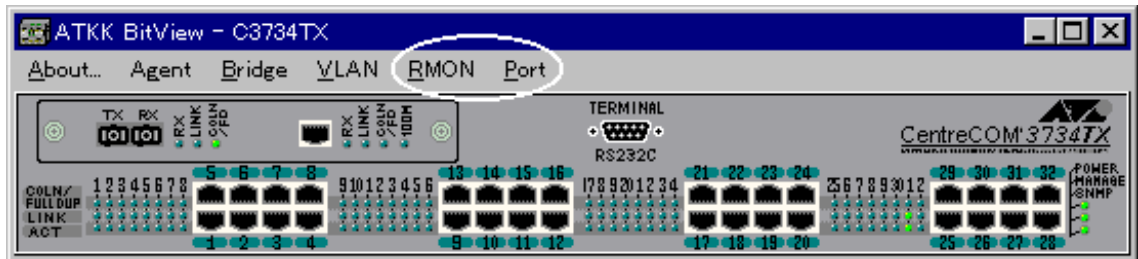


図 15.3.1 メニューバーの表示項目の増減(ポートの選択により「RMON」、「Port」の表示)

15.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「15.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

15.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

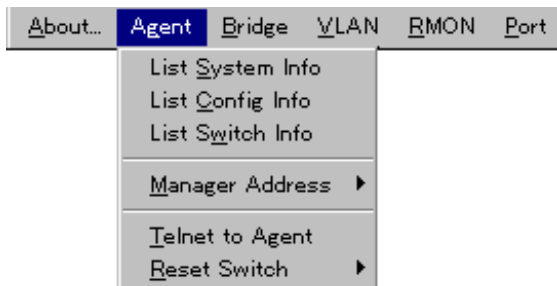
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここでは、ファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。



図 15.4.1 「About」ダイアログボックス

15.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定を行います。



List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。
Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。
Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。

List Config Info

現在のコンフィギュレーションファイルのパラメータを表示します。

List Switch Info

ファームウェアのバージョン、データベースのサイズなどスイッチの概要を表示します。

「Manager Address」サブメニュー

ネットマネージャ(Vista Managerなど)のインストールされている端末のIPアドレス(C3734TXはこのアドレスに対して SNMP Trap を送信します)の設定値などの表示・設定を行います。

List Manager Address

ネットマネージャ(Vista Managerなど)のインストールされている端末のIPアドレス(C3734TXはこのアドレスに対して SNMP Trap を送信します)などを表示します。

Edit Manager Address

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「Vista Manager Ver.3.0J User's Manual」のp3-45「テーブルエントリの編集」を参照してください。

Telnet to Agent

Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で C3734TX にログインします。BitView の TERMINAL ポートのダブルクリックと同じ操作となります。

「Reset Switch」サブメニュー

Warm Reset

C3734TX をウォームリセットします。

Cold Reset

C3734TX をコールドリセットします。

15.4.3 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、スパニングツリーなどのブリッジ機能の設定に関するパラメータの表示と設定を行います。



List Forwarding Database

通信データ中のフォワーディングアドレスの表示・設定を行います。

「Forwarding Discard/Aging Time Info」サブメニュー

フォワーディングアドレスのうち、一定時間通信が行われず、登録が消去されたアドレス数とエージングタイムを表示・編集するサブメニューです。

List Forwarding Discard/Aging Time Info

登録が消去されたアドレス数とエージングタイムをテーブル表示します。

Edit Forwarding Discard/Aging Time Info

エージングタイムを編集します。

「Agent Spanning Tree Info」サブメニュー

C3734TX 本体のスパニングツリー設定の各パラメータを表示・編集するサブメニューです。

List Agent Spanning Tree Info

C3734TX 本体のスパニングツリーの各設定値をテーブル表示します。

Edit Agent Spanning Tree Info

C3734TX 本体のスパニングツリーの各設定値を編集します。

「Port Spanning Tree Info」サブメニュー

ポートのスパニングツリーの各設定値を表示・編集するサブメニューです。

List All Port Info

すべてのポートのスパニングツリーの各設定値をテーブル表示します。

List This Port Info

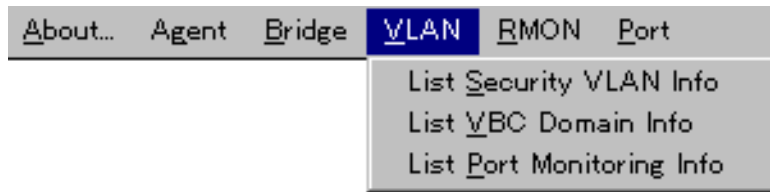
選択したポートのスパニングツリーの各設定値をテーブル表示します。

Edit This Port Info

選択したポートのスパニングツリーの各設定値を編集します。

15.4.4 「VLAN」メニュー

「VLAN」メニューでは、C3734TX の VLAN 機能に関するパラメータの表示と設定を行います。



List Security VLAN Info

セキュリティ VLAN 設定情報を表示します。

List VBC Domain Info

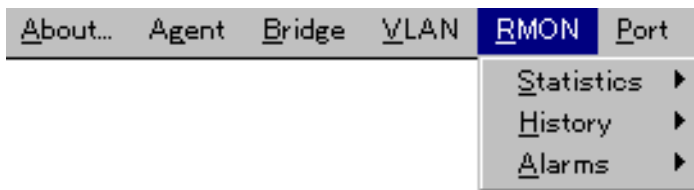
バーチャル・ブロードキャスト(VBC)ドメインの設定情報を表示します。

List Port Monitoring Info

ポートモニタ設定情報を表示します。

15.4.5 「RMON」メニュー

「RMON」メニューはBitView上のネットワーク接続ポートがマウスで選択されている場合にのみ表示されます。C3734TX がサポートする RMON MIB の各情報の表示を行います。



「Statistics」サブメニュー

ネットワークに関する統計値をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示します。

Display Statistics Table

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの統計情報をテーブル表示します。

以下のセグメントに関する統計情報は、表示モードを次の3つから選択できます。

List	テーブル表示
Chart	棒グラフ表示
Graph	折れ線グラフ表示

This Segment All Stats

選択したセグメントのネットワーク統計情報を表示します。

This Segment Bytes Stats

選択したセグメントのByte countsだけで構成されるネットワーク統計値のサブセットを表示します。

This Segment Frame Stats

選択したセグメントのFrame counts と Error counts だけで構成されるネットワーク統計値のサブセットを表示します。

This Segment Frame Size Stats

選択したセグメントのFrame Size distribution counts だけで構成されるネットワークの統計値のサブセットを表示します。

「History」サブメニュー

Display RmonHistory Table

指定した情報に対してサンプリングを行う history グループを制御するための情報を表示します。

「Alarms」サブメニュー

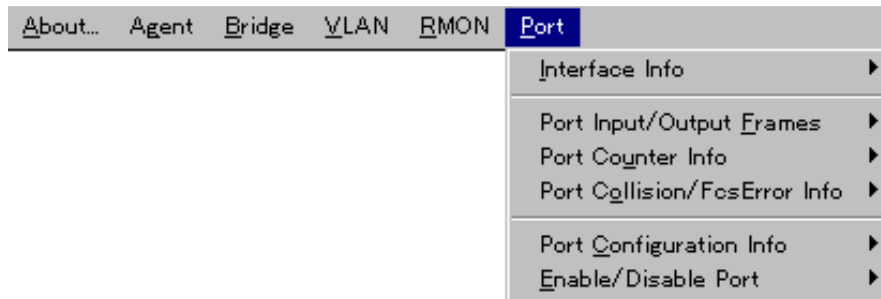
Display RmonAlarms Table

指定した情報に対してしきい値設定を行う alarm グループの情報を表示します。

15.4.6 「Port」メニュー

「Port」メニューはBitView上の任意のネットワークポートがマウスで選択されている場合にのみ表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、C3734TXのポートに関する情報を表示します。



「Interface Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Interface Info

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータをテーブル表示します。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータをテーブル表示します。

Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータを、棒グラフで表示します。

Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータを、折れ線グラフで表示します。

「Port Input/Output Frames」サブメニュー

ポートの入出力フレーム数などを表示するサブメニューです。

List All Port I/O Frames

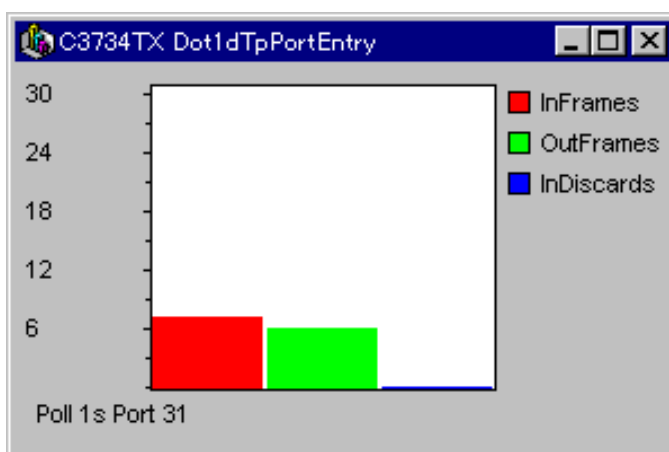
すべてのポートの入出力フレーム数などをテーブル表示します。

List This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などをテーブル表示します。

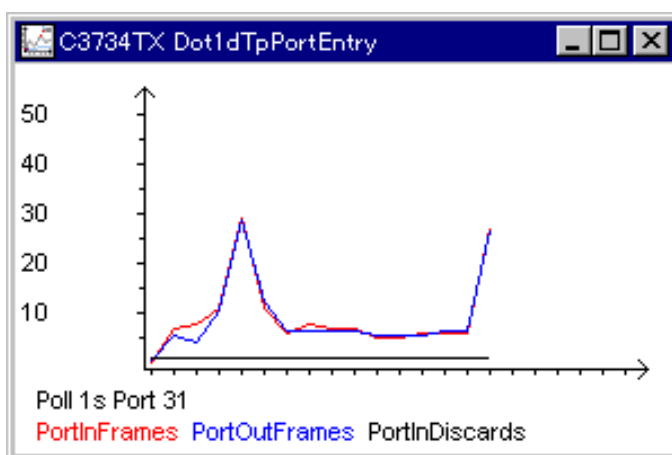
Chart This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などを、棒グラフで表示します。



Graph This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などを、折れ線グラフで表示します。



「Port Counter Info」サブメニュー

ポートの統計情報カウンタを表示します。

List All Port Counter Info

すべてのポートの統計情報カウンタをテーブル表示します。

List This Port Counter Info

選択したポートの統計情報カウンタをテーブル表示します。

Chart This Port Counter Info

選択したポートの統計情報カウンタを棒グラフで表示します。

Graph This Port Counter Info

選択したポートの統計情報カウンタを折れ線グラフで表示します。

「Port Collision/FcsError Info」サブメニュー

ポートごとのコリジョン、およびエラー情報を表示します。

List All Port Collision/FcsError Info

すべてのポートのコリジョン、およびエラー情報をテーブル表示します。

List This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報をテーブル表示します。

Chart This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報を棒グラフで表示します。

Graph This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報を折れ線グラフで表示します。

「Port Configuration Info」サブメニュー

各ポートの状態や設定内容を表示・編集します。

List All Port Config Info

すべてのポートの動作モードの設定、リンク状態などをテーブル表示します。

List This Port Config Info

選択したポートの動作モードの設定、リンク状態などをテーブル表示します。

Edit This Port Config Info

選択したポートの設定内容を編集します。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したポートのイネーブル | ディセーブルを行うサブメニューです。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。

マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。

(「15.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。

マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。

(「15.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

15.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。

ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- ・ BitView 上の Link LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- ・ BitView 上の各 LED の点滅回数と実機の LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な通信状況は、「Interface Info」サブメニューの各テーブルの値を参照してください。

第 16 章

CentreCOM8208 BitView モジュール

本章では、インテリジェントスイッチ CentreCOM 8208（以下 C8208）用 BitView モジュールの使用方法について説明します。

16.1 C8208 の BitView

C8208 用 BitView は、C8208 スイッチのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

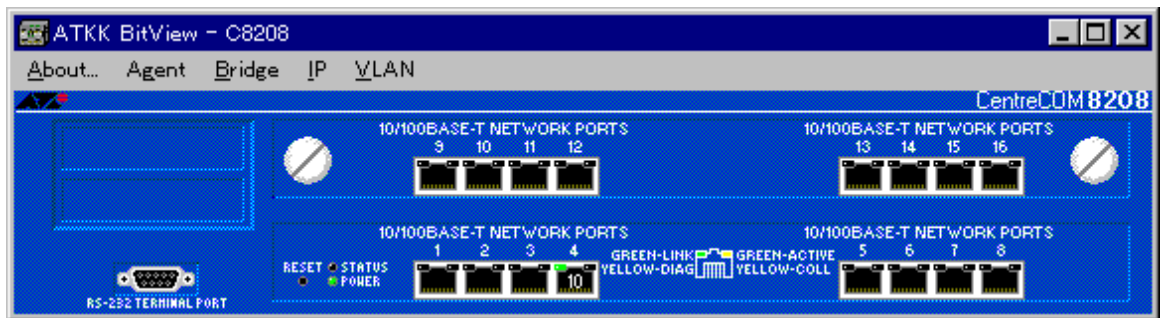
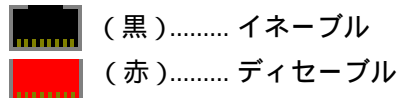


図 16.1.1 C8208 スイッチの BitView

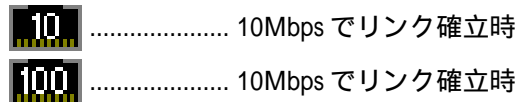
16.1.1 ポートの表示

C8208 用 BitView では、全ネットワークポートの状態（イネーブル | ディセーブル）がコネクタ部分の色で識別できます。また、10M でリンクが確立している場合には、コネクタ部分に「10」と表示され、100M でリンクが確立している場合には「100」と表示されます。

ポート設定表示：



リンク状況の表示：



16.2 C8208 ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、スイッチの各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

16.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- 10BASE-T/100BASE-TX ポート（ポート 1 ~ 16）

16.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

- 各ネットワーク接続ポート（ポート 1 ~ 16）
 - 左ダブルクリック： ポートの "enable" を行います。
 - 右ダブルクリック： ポートの "disable" を行います。
- RS-232 TERMINAL ポート
 - 左 or 右ダブルクリック： Telnet の起動を行います。

16.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。
初期状態（ノードのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Bridge」、「IP」、「VLAN」の5項目のみ表示されていますが、マウスで任意のポートを選択すると「RMON」と「Port」メニューがメニューバーにあらわれます。

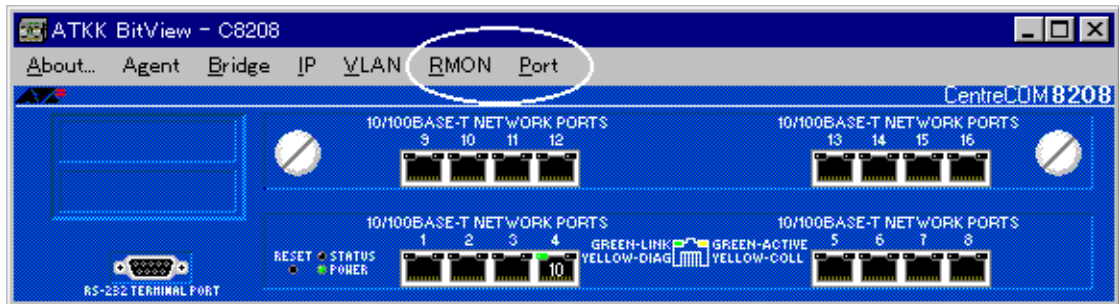


図 16.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「RMON」「Port」の表示）

16.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「16.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

16.4.1 「About」メニュー

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

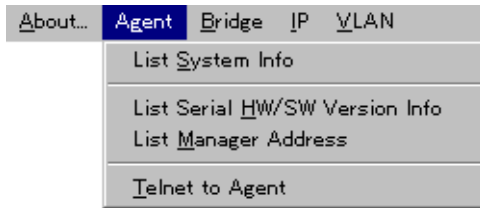
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれる sysDescr.0 オブジェクトの内容です。ここでは、ファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。



図 16.4.1 「About」ダイアログボックス

16.4.2 「Agent」メニュー

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定を行います。



List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。Vista Manager の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。

Vista Manager の各テーブル表示と同じ操作となります。

List Serial HW/SW Version Info

C8028 本体のハードウェア情報、ソフトウェアバージョンなどを表示します。

List Manager Address

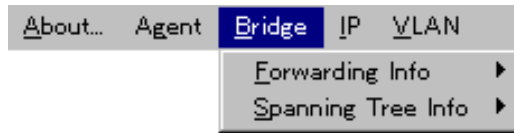
ネットマネージャ（Vista Manager など）のインストールされている端末の IP アドレス（C8208 はこのアドレスに対して SNMP Trap を送信します）を表示します。

Telnet to Agent

Vista Manager の Telnet を起動して、ネットワーク経由で C8208 にログインします。BitView の RS-232 TERMINAL ポートのダブルクリックと同じ操作となります。

16.4.3 「Bridge」メニュー

「Bridge」メニューでは、スパニングツリーなどのブリッジ機能の設定に関するパラメータの表示と設定を行います。



「Forwarding Info」サブメニュー

List Forwarding Database

通信データ中のフォワーディングアドレスをテーブル表示します。

List Fdb Aging Time Info

エージングタイムの表示・編集を行います。

「Spanning Tree Info」サブメニュー

スパニングツリー設定の各パラメータを表示・編集するサブメニューです。

List VLAN Spanning Tree Info

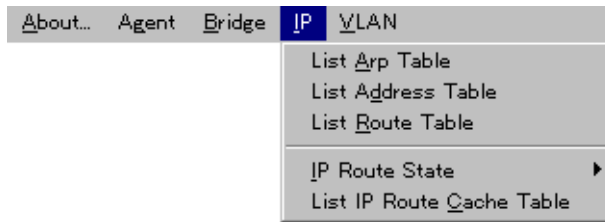
VLANごとのスパニングツリー設定内容の表示・編集を行います。

List Port Spanning Tree Info

ポートごとのスパニングツリー設定内容の表示・編集を行います。

16.4.4 「IP」メニュー

C8208 の IP アドレス、IP ルートキャッシュなどの表示と設定を行うサブメニューです。



List Arp Table

C8208 の ARP テーブルのデータをテーブル表示します。

List Address Table

C8208 のインターフェースのアドレスに関する情報をテーブル表示します。

List Route Table

C8208 のルーティングに関するデータをテーブル表示します。

「IP Route State」サブメニュー

List IP Route Cache Mode

IP ルートキャッシュを表示します。

Enable IP Route Cache

IP ルートキャッシュ機能を有効にします。

Disable IP Route Cache

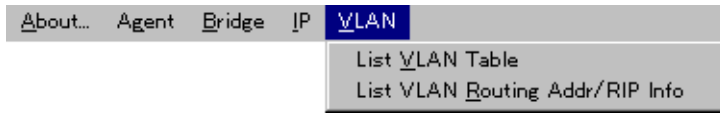
IP ルートキャッシュ機能を無効にします。

List IP Route Cache Table

IP ルートキャッシュ機能が有効になっているセッションに関する情報を表示します。

16.4.5 「VLAN」メニュー

C8208 の VLAN 設定内容を表示します。



List VLAN Table

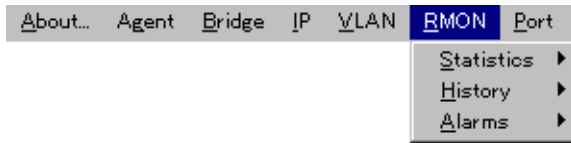
VLAN 設定内容をテーブル表示します。

List VLAN Routing Addr/RIP info

各 VLAN のルーティングに関するデータや RIP モードの設定を表示します。

16.4.6 「RMON」メニュー

「RMON」メニューはBitView上の任意のポートがマウスで選択されている場合のみ表示されます。C8208 がサポートする RMON MIB の各情報の表示を行います。



「Statistics」サブメニュー

ネットワークに関する統計値をさまざまなフォーマットで表示します。表示モードを次の3つから選択します。

List	テーブル表示
Chart	棒グラフ表示
Graph	折れ線グラフ表示

This Segment All Stats

選択したセグメントのネットワーク統計情報を表示します。

This Segment Bytes Stats

選択したセグメントのbyte countsだけで構成されるネットワーク統計値のサブセットを表示します。

This Segment Frame Stats

選択したセグメントのframe countsとerror countsだけで構成されるネットワーク統計値のサブセットを表示します。

This Segment Frame Size Stats

選択したセグメントの frame size distribution counts だけで構成されるネットワーク統計値のサブセットを表示します。

「History」サブメニュー

Display RmonHistory Table

指定した情報に対してサンプリングを行うhistoryグループを制御するための情報を表示します。

「Alarms」サブメニュー

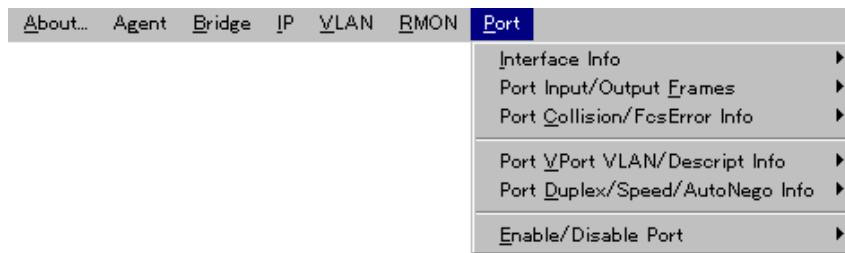
Display RmonAlarm Table

指定した情報に対してしきい値設定をおこなう alarm グループの情報と設定をおこないます。

16.4.7 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMPエージェント情報のうち、C8208のポートに関する情報の表示と設定が行えます。



「Interface Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Interface Info

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータをテーブル表示します。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態などの各パラメータをテーブル表示します。

The screenshot shows a window titled 'C8208 IfEntry' with a menu bar (Edit, Grph, Chrt, List, Hist, Exprt, Cust, Menu, Flip, Help) and a table of interface information:

Index	4
Descr	Physical Port #4 (EIU)
Type	62
Mtu	1500
Speed	10000000
PhysAddress	00 a0 d2 c1 81 c3
AdminStatus	up
OperStatus	up
LastChange	0 days 00:00:03
InOctets	0
InUcastPkts	0
InNUcastPkts	UNK
InDiscards	0
InErrors	0
InUnknownProtos	UNK
OutOctets	0
OutUcastPkts	0
OutNUcastPkts	UNK
OutDiscards	0
OutErrors	0
OutQLen	UNK
Specific	UNK

Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態など各パラメータの情報を棒グラフで表示します。

Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数、ポート状態など各パラメータの情報を折れ線グラフで表示します。

「Port Input/Output Frames」サブメニュー

ポートの入出力フレーム数などを表示するサブメニューです。

List All Port Input/Output Frames

すべてのポートの入出力フレーム数などをテーブル表示します。

「Port Collision/FcsError Info」サブメニュー

ポートごとのコリジョン、およびエラー情報を表示します。

List All Port Collision/FcsError Info

すべてのポートのコリジョン、およびエラー情報をテーブル表示します。

List This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報をテーブル表示します。

Chart This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報を棒グラフで表示します。

Graph This Port Collision/FcsError Info

選択したポートのコリジョン、およびエラー情報を折れ線グラフで表示します。

「Port VPort VLAN/Descript Info」サブメニュー

C8208 の VLAN 機能に関するパラメータの表示と設定を行います。

List All VPort VLAN/Descript Mode Info

すべてのポートの VLAN 設定をテーブル表示します。

List This VPort VLAN/Descript Mode Info

選択したポートの属する VLAN、および VLAN 設定内容をテーブル表示します。

Edit This VPort VLAN/Descript Mode Info

選択したポートの属する VLAN、および VLAN 設定内容を変更します。

「Port Duplex/Speed/AutoNego Info」サブメニュー

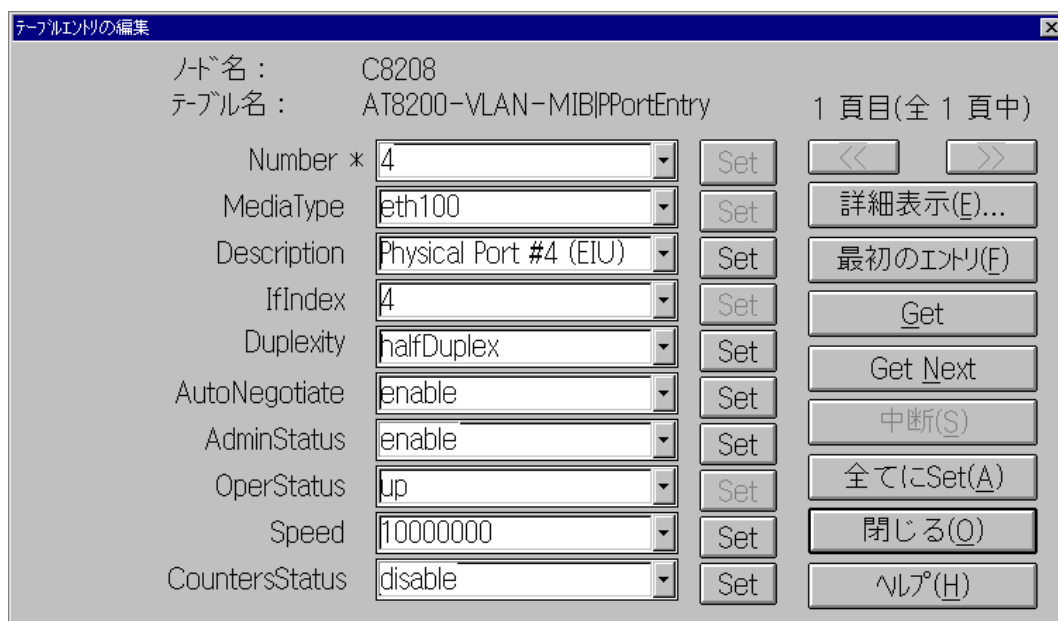
各ポートの動作モードの表示・設定を行います。

List All Port Duplex/Speed/AutoNego Info

すべてのポートの動作モードの設定を表示します。

List This Port Duplex/Speed/AutoNego Info

選択したポートの動作モードの設定を表示します。



The screenshot shows a dialog box titled "テーブルエントリの編集" (Table Entry Edit). It displays configuration for a port with the following settings:

ノード名 :	C8208	
テーブル名 :	AT8200-VLAN-MIBIPPortEntry	1 頁目(全 1 頁中)
Number *	4	Set
MediaType	eth100	Set
Description	Physical Port #4 (EIU)	Set
IfIndex	4	Set
Duplexity	halfDuplex	Set
AutoNegotiate	enable	Set
AdminStatus	enable	Set
OperStatus	up	Set
Speed	100000000	Set
CountersStatus	disable	Set

On the right side of the dialog, there are several control buttons: "<<" and ">>" for page navigation, "詳細表示(E)..." (Detailed View), "最初のエントリ(F)" (First Entry), "Get", "Get Next", "中断(S)" (Cancel), "全てにSet(A)" (Set All), "閉じる(Q)" (Close), and "ヘルプ(H)" (Help).

Edit This Port Duplex/Speed/AutoNego Info

選択したポートの動作モードの設定を編集します。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したポートのイネーブル | ディセーブルを行います。

Disable Port

選択したポートをディセーブルにします。

画面ポート上で右ダブルクリックと同じ操作です。

(「16.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブルにします。

画面ポート上で左ダブルクリックと同じ操作です。

(「16.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

16.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。
ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- BitView 上の LINK LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の各 LED の点滅回数と実機の LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な通信状況は、「Interface Info」サブメニューの各テーブルの値を参照してください。

第 17 章

CentreCOM 3612L BitView モジュール

本章では、CentreCOM 3612L用BitView モジュールの使用方法について説明します。

17.1 C3612L の BitView

C3612L 用 BitView は、C3612L ハブのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

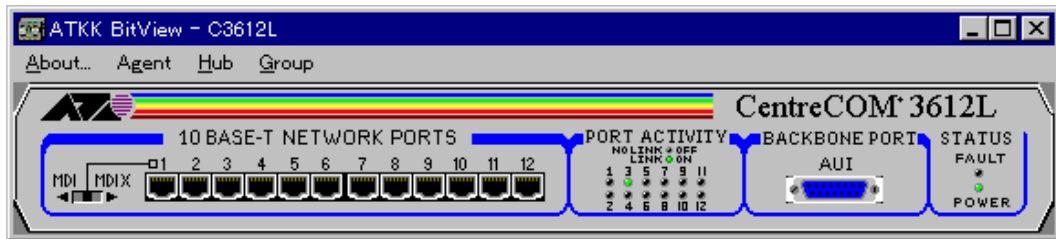





図 17.1.1 CentreCOM3612L ハブの BitView

17.1.1 ポートの表示

C3612L 用 BitView では、各ネットワークポートと AUI ポートの状態（イネーブル | ディセーブル | パーティション）がコネクタ部分の色で識別できます。

-  (黒)..... イネーブル
-  (赤)..... ディセーブル
-  (黄)..... パーティション

17.2 C3612L ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクトに対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

17.2.1 クリック

クリック（シングルクリック）で、各オブジェクトを選択します。

これによって指定した特定のオブジェクト（ポート）に対して、メニューバーの各操作を行うことができます。

メニューバーの各操作に関連するシングルクリックオブジェクトは下記のとおりです。

- ・ 各ネットワークポート（1～12）
- ・ AUI ポート

17.2.2 ダブルクリック

ダブルクリックでは、オブジェクトに対して特定のコマンドを実行することになります。

各ネットワーク接続ポート：

左ダブルクリック ポートの "enable" を行います。

右ダブルクリック ポートの "disable" を行います。

17.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）はBitViewの操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態(C3612LのアイコンをクリックしてBitViewを表示させた直後)では、「About」、「Agent」、「Hub」、「Group」の4項目のみ表示されていますが、マウスでポートを選択すると、「Port」という項目があらわれます。

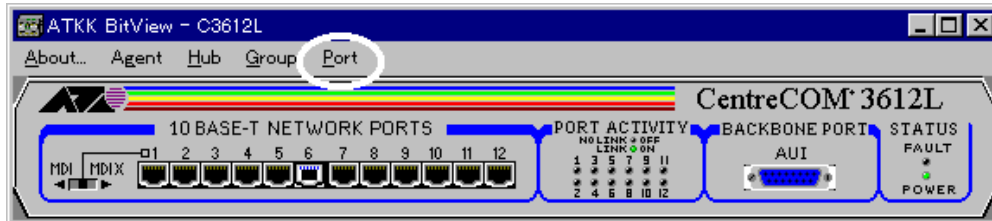


図 17.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ポートの選択により「Port」の表示）

17.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューは、VistaManager 本体と同様、各 MIB 情報の表示や設定を行うようになっていきます。

ハブやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト（ポートなど）に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「17.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト（ポートなど）を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示される、テーブルやウィンドウの操作は VistaManager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じとなっています。

17.4.1 「About」

「About」は、BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIB に含まれる sysDescr.0 の内容です。ここには、インテリジェントハブのファームウェアバージョンなどが含まれる場合があります。

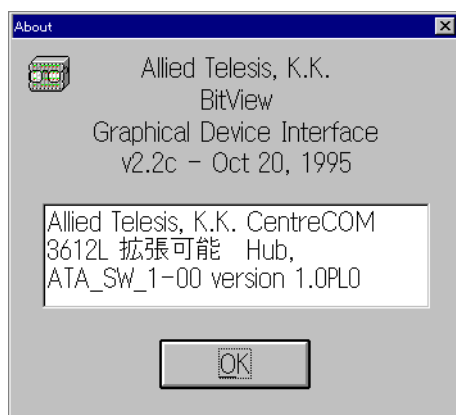
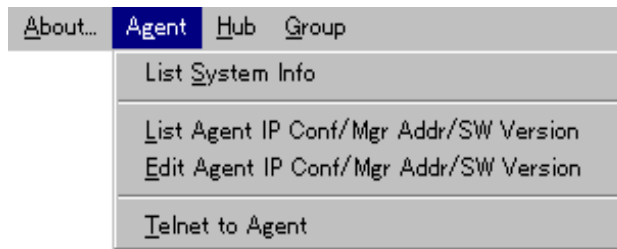


図 17.4.1 「About」ダイアログボックス

17.4.2 「Agent」

「Agent」メニューでは、SNMPエージェントのIPアドレスやTrapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定を行います。

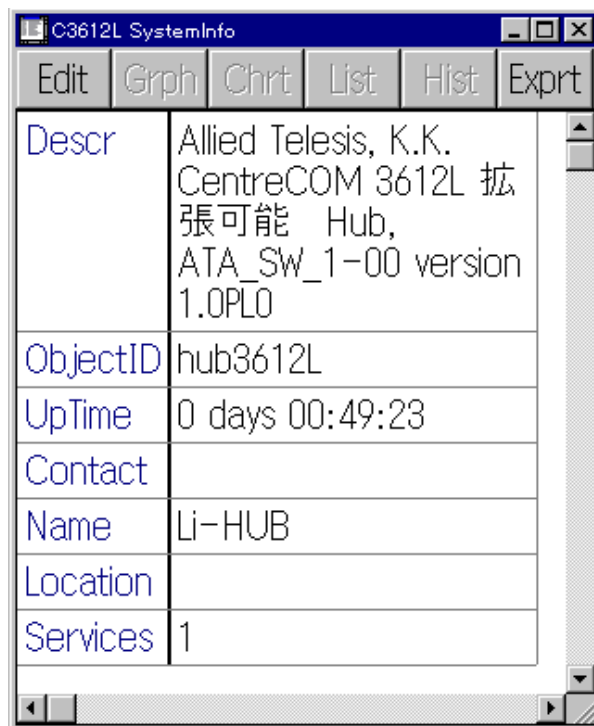


List System Info

List System Info では、エージェントの MIB の基本的な情報の表示を行います。

Vista Manger の「システム管理」メニューの「システム」の「List System Info」と同じです。

VistaManager の各テーブル表示と同じ操作となります。



List Agent IP Conf/Mgr Addr/SW Version

C3612L の IP アドレス、ネットマネージャ（VistaManager など）のインストールされている端末の IP アドレス（C3612L はこのアドレスに対して SNMPTrap を送信します）、ソフトウェアバージョンなどの表示を行います。

Edit Agent IP Conf/Mgr Addr/SW Version

Vista Manger のテーブル表示ウィンドウの「Edit」ボタンを押したときに表示される「テーブルエントリの編集」ウィンドウが表示されます。操作に関しては、「VistaManager Ver.3.0J User's Manual」の p3-45 「テーブルエントリの編集」を参照してください。

Field Name	Value	Action
ノド名	C3612L	
テーブル名	ATHUB-MIB rptrInfoInfo	
actualIPAddr	123.23.23.33	Set
hubIPAddr	123.23.23.33	Set
subnetMask	255.255.255.0	Set
routerAddr	0.0.0.0	Set
snmpManager	0.0.0.0	Set
Product	ATA_SW_1-00	Set
Level	1.0PLO	Set
configurationChanged	nochange	Set
localOmegaState	JNK	Set
remoteOmegaState	JNK	Set

1 頁目(全 1 頁中)

Navigation buttons: <<, >>, 詳細表示(E)..., 最初のエントリ(F), Get, Get Next, 中断(S), 全てにSet(A), 閉じる(O), ヘルプ(H)

Telnet to Agent

Vista Manger の Telnet を起動して、ネットワーク経由で C3612L にログインします。



Vista Manger の Telnet は、日本語表示に未対応となっていますので、C3612L の設定メニューの英語表示でのみ使用可能です。

17.4.3 「Hub」メニュー

「Hub」メニューでは、ハブ全体の通信データに関する統計情報の表示、C3612Lのリセットおよびセルフテストを行います。

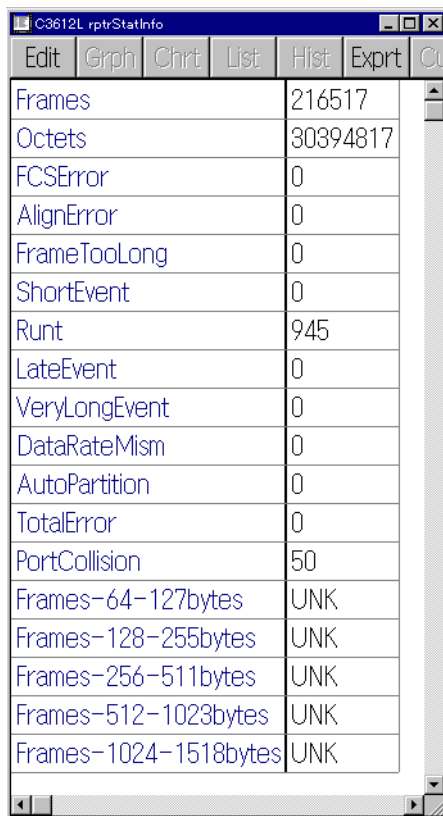


「Hub Frames/Octets」サブメニュー

C3612Lの通信データの統計情報をテーブル、棒グラフ、折れ線グラフで表示するサブメニューです。

List Hub Frames/Octets

C3612Lの通信データの統計情報をテーブル表示します。



The image shows a window titled 'C3612L rptvStatInfo' with a menu bar containing 'Edit', 'Grph', 'Chrt', 'List', 'Hist', 'Exprt', and 'CU'. The main area displays a table with the following data:

Frames	216517
Octets	30394817
FCSError	0
AlignError	0
FrameTooLong	0
ShortEvent	0
Runt	945
LateEvent	0
VeryLongEvent	0
DataRateMism	0
AutoPartition	0
TotalError	0
PortCollision	50
Frames-64-127bytes	UNK
Frames-128-255bytes	UNK
Frames-256-511bytes	UNK
Frames-512-1023bytes	UNK
Frames-1024-1518bytes	UNK

Chart Hub Frames/Octets

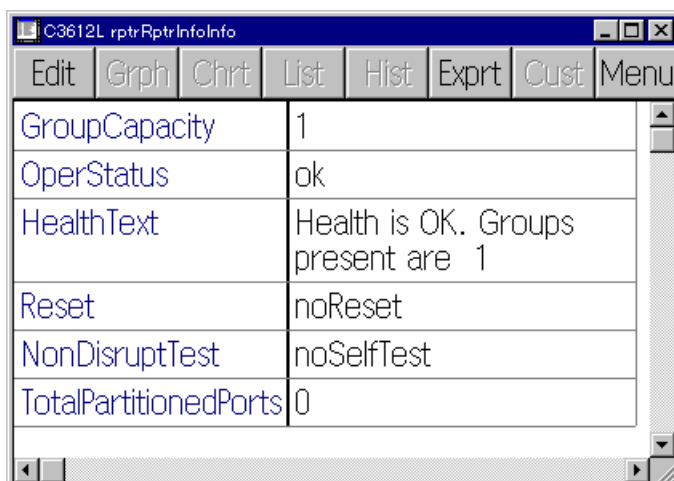
C3612L の通信データの統計情報を棒グラフで表示します。

Graph Hub Frames/Octets

C3612L の通信データの統計情報を折れ線グラフで表示します。

List Hub Health Information

C3612L のステータス（パーティションされているポート数など）をテーブル表示します。



The screenshot shows a window titled "C3612L rptrRptrInfo" with a menu bar containing "Edit", "Grph", "Chrt", "List", "Hist", "Exprt", "Cust", and "Menu". The main area displays a table with the following data:

GroupCapacity	1
OperStatus	ok
HealthText	Health is OK. Groups present are 1
Reset	noReset
NonDisruptTest	noSelfTest
TotalPartitionedPorts	0

Reset

C3612L をリセットします。

Self Test

C3612L のセルフテストを行います。

17.4.4 「Group」メニュー

「Group」メニューでは、SNMP エージェント情報のうちハブ全体に関する統計情報の表示を行います。



「List Group OID/OperStatus」

ObjectID や OperStatus などの各パラメータをテーブル表示します。

The screenshot shows a window titled 'C3612L RptrGroupEntry' with a menu bar containing 'Edit', 'Grph', 'Chrt', 'List', 'Hist', 'Exprt', and 'Cust'. The main area displays a table with the following data:

Index	1
Descr	Li-HUB
ObjectID	hub3612L
OperStatus	operational
LastOperStatusChange	0 days 00:00:00
PortCapacity	13

「Group Frames/Octets」サブメニュー

通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータを表示します。

List Group Frames/Octets

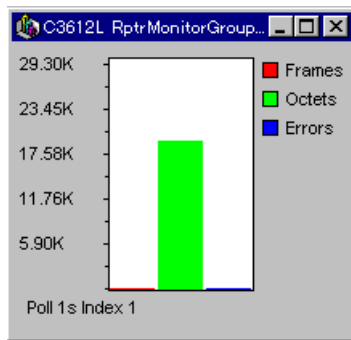
C3612L の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータをテーブル表示します。

The screenshot shows a window titled 'C3612L RptrMonitorGroupEntry' with a menu bar containing 'Edit', 'Grph', 'Chrt', 'List', and 'Hist'. The main area displays a table with the following data:

Index	1
TotalFrames	1412943
TotalOctets	233644256
TotalErrors	1

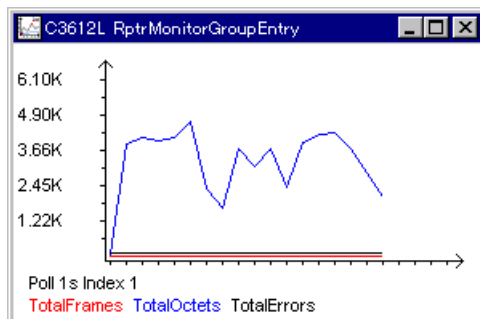
Chart Group Frames/Octets

C3612L の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータを、棒グラフで表示します。



Graph Group Frames/Octets

C3612L の通信したフレーム数やバイト数などの各パラメータを、折れ線グラフで表示します。

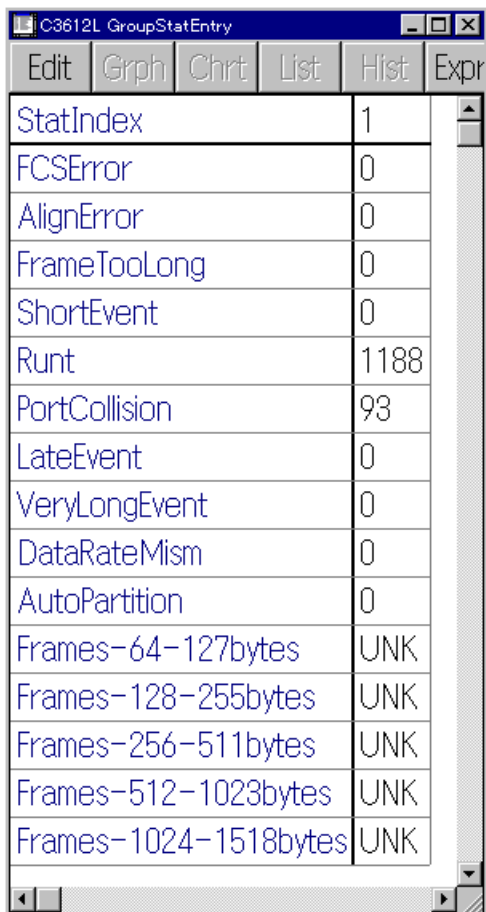


「Group Error Octets」サブメニュー

エラーバイト数などの各パラメータを表示するサブメニューです。

List Group Error Octets

C3612L のエラーバイト数などの各パラメータをテーブル表示します。



The screenshot shows a window titled "C3612L GroupStatEntry" with a menu bar containing "Edit", "Grph", "Chrt", "List", "Hist", and "Expr". The "List" menu is active, displaying a table of error statistics. The table has two columns: the parameter name and its corresponding value.

StatIndex	Value
FCSError	0
AlignError	0
FrameTooLong	0
ShortEvent	0
Runt	1188
PortCollision	93
LateEvent	0
VeryLongEvent	0
DataRateMism	0
AutoPartition	0
Frames-64-127bytes	UNK
Frames-128-255bytes	UNK
Frames-256-511bytes	UNK
Frames-512-1023bytes	UNK
Frames-1024-1518bytes	UNK

Chart Group Error Octets

C3612L のエラーバイト数などの各パラメータを棒グラフで表示します。

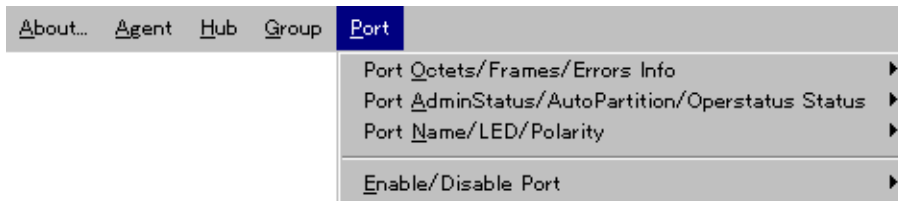
Graph Group Error Octets

C3612L のエラーバイト数などの各パラメータを折れ線グラフで表示します。

17.4.5 「Port」メニュー

「Port」メニューは任意のポートが選択されている場合に表示されます。

「Port」メニューでは、SNMP エージェント情報のうち、C3612L のポートに関する情報の表示と設定を行います。



「Port Octets/Frames/Errors Info」サブメニュー

ポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Octets/Frames/Errors

すべてのポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータをテーブル表示します。

List This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータをテーブル表示します。

Chart This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータを、棒グラフで表示します。

Graph This Port Octets/Frames/Errors

選択したポートの通信したフレーム数、バイト数、エラーバイト数などの各パラメータを、折れ線グラフで表示します。

「Port AdminStatus/AutoPartition/Operstatus Status」サブメニュー

ポートのイネーブル | ディセーブル | パーティション、通信状態などの各パラメータの表示・設定をおこないます。

List All Port Status

すべてのポートのイネーブル | ディセーブル | パーティション、通信状態などの情報をテーブル表示します。

List This Port Status

選択したポートのイネーブル | ディセーブル | パーティション、通信状態などの情報をテーブル表示します。

Edit This Port Status

選択したポートのイネーブル | ディセーブル | パーティション、通信状態などの各パラメータを設定します。

「Port Name/LED/Polarity」サブメニュー

ポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報を表示するサブメニューです。

List All Port Name/LED/Polarity Info

すべてのポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報をテーブル表示します。

List This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータの情報をテーブル表示します。

Edit This Port Name/LED/Polarity Info

選択したポートの名前、LED 状態、極性などの各パラメータを設定します。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

選択したポートのイネーブル | ディセーブルを行います。

Disable Port

選択したポートをディセーブル状態にします。
マウスでのポートの右ダブルクリックと同じ操作です。
(「17.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブル状態にします。
マウスでのポートの左ダブルクリックと同じ操作です。
(「17.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

17.5 LED 表示について

LED 表示については、基本的に実機と同様な色の変化や点滅表示を行います。
ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- BitView 上の LINK LED が実機の状態を反映するまでに 10 秒程度かかります。
- BitView 上の LINK LED は、ポートコリジョン発生時に黄色に点滅します。(実機の LINK LED の色 (緑色) は、ポートコリジョン発生時に変化しません。)

第 18 章

CentreCOM 8518/9108 BitView モジュール

本章では、ギガビットイーサネット対応レイヤー 3 スイッチ CentreCOM 8518/9108 (以下 C8518/9108) 用 BitView モジュールの使用方法について説明します (C8518 と C9108 の BitView の構成は同じですので、ここでは C8518 を例に説明します)。

18.1 C8518/9108 の BitView

C8518/9108用BitViewは、C8518/9108スイッチのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

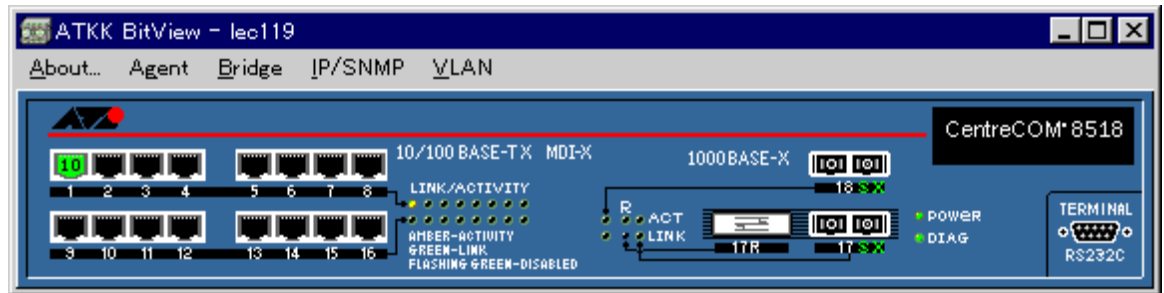








図 18.1.1 C8518 スイッチの BitView



18.1.1 ポートの表示

C8518/9108用BitViewでは、ネットワークポートの状態（イネーブル | ディセーブル | ブロッキング）がコネクタ部の色で識別できます。10/100Mポートの場合、10Mでリンクが確立しているときはコネクタ部分に「10」と表示され、100Mでリンクが確立しているときは「100」と表示されます。ギガビットポートでは、ポートの右下にメディアタイプ（SX | LX）が表示されます。




ポート設定表示：

10/100M	1000M	
	 (黒) イネーブル
	 (赤) ディセーブル
	 (黄) ブロッキング

リンク状況の表示：

 (緑) 10Mbps でリンク確立時
 (緑) 100Mbps でリンク確立時
 (緑) 1000Mbps でリンク確立時

メディアタイプの表示：

 1000BASE-SX
 1000BASE-LX
 GBIC モジュール未装着時

18.2 C8518/9108 ビットマップオブジェクト

ビットマップオブジェクト（ポートなど、スイッチ各部分の絵）に対しては、マウスでさまざまな操作を行うことができます。

18.2.1 クリック

ポートなどのオブジェクトをクリック（シングルクリック）すると、そのオブジェクトを選択することができます。選択したオブジェクトに対しては、メニューバーの各操作を実行できます。メニュー操作の対象となるシングルクリックオブジェクトには、次のものがあります。

- 10BASE-T/100BASE-TX ポート（C8518 のポート 1 ~ 16）
- 1000BASE-X ポート（C8518 のポート 17 ~ 18 / C9108 のポート 1 ~ 8）
- RS232C

18.2.2 ダブルクリック

ポートなどのオブジェクトをダブルクリックすると、そのオブジェクトに対して特定のコマンドを実行することができます。

- 各ネットワーク接続ポート（C8518 のポート 1 ~ 18 / C9108 のポート 1 ~ 8）
 - 左ダブルクリック： ポートを "enable" にします。
 - 右ダブルクリック： ポートを "disable" にします。
- RS-232 TERMINAL ポート
 - 左または右ダブルクリック： Telnet で C8518/9108 に接続します。

18.3 メニューバーの表示項目

メニューバーの表示項目（数）は、BitView の操作（選択状態）に応じて増減します。初期状態（ノードのアイコンをダブルクリックして BitView を表示させた直後）では、「About」、「Agent」、「Bridge」、「IP/SNMP」、「VLAN」の 5 項目のみが表示されていますが、マウスで任意のポートを選択すると、「RMON」メニューと「Port」メニューがメニューバーにあらわれます。



図 18.3.1 メニューバーの表示項目の増減（ポート選択により「RMON」と「Port」が出現）

18.4 各メニューの操作

メニューバーの各メニューでは、VistaManager本体と同様に、各MIB情報の表示や設定が行えるようになっています。

コネクタやポートに対する操作の場合は、画面で選択したオブジェクト(ポートなど)に対して、メニューの操作が行われます。

なお、「18.3 メニューバーの表示項目」にあるように、オブジェクト(ポートなど)を選択しないと表示されないメニュー項目もあります。

各メニューで表示されるテーブルやウィンドウの操作は、Vista Manager 本体のメニューで表示されるテーブルやウィンドウと同じです。

18.4.1 「About」メニュー

BitView モジュールのバージョン情報を表示します。

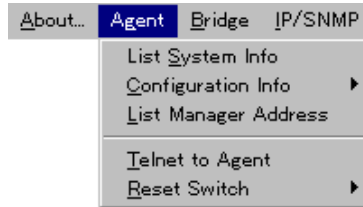
中央の白いメッセージボックスに表示されているのは、RFC1213-MIBに含まれるsysDescr.0オブジェクトの内容です。ここには、ファームウェアバージョンなどが含まれる場合もあります。



図 18.4.1 「About」ダイアログボックス

18.4.2 「Agent」メニュー

SNMPエージェントのIPアドレスや、Trapの送信先となるマネージャのアドレスなどに関する情報の表示と設定を行います。



List System Info

エージェントのMIBの基本的な情報を表示します。

表示される内容は、Vista Manager本体のメニューバーから「システム管理」「システム」「List System Info」と選択したときと同じです。また、テーブルに対する操作もVista Manager本体と同じです。

「Configuration Info」サブメニュー

List Configuration Info

C8518/9108本体のハードウェア情報、ソフトウェアバージョンなどを表示します。

Edit Configuration Info

C8518/9108本体のハードウェア情報などを編集します。

List Manager Address

ネットマネージャ（Vista Managerなど）がインストールされている端末のIPアドレス（C8518/9108はこのアドレスに対してSNMP Trapを送信します）を表示します。

Telnet to Agent

Vista ManagerのTelnetを起動して、ネットワーク経由でC8518/9108にログインします。BitViewのRS-232 TERMINALポートをダブルクリックしても同じことができます。

「Reset Switch」サブメニュー

Warm Reset

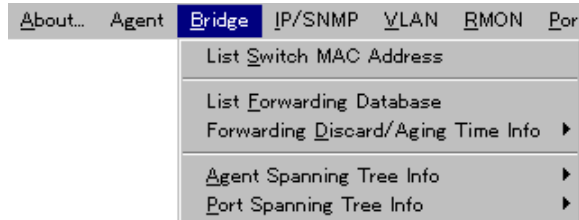
C8518/9108をウォームリセットします。

Cold Reset

C8518/9108をコールドリセットします。

18.4.3 「Bridge」メニュー

スパニングツリーなどのブリッジ機能に関するパラメータの表示と設定を行います。
なお、C8518/9108 の仕様により、「Bridge」メニューでは STPD「s0」の情報のみ表示されます。



List Switch MAC Address

C8518/9108 の MAC アドレス、ポート数、ブリッジタイプを表示します。

List Forwarding Database

フォワーディングデータベース (FDB) の内容を表示します。

「Forwarding Discard/Aging Time Info」サブメニュー

List Forwarding Discard/Aging Time Info

FDB から消去された MAC アドレスの数とエージングタイムを表示します。

Edit Forwarding Discard/Aging Time Info

エージングタイムを設定します。

「Agent Spanning Tree Info」サブメニュー

List Agent Spanning Tree Info

VLAN スパニングツリーの設定内容を表示します。

Edit Agent Spanning Tree Info

VLAN スパニングツリーの設定内容を編集します。

「Port Spanning Tree Info」サブメニュー

List All Port Info

全ポートのスパニングツリー設定内容を表示します。

List This Port Info

選択されているポートのスパニングツリー設定内容を表示します。

Edit This Port Info

選択されているポートのスパニングツリー設定内容を編集します。

18.4.4 「IP/SNMP」メニュー

C8518/9108 の IP ルータ機能と SNMP 関連パラメータの表示と設定を行います。



List Arp Table

ARP テーブルを表示します。

List Address Table

IP アドレステーブルを表示します。

List Route Table

ルーティングテーブルを表示します。

「IP Info/Stats」サブメニュー

List Info/Stats

上記 3 つのテーブルに含まれない、その他の IP 関連パラメータをテーブル表示します。

Edit Info

IP 関連パラメータを編集します。

Chart Stats

IP 関連パラメータを棒グラフで表示します。

Graph Stats

IP 関連パラメータを折れ線グラフで表示します。

「SNMP Info/Stats」サブメニュー

List Info/Stats

SNMP 関連パラメータを一覧表示します。

Edit Info

SNMP 関連パラメータを編集します。

Chart Stats

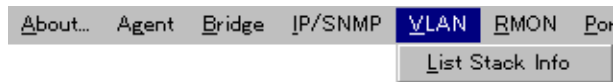
SNMP 関連パラメータを棒グラフで表示します。

Graph Stats

SNMP 関連パラメータを折れ線グラフで表示します。

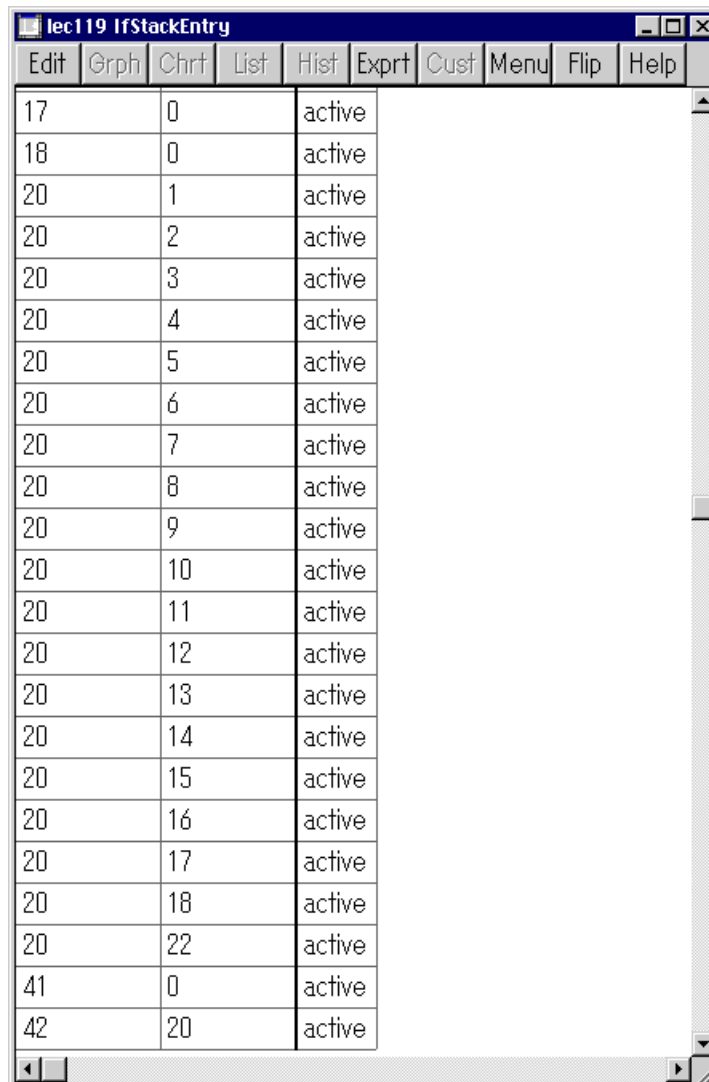
18.4.5 「VLAN」メニュー

C8518/9108 の VLAN 構成を表示します。



List Stack Info

各層のインターフェース（物理ポート、VLAN、ルーティングプロトコルなど）間の上下関係をテーブル表示します。



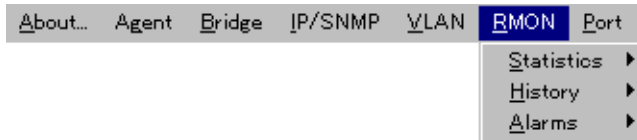
The screenshot shows a window titled 'lec119 IfStackEntry' with a menu bar containing Edit, Grph, Chrt, List, Hist, Exprt, Cust, Menu, Flip, and Help. The main area contains a table with three columns: ID, Interface, and Status. The table lists various interfaces and their status, all of which are 'active'.

ID	Interface	Status
17	0	active
18	0	active
20	1	active
20	2	active
20	3	active
20	4	active
20	5	active
20	6	active
20	7	active
20	8	active
20	9	active
20	10	active
20	11	active
20	12	active
20	13	active
20	14	active
20	15	active
20	16	active
20	17	active
20	18	active
20	22	active
41	0	active
42	20	active

18.4.6 「RMON」メニュー

C8518/9108 がサポートする RMON MIB の情報を表示します。

「RMON」メニューは、BitView 上で任意のポートが選択されている場合にのみ表示されます。



「Statistics」サブメニュー

ネットワークに関する統計値をさまざまなフォーマットで表示します。

Display Statistics Table

統計情報をテーブル表示します。

以下のサブメニューでは、表示モードを次の3つから選択することができます。

List	テーブル表示
Chart	棒グラフ表示
Graph	折れ線グラフ表示

This Segment All Stats

選択したセグメントのネットワーク統計値を表示します。

This Segment Bytes Stats

選択したセグメントのネットワーク統計値のうち、バイト数で表されるものだけを表示します。

This Segment Frame Stats

選択したセグメントのネットワーク統計値のうち、フレーム数で表されるもの(受信フレーム数、エラーフレーム数など)だけを表示します。

This Segment Frame Size Stats

選択したセグメントのネットワーク統計値のうち、フレームサイズの分布情報だけを表示します。

「History」サブメニュー

Display RmonHistory Table

指定した情報に対するサンプリング方法などを定義する history グループの情報を表示します。

「Alarms」サブメニュー

Display RmonAlarm Table

指定した情報に対してしきい値設定を行う alarm グループの情報を表示 / 設定します。

18.4.7 「Port」メニュー

SNMP エージェント情報のうち、C8518/9108 のポートに関する情報の表示と設定を行います。「Port」メニューは、任意のポートが選択されている場合にのみ表示されます。



「Interface Info」サブメニュー

List All Port Interface Info

すべてのポートの通信フレーム数、バイト数、エラーフレーム数、ポート状態などの各パラメータをテーブル表示します。

List This Port Interface Info

選択したポートの通信フレーム数、バイト数、エラーフレーム数、ポート状態などの各パラメータをテーブル表示します。

Chart This Port Interface Info

選択したポートの通信フレーム数、バイト数、エラーフレーム数、ポート状態などの各パラメータを棒グラフで表示します。

Graph This Port Interface Info

選択したポートの通信フレーム数、バイト数、エラーフレーム数、ポート状態などの各パラメータを折れ線グラフで表示します。

「MAU (Medium Access Unit) Info」サブメニュー

List All Port MAU Info

すべてのポートの MAU 情報をテーブル表示します。

List This Port MAU Info

選択したポートの MAU 情報をテーブル表示します。

「Port Input/Output Frames」サブメニュー

List All Port I/O Frames

すべてのポートの入出力フレーム数などをテーブル表示します。

List This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などをテーブル表示します。

Chart This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などを棒グラフで表示します。

Graph This Port I/O Frames

選択したポートの入出力フレーム数などを折れ線グラフで表示します。

「Port Multi/Broadcast Frames Info」サブメニュー

List All Port Multi/Broadcast Frames

すべてのポートのマルチキャスト/ブロードキャストフレーム数などをテーブル表示します。

List This Port Multi/Broadcast Frames

選択したポートのマルチキャスト/ブロードキャストフレーム数などをテーブル表示します。

Chart This Port Multi/Broadcast Frames

選択したポートのマルチキャスト/ブロードキャストフレーム数などを棒グラフで表示します。

Graph This Port Multi/Broadcast Frames

選択したポートのマルチキャスト/ブロードキャストフレーム数などを折れ線グラフで表示します。

「Enable/Disable Port」サブメニュー

Disable Port

選択したポートをディセーブルにします。

BitView 画面でポートを右ダブルクリックするのと同じ操作です。

(「18.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

Enable Port

選択したポートをイネーブルにします。

BitView 画面でポートを左ダブルクリックするのと同じ操作です。

(「18.2.2 ダブルクリック」を参照してください。)

18.5 LED 表示について

LED 表示は、基本的に実機と同じ色の変化や点滅状態を示します。
ただし、下記の場合は実機と異なる表示となりますので注意が必要です。

- BitView 上の LINK LED が実機の状態を反映するまでには、10 秒程度かかります。
- BitView 上の各 LED の点滅回数と実機の LED の点滅回数は、必ずしも一致しません。
正確な通信状況は、「Interface Info」サブメニューの各テーブルの値を参照してください。

アライドテレシス株式会社

PN J613-M0259-00 Rev.D